



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都大田区仲六郎4-32-15
 〒144
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

励ます会本部総会



法秩序維持の最後の砦として

警視総監 仁平 罔雄

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様には、平素から機動隊員等に深いご理解と温かいご支援を賜り、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。昨年、立太子の礼警備を及切りに、ゴルバチョフ連大統領来日警備、天皇皇后両陛下の東南アジア二国ご訪問警備等々の重要な警備活動に携わったのであります。このように厳しい情勢の下、治安維持の要である機動隊の任務は益々重要さを増して来るとの思いをもちます。警視庁機動隊は、法秩序維持の最後の砦たる自覚と誇りを持って今後ともたゞまざる研究を積み、いついかなる事態にも迅速的確に対応できる強靱な力を涵養し、有事に際しては、全力を尽くして国民の期待と信頼に応えてまいりたいと思っております。会員の皆様におかれましては、今後とも国民と機動隊等とを結ぶ「心のかげ橋」として、また「心の支え」として、一層の激励と叱咤を賜りますようお願い申し上げます。終わりに、貴会の益々のご発展と会員皆様の多幸に、ご健康を祈念して、新年のご挨拶といたします。



年頭の御挨拶

警察庁警備局長 吉野 準

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平成四年の年頭に当たり、平素から機動隊員等に深い御理解と暖かい御支援を賜っております社団法人「機動隊員等を励ます会」の会員の皆様に対し、心から敬意と謝意を表するものであります。昨年、一月の湾岸危機に伴う警備を皮切りに、立太子の礼に伴う警備、ゴルバチョフ連大統領来日に伴う警備、天皇皇后両陛下の東南アジア御訪問に伴う警備一連の成田警備等、厳しい情勢の中で重要な警備が続きましたが、会員の皆様方の御理解と御支援のもと、全国警察が一丸となって対処し、所期の目的を達成することができたのであります。また、機動隊員一名を含む多数の死者・行方不明者が出た善仙普賢岳噴火災害につきましては、現在も引き続き警備に当たっているところであります。これまでに御支援をいただきました温かい御支援に対しまして深く感謝申し上げます。次第であります。

本年も、治安の底流をなす内外の諸情勢には、引き続き大変厳しいものがあります。極左暴力集団は、年明け早々のブッシュ米大統領の来日や成田開港、反皇軍闘争等をめぐる、テロ、ゲリラを一段と激化させることが予想されるのであります。また、右翼も、ますますテロ指向を強めており、その動向には予断を許さないものがあります。このような情勢下において、全国機動隊員等は、いかなる事態にも迅速・的確に対応できる強靱な実力を養い、有事に際しては身を賭してその責務を全うし、国民の期待に応えてまいる決意であります。会員の皆様方におかれましては、今後とも全国機動隊員等に対し、一層の御激励、御指導を賜りますようお願い申し上げます。終わりに、貴会ますますの御発展と会員の皆様方及び御家族の御多幸を心から祈り、年頭のあいさつといたします。



一人ひとりの努力で

社団法人 機動隊員等を励ます会 名譽理事長 大内 俊司

明けましておめでとうございます。この「励ます会」も発足から数えて、今年で十九年目を迎えることとなります。昨年が国は、あの昭和四十年代の「いざなぎ景気」を超える好景気を記録しました。これも、ひとえに機動隊員を中心とする警察官の皆様が日夜休む暇もなく地道に任務を遂行され、内閣から治安維持に尽力された結果、国民がそれぞれの分野で努力することができたためであり、あらためて感謝を申し上げます。昨年、ソ連ゴルバチョフ大統領等の国賓・公賓の来日、天皇皇后両陛下の東南アジア三國ご訪問の際など、万全の警備・警護・警備を完遂され、さ



心の架け橋

社団法人 機動隊員等を励ます会 理事長 鈴木 實

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年、湾岸戦争の勃発、ソ連の共産主義崩壊など、世界の動向に影響を与える大きな出来事が相次いで起きた年であり、日本国内においても数々の行事とそれに伴う警備が実施されました。常日頃より感じていることではありますが、警備というものは規模の大小を問わず、一件一件が異なる背景のもとであり、決してそのことに甘んじてはならないと、思っています。我々として得る限りの協力を惜しまず、日本国家を担う一員として、常にその任務を完璧に遂行する隊員の皆様には、改めて感謝の意を表すると共に、非常に頼もしく且つ心強く感じる次第でございます。機動隊の実績は、厳しい訓練とそれによって培われる強靱な精神力・体力、そして何よりも誇り高い信念に裏打ちされ

たものであります。そして、時には我が身をもかえりみず危険の中に飛び込んでいく姿に接するたび、機動隊員の皆様は、自らの身体を盾に、私たち国民の安全と国家の治安を守って下さっている事実を深く認識するのであります。このような警察の活動に対し、私たちが国民は絶対的な信頼を寄せておりますが、決してそのことに甘んじてはならないと、思っています。我々として得る限りの協力を惜しまず、日本国家を担う一員として、常にその任務を完璧に遂行する隊員の皆様には、改めて感謝の意を表すると共に、非常に頼もしく且つ心強く感じる次第でございます。機動隊の実績は、厳しい訓練とそれによって培われる強靱な精神力・体力、そして何よりも誇り高い信念に裏打ちされ

新年にあたり誓いあらたに 1992 全国機動隊隊長年頭所感



関東管区機動隊連隊長 新年の御挨拶



折式田信章

新年明けましておめでとうござい
ます。

「機動隊員等を励ます会」の
皆様には、新しい年を迎えて、
益々御褒賞のこと、お慶び申
上げます。

関東管区機動隊も、皆様の暖
かい御理解と御支援の下に、各
種の警戒警備に、元氣いっぱい
従事して参りました。隊員は関
東十県の警察官で、全体の平均
年齢は三十五・四才、大部分は
二十代の前半の文字どおり若さ
溢れる集団です。訓練は精強な
部隊作りには欠かせないもので
すが、若い諸君にとっても辛い
ものがあります。しかし、「集
団奮闘力」として信頼される機
動隊たるべく、若い諸君を励ま
しながら、努めていきたいと思
っています。

さて、ソ連と東欧の激動は、
世界情勢を大きく変えてしま
いました。我が国の左翼運動に与
えた影響も極めて深刻であつた
ろうと思えます。このことは、
六十年第一次安保闘争警備を経
験した世代にとって、誠に感慨
深いものがあります。当時のマ
スコミの風潮、政府に対する世
論(一部の理解者を除いて)の
痛烈な風当たりが、すべて警備
にあたる警察官に向けられたこ
となど、我々が味わった辛さは
今の隊員には想像できないこと
でしょう。

厳しさも、辛さも理解し、支
援して下さる方が多ければ多い
ほど、何のその、勇気百倍です。
今後とも、「機動隊員等を励
ます会」の御隆意と、全員の皆
様の御健勝をお祈りして新年の
御挨拶と致します。

関東管区機動隊第一大隊 多忙な中での充実



福野 勝美

「光陰矢の如し」。大隊長に
指定されてから、間もなく一年
が経過する。

所感



市川 雄三

今日まで、大隊長という重責
を、曲りなりにも務められたの
も、中隊長等各級指揮官の補佐
隊員の支えがあったからであり、
改めて第二大隊の一人ひとりに
心から感謝を申しあげたい。

私は、副官の経験を経て、再
び大隊長として指揮をとってい
るが、諸先輩が血と汗と涙で築
きあげた「不屈の精神力」、「勇
猛果敢な奮闘力」、「規律厳正な
団結力」という伝統を糧にし、
隊運営に当たってきた。

これからは、隊員一人ひとりが
が眼目という垣根を越えて、「赤
ダイヤ」のもとに結果し、苦
楽をともにして、治安の皆と
しての誇りと自信をもって任務
を遂行できるよう努力してい
たい。

近畿管区機動隊連隊長 男の職場



辻 宏明

機動隊は集団不行為に対す
る防波堤であり、警察の力の象
徴として、まさに「男の職
場」であった。鋼のように鍛え
られた黒い集団の威力は、狂気
の過激派集団をも、ひとみにも
押し潰した。敵も味方も、そこ
に「男の美夢」を感じていたよ
うに思う。

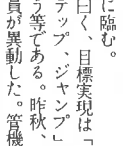
しかし、最近はどうもそうで
ないらしい。「3K」どころか
「7K」の職場などと忌避する
者が増えているという。平穩に
慣れ「男の美夢」も変わってき
たのであろうか。

「前進三段バックなし」の精神
を、曲りなりにも務められたの
も、中隊長等各級指揮官の補佐
隊員の支えがあったからであり、
改めて第二大隊の一人ひとりに
心から感謝を申しあげたい。

私は、副官の経験を経て、再
び大隊長として指揮をとってい
るが、諸先輩が血と汗と涙で築
きあげた「不屈の精神力」、「勇
猛果敢な奮闘力」、「規律厳正な
団結力」という伝統を糧にし、
隊運営に当たってきた。

これからは、隊員一人ひとりが
が眼目という垣根を越えて、「赤
ダイヤ」のもとに結果し、苦
楽をともにして、治安の皆と
しての誇りと自信をもって任務
を遂行できるよう努力してい
たい。

近畿管区機動隊第二大隊 団結・友情・情熱



岩上 國夫

我が大隊は、精強な管区機動
隊を目指して、厳しく鋭く温
かく育てるを基本方針に日々
訓練に励んでいる。「訓練で泣
いて実戦で笑え」、「基本に忠
実に、基本なくして応用なし」と
よく言われるが、これは過去
の貴重な教訓から導き出された
ものであり、我々これを決して
無視することには許されな
い。

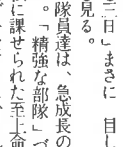
「管区機動隊と同じ釜の飯を食
った」という仲間意識、厳しい
訓練、過酷な勤務を通じて、これ
からの人生に大なる糧となるもの
を信じて、苦しい時には励まし
あめあい、嬉しい時には共に喜
び、本当に腹を割って話し合え
る生涯を通じての財産を一人
も多く得て自分の財産にしては
しい。これからは、お互いに切
磋琢磨し、体力、気力を錬成し、
団結を更に強く、限られた管区
機動隊勤務に情熱を燃やして悔
いのないよう、完全燃焼しようと
する。

「前進三段バックなし」の精神
を、曲りなりにも務められたの
も、中隊長等各級指揮官の補佐
隊員の支えがあったからであり、
改めて第二大隊の一人ひとりに
心から感謝を申しあげたい。

私は、副官の経験を経て、再
び大隊長として指揮をとってい
るが、諸先輩が血と汗と涙で築
きあげた「不屈の精神力」、「勇
猛果敢な奮闘力」、「規律厳正な
団結力」という伝統を糧にし、
隊運営に当たってきた。

これからは、隊員一人ひとりが
が眼目という垣根を越えて、「赤
ダイヤ」のもとに結果し、苦
楽をともにして、治安の皆と
しての誇りと自信をもって任務
を遂行できるよう努力してい
たい。

中部管区機動隊連隊長 隊訓



高木 信

今日の治安情勢は、めまぐる
しく変動し、ますます厳しく予
断を許さないものがある中で、
今年もまた、我々管区機動隊に
対し内外から大きな期待がよ
せられていることを思うとき、
身の引き締まる思いがする。

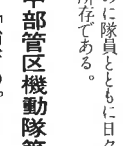
機動隊員は、千変万化する警
備現場において指揮官の指揮に
従い、一致団結して積極・果敢と
する確に対処することが要求さ
れるが我が中部管区機動隊は、
部隊の基本となる隊訓を「団
結」「情熱」「勇気」と定め日
夜職務に精励しているところだ
であるがその趣旨は、

「団結」中部六県警察が、一体
となって、常に隊員の豊かな人
間性を基調とした融和と強固な
団結を

「情熱」隊員の崇高な使命感を
「勇気」積極果敢、いかなる困
難にも打ちかつ真の実力部隊と
それを表わしている。

私は、連隊長として、出動・

中部管区機動隊第一大隊 「治安のプロ」として



山本 保憲

昨年、本県の最重点課題で
あつた「全国警備を海づくり大
会」に伴う警戒警備をはじめ、
数多くの警備を体験し、無事に
大任を果たすことができた。こ
れは隊員個々の努力と、関係各
位の御支援と御協力の賜物と深
く感謝しているところである。

我が国の治安をめぐる諸情勢
は、極左暴力集団の爆発物・飛
翔物を使用したテロ、ゲリラの
凶悪化等をはじめとして極めて
厳しいものがある。このような
情勢の中、極左暴力集団と正面
から対決してこそ、ゲリラを完
全に封じこめること、ゲリラを
安の「プロ」たる機動隊に課せら
れた使命である。

「治安のプロ」として、更に
隊員一人ひとりの使命感を高め
いかなる勤務も耐え得る強靱な
体力・精神力を養い、部隊の練
度を向上させるなど、精強な機
動隊を確立すべく決意を新たに
取り組む覚悟である。

隊員の勤務に感謝

新年あけましておめでとうござ
います。平成元年十一月第一二
大隊長を命ぜられて以来、今上
天皇即位の祝賀、ゴルフパチヨ
フソ連大統領崎崎警備、新東京
国際空港警備等十数回に渡る出
動も無事任務を終了し、所期の
目的を達成することができたの
は、警察庁はじめ都道府県警察



大坪 實

男の集団「機動隊。機動隊が大... 好きだ。そして、誇りに思っ...

警視庁第二機動隊 朝三暮四



沖田 芳樹

ある先輩から聞いた話である。朝三暮四とは、知っていたのと...

しかし、果たしてそうであらうか。「朝三暮四」と朝四暮三...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

次に、訓練に励むこと。「血を流すよりも汗を流す方法を学...

警視庁第四機動隊 歴史と伝統を正しく継承



小林行雄

四季の移り変わりを、目で、肌で、そして香りで感じるこ...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

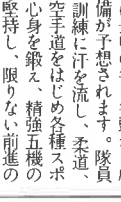
昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昨年は、天皇、皇后両陛下の...

警視庁第六機動隊 地道な努力の価値



大場 剛

テロ、ゲリラの嵐に連日連夜...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

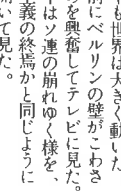
昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

今年も世界は大きく動いた。...

警視庁第七機動隊 熱い心



森下 千義

一年前にベルリンの壁がこわ...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

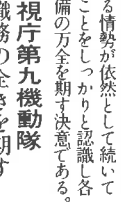
昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

長として、東大警備に従事し...

警視庁第九機動隊 職務の全きを期す



南雲 鐵夫

本年も昨年同様厳重な警戒を...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

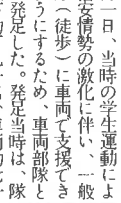
昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

中核として厳しい訓練に耐え...

茨城県警察機動隊 期待に応える機動隊をめざして



佐藤 功

我が、機動隊の隊舎前には...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

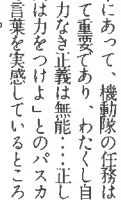
昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

民の期待に応える機動隊を指し...

群馬県警察機動隊



淡島 清

全国の機動隊員の皆さん、明...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

栃木県警察機動隊 隊発足三十周年を迎えて



柳澤 一弘

昭和三十三年四月一日に発足...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

埼玉県警察機動隊 新年に当たって



野木 直衛

全国の隊友諸兄の皆さん、新...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

昭和三十年から三十二年にかけて実施した砂川闘争警備活動...

りました。
「昨年三月の着任あいまつて「精選」に厚く、組織費、同僚等に富んだ隊づくりの「翼を授けたい」と、よく似たこともあり、その意味でも、皆んなが掛無無しに「機動隊務は大変意義があつて素晴らしい道に乘せている」と思ふように改善を軌道に乗せていると思ふ。



牧 勝治

千葉県警察第一機動隊 艱難辛苦汝を玉にす

菅在戦場の地である成田空港周辺は、引き続き厳しき警備情勢下であり、決意も新たに一九九二年の新幕を迎えた。
成田空港は、開港から十三年を経過し、地域振興連携協議会の発足、そして成田空港問題シンポジウムの開催、二十五周年に及ぶ成田開港の歴史の中に新たな展開を見せつつある。
これに対し、シンポジウム開催阻止、実力粉砕、機動隊せん滅を呼ぶ極左暴力集団は、テロ、ゲリラ事件を引き起こすなど益々先鋭化の傾向を強め、臨時の油断も許されぬ現状にある。



大沼 弘巨

千葉県警察第二機動隊 過去の教訓を忘れず

我々を取り巻く情勢の変化は激しく、益々厳しさを増している。この様な折、治安維持を担う我々は、何をどう捉え、それにどう対処していくのか、視点を定め、誤りのない対応をしていかなければならない。
我々の眼前には、成田空港問題がある。問題解決への動きも一部みられるが、極左を中心とする反対勢力は、その組織的存在をかくてこれに抵抗する構えを見せている。
成田には、長い機動隊の歴史がある。貴い犠牲があり、多くの負傷者を出した。貴重な教訓が数多くある。それを片時も忘れず、目を覚まして今後の警備実施に活かして行くことが、未来を造る基となると思つている。当隊がこれまでも増して、精進と信頼される部隊として活動できるように日々精進したい。



姥山 洋二

千葉県警察第三機動隊 誇れる新鋭三機を目標に

あけましておめでとうございませう。当隊は昨年の四月一日に発隊し、間もなく一年を迎えようとしています。
発隊にあたり隊訓を「融和団結」と定め、誇れる三機を目標として、いかなる困難をも克服し、その目的を達成する覚悟であります。



波多野 寛二

新東京国際空港警備隊 空港の安全確保をめざして

昨年九月の台風十五号による隊舎の冠水被害に対して過分な御礼を頂戴致したことにまもって御礼申し上げます。昨年、空港問題シンポジウム・一連の全国集會に伴う警備を遂げたが、成田空港駅の開業、通過道路の完成、二期区域への駐機開始など警備エリアが拡大される中、千五百人の隊員一人ひとりが厳寒酷暑の中、文字通り地を這うような地道な活動を展開するとともに先端科学機器を駆使した機動性に富んだ部隊活動により、目的を達成しました。
本年は、第二旅客ターミナルビルが秋には完成供用となり、シンポジウムも新たな展開が見込まれます。これに対し極左暴力集団は空港本体への本格ゲリラ指向を益々強めており、昨年も増してあらゆる手法を用いた警備活動が求められるところであり、我々は、空港を守る全国唯一の特別機動隊であり、国境警備隊であるの自覚をもつて、いかなる困難をも克服し、その目的を達成する覚悟であります。



大木 宏之

神奈川県警察第一機動隊 強靱な警備部隊を目指して

新年明けましておめでとうございませう。
「養成千日用在一朝」という中国の故事にもあるように、強靱な部隊は一朝一夕では出来ません。その為、私は次の二点を重点をおき、隊員個々の「心」を育成したいと考えております。第一は、「二期一会」



増田 誠次

神奈川県警察第二機動隊 元氣ハツラツ機動隊

新年おめでとうございませう。会員の皆様には、御家族とともに希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃から私どもも活動に対し多面にわたる各種の御支援をいただき心から感謝を申し上げます。
昨年、大規模な大衆闘争準備から各種重防警戒あるいはテロ・ゲリラ防犯対策と、まさに東奔西走の毎日でした。しかし、警備活動が求められるところであり、我々は、訓練を通じ黙々と体力錬成や昇任試験合格に向け努力し、隊員の姿をみる度に、当隊の士氣は高いと自負しているところでありませう。



永田 賢次

山梨県警察機動隊 精強部隊を目指して

警備部隊として当隊が発足して以来、早や三十年の歳月が流れるに至つた。
いざさか私事にわたるが、発足時から隊員として、また、管機時代(小隊長)を含め全階級の機動隊歴を有する私にとり、機動隊の歴史こそ、まさに自分史である、内心ひそかに誇りを抱いている次第である。特に激動時代の激戦体験は、私の貴重な財産である。
転じて、今や警備実施等の現場は「動かす訓練」へと推移し、実態に即した訓練の見直し、待遇改善等、新たな業務運営に腐心している所である。



奥原 堅司

長野県警察機動隊 苦難を越えよう

隊活動が主体であったが、現在は重防警戒や警備、警備等の静的、個人的活動が多くなつてい。このような変革の時に機動隊を預かるものとして、部隊活動能力は勿論であるが、隊員個々の知識・技能の向上に腐心して隊員には、「何事にも積極的」にチャレンジせよ。結果よりも過程での努力が大切」と日々指導し、隊員もよく努力してくれている。
隊は四十歳、隊長は四十八歳(男)と、区切りの年を迎えて思うことは、日々の小さな努力が大きな成果になることを信じて、隊員と共に今年も多くのものにチャレンジしていきたい。そして、治安維持責任の一翼を担つていこうと思つて居る。



中島 義雄

富山県警察機動隊 鉄は熱いうちに打て

新年明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお祈り致します。今年七月から約二ヵ月半、本県において「第一回ジャパンエキスポ92」(略称エキスポ)が開幕し、剣道と日本海に囲まれて美しく、酒魚のおいしい「富山」へお出かけ下さい。さて最近機動隊員の昇任試験合格率が悪いため、実務優先の出題傾向のため不利になった等の話を聞くことがあ。近県に例をとると私が隊員



江上 征彦

石川県警察機動隊 県外応援出動に思う

昨年十月、天皇皇后両陛下をお迎へして、石川県で開催された第四十八回国民体育大会には大阪府警察機動隊をはじめ、中部・近畿・中国の各管区機動隊等約千七百名の応援を得て、警備業務が無事終了することができました。この間、応援に来ていただいた各隊長はじめ、隊員の皆様には、非常に厳しき警備情勢の中、また、過酷な勤務条件下において、それぞれ任務を積極的に遂行されたことに対し、心から御礼申し上げます。
機動隊の士氣旺盛にして、積極果敢な活躍活動に対する石川県警察の評価は非常に高く、同じ機動隊員として大誇りに思つて居る。本県機動隊もこれ「即位の礼」警備業務をはじめ、また「成田警備」をはじめ、「即位の礼」警備業務等にむかひ、今後とも常に最良の警察官になり、頭張つた感謝される機動隊員の指導育成のため、より一層隊員の教育、訓練に励む所存である。



筒井 英輔

福井県警察機動隊 強靱な機動隊を目指して

昨年、立太子の礼、第四十二回全国植樹祭に伴う警備活動のほか日米共同訓練に伴う治安警備など、数々にわたる県外出動をはじめ県内における警備活動等、一昨年に続きその真価が問われた一年でありました。いづれも厳しき警備情勢の下で無事任務を遂行することができました。
ところで当隊は、今年創立四十周年の節目を迎えます。「誠実・融和・忍耐」の隊訓の下、幾多の先人が血と汗と涙を流してきた輝かしい歴史と伝統を貴重な財産として継承し、真に警備部隊の中核として、県民の期待と信頼に応えていくために、訓練に励み、技を磨き、「強靱で頼りにされる機動隊」を目指して全隊員一丸となって努力して行きたいと思つております。



中西 徹武

岐阜県警察機動隊 一所懸命

昨年は本県にとって二十六年ぶりの天皇皇后両陛下の行幸啓があり、他府県機動隊の応援を頂いたお蔭で、これまで以上に機動隊の活躍が注目され、まさに機動隊の活躍が注目された一年であった。平穏な一年であったが全国的には、成田警備、雲仙の警戒警備等多くの機動隊の出動があり、その活動を耳にする度に、平穏な日々が続く今こそ、有事に機能する機動隊を育成する必要性を痛感している。
私の座右の銘として「一所懸命」という言葉を命懸けで「己に与えられた場所を命懸けで守る」との責任を果たす」の意であると思つて居る。年頭にあたりこの言葉を所感として挙げたい

と。機動隊に在る者として、己の活躍すべき場所を知り、そしてその責任を果たすために努力したいと思っっている。隊員にもそのような人間になって貰いたいと思っっている。

愛知県警察機動隊

精強な部隊づくり
文武両道をめざして



相村 雅幸

愛知の機動隊には、昭和三十一年に制定された歴史がある。赤えんじの地に二本の白線が入り、中央に愛知県章、その中に機動隊の機が印されている。地色は赤線、若草と、同結を表し、二本線は文武両道を意味している。隊員はこの腕章にこよひ愛着をもち、出動訓練の際、片時もこれを離すことにはない。私は、この腕章を中心に巻くと先達諸氏から教えられる機動隊の存在価値は、強固にあると信じる。機動隊が集団警備力の中核であり、治安の最後の砦として、県民の信頼と期待に応えていくためには、いかなる困難に臨んでも、冷静沈着にして、的確な措置のできる実力を備えていなければならない。そのためにも、まず幹部が率先して、指揮、統率力に力をかけ、隊員一人ひとりが使命感を燃え、日々の訓練により厳しさを求め、練度の向上を図っていかねばならない。

三重県警察機動隊

強靭さと優しさ



河村 義隆

最近の社会環境は、高度の情報化、国際化、意識の多様化等々により大きく変貌しており、それが治安面にも反応して、形勢の犯罪や、凶悪化の一途をたどるなど、社会不安を一層増大させている。これらの諸情勢に的確に対応するために、我々はこの実態を止し知り、予想される事象を深く洞察して、時代の要請に充分応えらるる機動隊を目指さなければならない。とすれば、個性が失われつつある現代社会で今我が隊が持ち続けなければならないのは、強靭さの中にも求めたぬくみのある優しさ、人間らしさではないだろうか。今年も、我が三重県警察機動隊は、「強靭・スマート・融和同結」の隊訓のもとに優しさと人間らしさを内に秘めた、「精強・機動隊」を目標に歩み続ける。

滋賀県警察機動隊

力強い部隊を目指して



太田 健二

新年あけましておめでとう。私達の部隊は警員わずか四十名であり、小規模な機動隊ですが、隊員は短距離ばかりで、士気は極めて旺盛です。そして、小さい部隊であるが故に、隊員は何でもこなさなければならず、体重が百キロを超える者も、レンジャーがやれます。全員が潜水具を付けて水に潜ることが出来ます。

京都府警察機動隊

限らず前進し成長を遂げるために



松本 敏昭

本年も、機動隊を取り巻く情勢は、極左暴力集団を中心に引き続き厳しいものがある。我が機動隊は、設立四十周年を迎えるにあたり、さらに「限りなき前進と成長を遂げるために」の隊訓を糧に、精強な部隊づくりに邁進するほか、3K職場の汚名を払拭するため、動きが早い職場づくりにも鋭意努力を傾注したい。

大阪府警察第一機動隊

明日に翔け

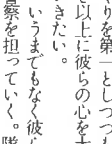


大迫玄三郎

わが隊の若武者たちは、ここ数年を過ごして、警備情勢の中、数次に亘る他県への応援活動や、年休の抑制、週休の変更、非番勤務の連続など、自己犠牲を要する任務を遂げてきた。若い世代に冠せられる「軟弱」「根性不足」等、彼らに接する限り、全くいれなま評価と声を大にして訴えたい。

大阪府警察第二機動隊

積極、勇猛果敢に

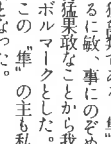


橋口 龍博

隊長室に、羽を広げ、爛々と目を輝かせて、今まさに飛翔せんとす。準の像が置かれて、猛禽類である。準は、機をみるに敏、事にのぞめば積極、勇猛果敢なことから我が隊のシンボルマークとした。

奈良県警察機動隊

初夢

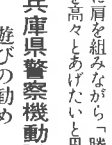


亀井 武

平成二十年夏長会議後の懇親会場において、機動隊OBのA署長と現機動隊長Bとの会話からA「どう、この頃の機動隊は...

鳥取県警察機動隊

忍耐は仕事を支える基礎

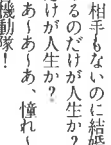


本庄 修

昨年、過激派によるテロ、ゲリラに備えた警戒警備に明け暮れた一年であった。酷暑の中、汗を拭きながらの警備、雪中、寒さに震えながらの警備と変化の多い異変勤務の連続にもかかわらず、隊員は黙々と任務を全うし、さぞかし大変であったと、その労苦に対して心より感謝しているところである。

和歌山県警察機動隊

今年目標

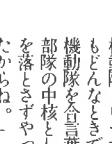


鍵野 勝

現在機動隊は警察内部で3Kの職場に属しているという評判が高いが、この職場を魅力あるものとするには、そこに各人の持つ個性を生かされること、つまり、個性はさまざまに発揮されて現れる。ある者は、スポーツマンで、事務処理面は、グループ・リーダーに教えあげればきりが無い。それぞれ他人の自認が勤務意欲を向上させるように図ってゆきたい。

岡山県警察機動隊

ち密にして精強な隊員作り

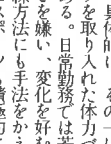


野村 功

極左暴力集団は、新型武器を次々と開発し、悪質、巧妙な手段でテロを敢行し、また、右翼も目的達成の手段を直接行動に指向するなど、まさにこの「テロ・ゲリラ」の時代である。このため、従来の街頭武闘時代の警備を「動」とするならば、現在は重防警備等いわゆる「静」の警備が主流となつては、隊員は、各級指揮官の指揮に従い、いわゆる「力」で目的が達成されてきたが、現在の「静」の警備では、個々の隊員の責任感と熱意の欠かぬが目的達成のための不可欠な要素となっている。

島根県警察機動隊

日本一治安のよい島根を目指して

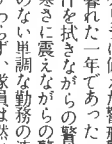


福田 厚

本県機動隊は昨年発足二十二年を迎えた。この間、先輩の築いた数多くの業績を引継ぎ、伝統を守りながら、現在隊員は新たな気持ちで訓練、出動に任務を遂行している。

広島県警察機動隊

新年にあつた決意



松岡 清史

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、中国東部県機動大隊長として、広域派遣に赴いた京都府下の植樹祭を始め、県

奈良県警察機動隊

初夢



亀井 武

平成二十年夏長会議後の懇親会場において、機動隊OBのA署長と現機動隊長Bとの会話からA「どう、この頃の機動隊は...





内においても広島市における「いわゆる橋げた落下事故」に伴う緊急出動、総理大臣御臨席のもとに行われた「八・六大」会、海上自衛隊掃海艇の帰国に伴う各種警備活動等、非常に厳しい警備態勢の中で、非常事態や長期にわたる警備活動を経験致しましたが、他県警備や他官署の御支援もあって、出来たが任務を全うすることができました。紙面をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

本年もアッシュコム大統領来日に伴う警備活動を始め、極めて厳しい警備態勢の中で推移してまいりました。積み重ねてきた成果にも迅速、的確に対応できる強靭な力を養い、もって国民の期待と要望に応える決意でございます。



山口県警察機動隊 潤いと活力に満ちた職場環境

幸忠 峰

我が隊は、豊かな自然に囲まれた山口市の郊外、静かな高台に建つ、そのご家族員四十三人、隊訓「信・強・和」の響いても固く、県警察の中核部隊としての自覚と誇りを胸に、訓練に出勤し日夜懸命に取り組んでいる。ある時はレンジャー班、ある時はアララング班、爆処理理班と一人が何役もこなす。誠心誠意と力強く頼もしい集団である。

一方、隊内生活に潤いを求めて開催する「懇談会」、「運動会」、「餅つき」等家族ぐるみの恒例行事は、近隣の方々も心待ちにしての程の名物行事として定着し、心豊かな人間性溢れた隊員の育成に大いに役立っている。



徳島県警察機動隊 少数精鋭部隊を目指して

武田 哲彦

わが機動隊は県警と高機の変則一隊で編成、合同運用している少数部隊である。少数で県民の信頼と期待に応える。少数で強部隊とするには質の向上を図らなければならない。その根幹は隊員、分隊、小隊間のそれぞれのコミュニケーション、コンベンション、更にその上立ったコンセンストレーションにあるとの考えのもと、これらに最大の意を払いつつ、隊訓である「一、隊員である。自覚と誇りを。二、隊員であることを目標とする。三、隊員であることを目標に少数精鋭部隊を目指す」という理念を以て、隊員一人ひとりが豊かな人間性を持ち実務能力を備えた警察官を目指して取り組んできた。充分とは言えないもののそれなりの成果はあった。このやむを得ない自覚と誇りの心、この姿勢を貫き存在を感ぜられる機動隊としていきたい。



香川県警察機動隊 希望の明日のために

藤井 修

警備の最前線として日夜活躍している機動隊の皆さん、平成四年の迎春に当たり感慨一しおなりのものを感じていることとお察しいたします。平成の暮あけから早や二年、年は新たになりましたが取り巻く警備態勢は依然として厳しく、加えて機動特別技術の有用性も一段と高まっていることを痛感致しております。そのため、装備の近代化と共に柔軟な発想とチャレンジ精神のもとに踏み込んだ諸対策が強く望まれていくところであります。

本県機動隊も、隊訓「和・明・強」を基本とし、選ばれた者の誇りと使命感に徹した活力に満ちた職場、そして、常日頃



高知県警察機動隊 私を育ててくれた機動隊

中澤 雅昭

高知県機動隊長を命ぜられて早いもので二年の歳月がたとうとしている。

機動隊は、私にとって三回目の勤務となるが、懐かしい青春を過ごした思い出多い職場であるばかりか、私を育ててくれた職場でもある。

忘れられないことも多い。昭和四十七年七月五日、高知県の山間地帯で大規模な山崩れ事故が発生、一瞬にして六十名の尊い人命が失われた。

その中には、私を一人一倍可愛がってくれた叔母もいた。

当時、管区機動隊長であった夏夏は私を率いて出動、真夏の炎天下、汗を流しながら、危険を知らず非常ベルに右往左往しながら昼夜決行して二週間余り、方不明者の捜索に当たった。その時、私達を支えたのは、遺族の人々や地元の人達の熱い期待の眼差しと、感謝の言葉であった。

それから十九年たった今、県内の治安は至って平穏で、我々の機動隊の出動する事はほとんどない。

しかしながら、全国的には厳しい警備態勢の下、機動隊の外出動は多い。

早朝、県外出動する隊員を見送る私の中で「諸君の背後には国民の強い期待と支持がある」と叫びながら...



福岡県警察第一機動隊 精強一機として

龍 保肇

我が第一機動隊は、過去幾多の試練を経て「精強一機」としての歴史と伝統を培った。

我々は、この歴史と伝統を守り、年頭にあたり「SIS」の精神で職務を遂行することを誓った。

その一はスピード。素早い立ち上がり迅速な対応である。我々は常に体制を備え、「最後の砦」としての誇りと責任感を再確認し、ことに当たりたい。

次はスマートである。外面、内面共にスマートさを身につけることである。「自分さあ世にいれば」の考えがまかり通る世の中である。他人への思いやり、親切心を忘れず、ことに当たりたい。

最後にストロングである。何と言っても機動隊は強くなくては悪に對してはあきらめず強く、善良な市民には限りなく優しく。今年には植樹祭の年である。我々は「SIS」の精神で植樹祭を乗り切りたい。

最後に「強く、逞しく、さわやかに」



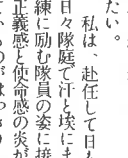
福岡県警察第二機動隊

久原 敏孝

私は、三十年余りの警察生活を通じて感じる望ましい警察の姿は、「強く、逞しく、さわやかに」といふところである。

なかでも機動隊の真髄は、治安の最後の砦として、いかなる困難な局面に遭遇しても、決して怯まず、退かす、その任務を完遂する、精神力、体力、技術、即ち「強く、逞しく、さわやかに」練度にあると思う。

また、魅力と活力にあふれた機動隊づくりが強く叫ばれてくる。今、日々に厳しい訓練、現場活動の先頭を立って、一人ひとりがやり甲斐のある風通し



長崎県警察機動隊 融和団結のもとに

浦川 怡世

私は、赴任して日も浅いが、日々隊庭で汗と涙にまみれて訓練に励む隊員の姿に接するとき、正義感と使命感の炎が燃え盛っているのがよく見とれ、読みとれ、実に頼もしい限りである。

本年は、福岡県で「第四十三回全国植樹祭」が開催されるなど、より一層厳しい警備態勢が予想されるが、私はこのすばらしい隊員と心を一つにして強固なスクラムを組み、「強く、逞しく、さわやかに」をモットーに、「警備のプロ」として、その任務を貫徹する所存である。



佐賀県警察機動隊 年頭にあたって

佐々木 誠

湾岸戦争を導き、平成三年、ソ連での共産党解体、パルチオの独立、国内ではバブル経済の崩壊、長崎県警警備要員の増減等激動の一年であった。今年には植樹祭の年である。我々は「SIS」の精神で植樹祭を乗り切りたい。

最後に「強く、逞しく、さわやかに」



熊本県警察機動隊 静と動

西田 孝士

全国の機動隊員の皆さん、明けましておめでとうございます。昨年は極左暴力集団等のテロ、ゲリラに対する防庄検査に奔走し、国民の理解も深まりました。が、決して長く続くものはない。厳寒の中、若い機動隊員は黙々と重防備に当たっている姿を見る時、思わず「ご苦労さん」といふ言葉が、心から出てくる。最新の警備は動から静、街頭からエリア、集団から単独へと変わって来た。等と警戒心とその責任はより大きくなって来ていたと言わなければならぬ。正月元旦を迎え、静の警備の中で、水面下の動的



大分県警察機動隊

赤尾 静馬

この二週間は、県警機動隊として活動して、訓練の日々であった。県警歴史に残る主基斎田をはじめとする即位の礼、大宮警察備、豊田地区極端な大雪警備及び第一二回共同訓練警備など機動隊の真価を問われる大規模警備が続いた。機動隊は、警備対策の中核として、必死に奮闘して各々の事態に応じた警備を展開し、その重責を果たした。しかし、二十一世紀の機動隊を展望すると、社会の急激な変化を受けて加速して、青年警察官等の意識と価値観の変化、あるいは警備態勢の変化などは機動隊の魅力を減少させるともいえる。実戦能力を低下させ、更には人材確保に影響を及ぼすことが懸念される。

私は、機動隊員として、魅力ある職場づくりと強い機動隊の確立を図り、先人が血と汗で築いてきた今日のこのすばらしい機動隊を二十一世紀に向けて、更に発展させたいと思う。



宮崎県警察機動隊 鍛錬百日、勝負一瞬

渡邊 弘志

新年明けまして、おめでとうございます。昨年は、連共産党の崩壊にみられるように、まさに世界的な激動の一年でありました。今年も甲午、申は電光の形を象った象形文字、「いんすま」と表現し、電光石火、前進の年でもあります。我々機動隊員は、一旦有事の際は警察部隊の中核として、さばり立ち上がって事に処さなければならぬことは申



鹿児島県警察機動隊 旗一本

堀の口 輝夫

九州管内警察並びに全国警察大会での柔道、剣道の優勝をめぐり、たゞ重要な警備活動出動や他の警備訓練の合間に、年間を通して厳しい柔道訓練を重ねてきたが、昨年は剣道が九州管内警察大会で優勝、柔道は惜しくも準優勝というところで、旗一本に終わった。

治安警備の中核部隊としての各県警察機動隊は治安警備に万全を期す一方、警察のお家芸である柔道、剣道大会での「旗」をめぐり特訓を重ねているが、各県とも実力は伯仲しているところである。

私共、鹿児島県警察機動隊として、今年こそとりわけ沖繩県大会で旗一本を絶対にとるという信念を持ち、全隊員一丸となつて精進していきたい。



沖縄県警察機動隊 「シーサー」のごとくどしどしと

首里 文雄

我が県警のシンボルマークは「シーサー」とある。シーサー(百鬼王)と言われる猛獣獅子のこと)は沖縄県の文化の中に深く根ざり、県民の守り神として「いんすま」にあたり、我々はいざというとき、いつでも敢然と立ち上がり、強い使命感と勇氣、



お知らせ

◎平成四年一月二十九日(水)午後五時三十分より仙台市青葉区「パレス平安」において、東北支部総会を開催致します。

◎平成四年二月三日(月)午後五時三十分より名古屋郵便貯金会館において名古屋支部総会を開催致します。

奮ってご参加のほど、お待ち申し上げます。



そして誇りをもって任務を完遂する心構えである。その為には隊訓である「融和団結、自主積極、創意練成、有事即応」を合言葉に黙々と訓練の励み、より精進な機動隊を目指し取り組んできた。今年度は復讐二十年周年記念行事、また来年は第四十四回全国植樹祭の開催、さらに米軍基地問題から派生する難備情勢は大変厳しいものと思われる。これら事案的確に対応するには、集団警備力の中核である機は、集団警備力の中核である機は、「最後の砦」を守るための精進な機動隊を目指し、平素から厳しい反復訓練によって培われる強靱な体力と、いかなる困難にも打ち克つ強い精神力とを備えることが重要である。今年も多くの問題が山積しており、果機の出勤は昨年にも増して多くなるが予想される。その時出勤の場を修業の場とし、日々の訓練を更に強化し、速度を高めることにも「シーサー」のごとくどっしり、平常心を失わないよう警備事案に対応し、部内外から真に頼りにされる実力をかね備えた機動隊づくりに向けまい進することとしたい。

成田空港問題公開シンポジウムに伴う警戒警備実施



去る十一月二十一日、千葉県成田国際文化会館において、「成田空港問題公開シンポジウム」が開催された。

このシンポジウムは、運輸大臣をはじめ、政府、自治体、反対同盟など七十名が出席し、それぞれの立場から意見発表を行い、第一回を終了した。



この開催に伴い、反対同盟による集会やデモ、極左・労組・市民等もデモを行い、総延長12kmに及ぶ大規模なものになった。これに対し、約千名の機動隊員等が出動し、集会・デモの警戒警備、空港本体の防護、公開シンポジウム会場周辺の警戒警備等に当たった。

最強剣士！ 全日本剣道選手権大会

十一月二日、日本武道館において第三十九回全日本剣道選手権大会が開催された。

日本全国の強腕剣士達の中で、神奈川県警察第一機動隊、宮崎正裕さんが見事優勝され、史上初の二連覇の偉業をなし遂げた。

「二連覇を達成して」

神奈川県警察第一機動隊 宮崎正裕

私は、昭和五十二年神奈川県警を卒業し、警署勤務を経て、警署警務課勤務を命ぜられ、川崎警察特別訓練員に指名され、現在は第一機動隊直轄小隊に所属しています。特別訓練員に指名されたからは、「全国警察剣道選手権大会」で「全日本剣道選手権大会」に出場し優勝することとを大きな目標として毎日の稽古に励んできました。そして

長い試合となり手が決まり決勝戦に進むことができたのですが、大会進行上決勝戦は五分後に開始することになりました。スタミナの面でもかなり心配でしたが、今になって考えてみると、時間を空けずに決勝戦に臨んだことと準決勝の勢いをそのまま保持していたのではないかと、思います。

今回、全日本二連覇という自分でも信じられない結果を残すことができたわけですが、この結果に満足することなく、今後新しい目標に向かって精進・努力していきたいと思っております。

アメリカ人の感想はこうである……。

①日本が誇りとする東名高速道路の東京料金所は、たしかに入口の数が多し。しかし、それより驚いたのは、そのひとつひとつ人間がはらひついでカードを渡していることだ。渡すだけなら機械で充分じゃないか。(これについて、商社マンは、遅まきながら他の高速道路に実施している旨説明しておいた)

②短い距離の高速道路の、安い定額料金の料金所にも集金人が並んでいたが、私の州では、普通釣銭の必要を運転者のための入口にし人間はいない。

③道路工事現場で、交通整理員が二人も三人も居る。いたるところで一人て反対側の信号をコントロールすればいいじゃないか。

④東京のデパートは、売場面積が広くて品揃えも充実している。どうして複数以上の店員が必要なのだろう。箱に入っているものなら何でもギフト・ラッピング(贈物用包装)する習慣的サービスに人手を要するのだろうか。

⑤ところで、このお座敷レストランだが、さつきから、われわれのスキヤキにワイエートレスがフル・アテンド(付き切り)で有難い話だが、こういう特別なサービスシステムがあるほど日本では牛肉が貴重品なのかね、といった話で、アメリカ人の感想は延々と続いた。

料金所や道路工事やデパートの仕組みには、それなりの理由もあることなのだろうが、それにしては、日本ではまた、人手のあり余っている時代から抜け切れない面が残されているように思われる。

パブルが崩壊して以来、人手不足にも若干の緩和がみられるようだが、ロングランでみれば労働力の絶対量の減少が目に見えている現状において、この有様だ。

その点、アメリカ人は、建国以来基本的に人手不足だったから、人手の合理的活用が身につけているのだらう。

私にこの話をした友人の商社マンが、初めてアメリカに赴任した頃の、彼は自分で馴れないタイプ・ライターを打つて手紙の原稿を作り、アシスタントの現地女性に「ちゃんとしたきれいなタイプにするよう依頼された。すると、間もなくその女性が、彼のところへ来て言った。「あなたの原稿のままで充分読めますから、このまま発送します。」

彼は、彼がそのアシスタントにナメられていたわけではないと思う、という。

読者の広場



人手不足は
ウソだ
樋浦 忠

私の友人の商社マンがアメリカ勤務から戻って一年になる。その彼のところに、先頃、現地で親しくしていたアメリカ人が遊びに来た。彼はまる一日かけてアメリカ人を箱根と銀座に案内したのだが、その晩、スキヤキ料理で酒を重ねるにつれ、アメリカ人が意外な感想を述べた。「日本は、大変な人手不足だと聞いて来たんだが、何だ、聞いて来たんじゃないか。」

本年もよろしく
お願い申しあげます

大内俊司 (株)クボタ
鈴木 實 加納保成
岡 部 (株)テクノ・タジマ
青山特殊鋼(株)
皆川博司
光洋商事(株)
豊田通商(株)
関東銑鐵(株)
松田鉄鋼(株)
高周波熱錬(株)
東海レラー鋼業(株)
草野産業(株)
宮崎精鋼(株)
丸橋正彦
次郎丸嘉助
丸橋正彦
(株)周東商会
広島シャリン工業(株)
東南貿易(株)
内外運輸(株)
芝本龍平
(株)大川鉄工所
藤田金属(株)
金森藤平商事(株)
三井金属工業(株)
飯田正雄
小川運輸(株)
自見産業(株)
平和農産工業(株)
飯田正雄
姫田清美
木村利秋
飯田正雄
高島浩一
自見産業(株)
豊鋼材工業(株)
西野公庸
北海鋼機(株)
橋本尚吾
東北支部

(機動隊員等を励ます会)

今月の言葉

喜劇王といわれ、喜劇でありながら、奥深い哀愁と心暖まる愛に溢れた映画を作り続けたチャップリン・チャップリンは、そのヒュー・マズムと物質文明への疑問から当時の社会への批判が強く打ち出された結果、共産主義者という誤ったレッテルを貼られて、アメリカから追放され、ヨーロッパに移り世を去った。

しかし、死に際して、「人生とはなんと素晴らしいものだろう。」の言葉を残した。

そして、同じ年に生まれたアドルフ・ヒトラーは、ドイツをわがものとし、彼の率いるナチスは英・米を主体とする体制の世界的支配を打破せんとし、その方法として力に對して力をもつてする、いわゆる目には目、齒には齒という思想に基いた武力政策をかかげ、一時はヨーロッパを席巻した。

愛情だけで既存体制を打ち破って自分の理想とする体制を打ち建てることは不可能に近いかもしれない。

対イラクの湾岸戦争もあのフセイン相手では話し合いの解決は難しく、肯定は出来ないがアメリカも武力をもってしなければ、早期刊終了は望めなかったにちがいない。

チャップリンとヒトラーは同年の生れだった

キリストは、右の頬を打たれたら左の頬を出せと、力での対応を否定したが、いまだにキリスト教の力では世界の完全平和は確立できないままではあることは事実である。

しかし、目には目という思想が捨てられないかぎり、絶対平和もまたありえない。迂遠であっても、愛による解決を重ね、力による解決を重んじ、その父母の想いをたぐつてみると祖

和を強調したくなるわけである。

易経に「積善の家には必ず余慶あり。積不善の家には必ず余殃あり。」という教えがある。

余慶を考えて善行を積むのでは困るが、現在の自分の幸せを考えると父母の恩を感じ、その父母の想いをたぐつてみると祖

願うは平穩無事 新春初詣警備今年も万全



今年の正月は、三が日も晴天に恵まれ、どの神社も初詣の人でおおいに賑わった。

なかでも毎年全国一の初詣の出入の明治神宮は三百六十万人と、昨年よりも五万人も多い人出となり、自主警備員も動員しての警備となった。特に三十一日から元旦の朝にかけてのピーク時には機動隊員だけでも千五百人を動員するなど、大規模なものであった。

正月三日の全国の初詣の人出は八千二百五十九万人で、昨年よりも五百七十七万人、六・七%多く、過去最高のものとなった。

景気後退を懸念してか商売繁盛を願う人も多く、小銭にたくす願いを強くしていたようである。我が機動隊員も警備を行いながら、国民とともに今年一年の平穩無事を祈ったことであろう。

また道路や鉄道もスキーにでかける若者や帰省した家族連れなどで混雑の激しい状況となった。海外脱出組も一日4万人近くと、昨年を上回り、利用者が毎年増えつづける新東京国際空港の警備を厳重にするなど、全国各地で機動隊員等が年末年始も不休で各交通機関の警備にあたった。

今年も年明けから米國ブッシュ大統領が来日するなど、慌ただしい幕開けとなったが、警戒警備も万全と誠に頼もしい限りである。我々も、そのことに甘んじることなく、官民一体となつて治安の維持に協力を続けていきたい。



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 書
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

平成四年度全国初詣人手ベスト10

場所	人手	昨年比
1 明治神宮	東京 330万	+5万
2 川崎大師	神奈川 327万	+10万
3 成田山新勝寺	千葉 309万	+7万
4 住吉大社	大阪 283万	+10万
5 伏見稲荷大社	京都 267万	+23万
6 熱田神宮	愛知 223万	+12万
7 鶴岡八幡宮	神奈川 205万	+7万
8 太宰府天満宮	福岡 203万	+8万
9 大宮氷川神社	埼玉 172万	+5万
10 浅草寺	東京 165万	+1万

第十八回 大阪支部総会開催!!



動隊員参加は志気と活力にみちた熱っぽさを加え、会場は開会前より熱気にあふれていた。

鳥居司会者の開会の辞、国歌斉唱後、木村大阪支部長が挨拶に立ち、支援二十年の間に於ける機動隊の活動に感謝の意を表し、次いで鈴木理事長より隊員の日頃の活動に感謝すると共に今後における支援と物心両面から力強く実施していくとの激励のことばがあった。

来賓を代表して長尾近畿管区警察局長殿代読、津金公安部長殿から管区内の警備活動概要、今後の警備についての抱負を述べると共に、当会への謝辞があった。次いで中門大阪府警察本部長殿が立ち、当府警は、第三機動隊の創設、柔剣道全国大会での同時優勝を二十年ぶりに果たせ、志気が上がっている。今後おこるであろう過激派の反皇室、関西空港反対闘争、来日外国人要人に対する警備に万全を期する決意の表明の挨拶があった。

年末も迫った十二月十二日、大阪商工会議所内ニュー・コクサイの広間において大阪支部総会が開催された。

出席者は、近畿管区警察局長殿、大阪府警察本部の幹部多数、若き機動隊員約百五十人、当方からは、東京本部役員、他地区役員並びに大阪支部役員・会員等二百名にのぼった。設立直後の第三機

先に行きつき、長い家の歴史の中に積み重ねられた善行があったればこそ現在の自分という自覚が生まれ、祖考への感謝がこみ上げてくる。

すくなくとも、縦のつながりが絶えていたならば、現在の自分が存在しないことは事実なのだ。

われ組合、それ当然の権利と、利己主義な主張に終始する横のつながりの横行はにがにがしい。

善行が積み重ねられゆく愛の社会。人類社会が、イデオロギーはもちろん、宗教人種民族や国家の対立や違いにまたまげられている現在の力の社会からの一日も早い脱却を祈るのみである。

(嘉悦 康人)



▲中門警察本部長



▲津金公安部長

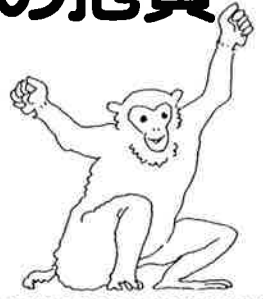
午後八時全員輪になって、「この世を花にするために」を合唱、竹之上支部世話人の音頭で万歳を三唱し、盛大な極めた支部総会並びに懇親会は幕を閉じた。

その後生常任理事の音頭で乾杯の杯が高々とあげられ、懇談のパーティに入った。

アトラクションが舞台を飾った。機動隊員夫妻との同好者による尺八・琴のクロウト以上の合奏や管区機動隊の合唱・カラオケ等々、多士齊々で会場をわかせた。

午後八時全員輪になって、「この世を花にするために」を合唱、竹之上支部世話人の音頭で万歳を三唱し、盛大な極めた支部総会並びに懇親会は幕を閉じた。

年男 今年の抱負



新しい年、平成四年の幕が切っておとされました。昨年引き続き今年も予断を許さない情勢になりそうです。治安の最後の砦としての機動隊の皆さんへの期待も大きくなっていくことでしょう。そこで今回は、道府県警察機動隊の年男の方々に、新しい年に向けての抱負を語っていただきました。隊員の皆さんの力強い言葉をお聴きください。

中国管区機動隊

寶満智彦

平成三年、この年は私にとって様々な出来事があり、幾多の事件や出動によりかけがえのない経験をすることができた年であった。

私が管区機動隊員を命ぜられて、早くも一年八カ月が過ぎようとしている。新入隊員の頃にも多くの県外出動を経験したが、昨年の四月からは小隊長命令として、各警備警備出動を完遂できなかったことは私の人生において、かけがえのない経験となった。これからの仕事においての自信につながったように思う。

また、入校訓練では、猛暑の中、厳しく、苦しい訓練を繰り返すことで、気力・体力の向上することはもちろん、機動隊員として必要な精神力をも、身に付けることができた。今年で私も年男の二十四歳となり、

人生の大きな節目である年を迎える。そのような年を迎え、今年初めて巡查部長昇任試験を受験することができ、昇任試験は中途半端な勉強では合格することはできないので、常に計画をたて、短時間でも集中継続して勉強する努力と意気込みが大切である。自分自身で計画をたて、「継続は力なり」を常に念頭におき、少しづつでも勉強する癖をつけ、機動隊生活で培った気力・体力及び精神力により、難関を突破していきたい。

「巡查部長昇任試験合格」を今年の抱負とし、今年を飛躍の年とするために、何事にも積極的にチャレンジし、管区機動隊に在隊していることを誇りに持てるよう、今年も躍進していきたい。

四国管区機動隊

芦谷智之

今年には申年です。私は昭和四十三年の申年生まれなので二度目の当たり年になります。

現在私は四国管区機動隊員として勤務し、県内外の各種警備に応援出動等しています。今年三月で入隊から満二年を迎え除隊が予定されており、仕事面、私生活面共に新しくなることから今年を節目の年と考えています。

私のこの節目の年の目標は、何事にも積極的に取り組むということです。まず仕事の関係ですが、管区機動隊を除隊すれば当然新しい職場、新しい仕事となり戸惑うこともあると思いますが、そこは管区機動隊に在隊中の警備訓練や警備出動等で培ってきた気力と体力で乗り越えていこうと思います。警察の仕事はどんな小さな事でも疎かにしてもよいものはないと自分から進んでやろうとする前向きな姿勢で仕事に取り組んでいきたいです。

次に私生活の関係ですが、何かよい趣味を持ちたいと思います。一つだけでなくいろいろなものに挑戦して一生

続けていける趣味をぜひ見つけたいです。仕事ばかりでは息が詰まりますがよい趣味を持つことで気分転換をはかり、仕事の効率も上げていこうと思います。

また趣味等を通じて多くの知り合いを作っていきたいです。このことは仕事、私生活両面で最も大切なことの一つだと思います。警察の仕事のどの分野でも人間関係が重要となっていますし、自分自身でもいろいろな物の見方ができるからです。

九州管区機動隊

土谷武紀

月日が過ぎるのは早いもので、幼い頃から憧れていた警察官を拝命して二年が経ち、昨年九月からは管区機動隊員の指定を受け、日々奮闘の毎日である。

さて、今年は一月初旬、ブッシュ米大統領の来日、五月に福岡県で開催される全国植樹祭と重要な任務が予定されている。

私は現在部隊を離れ、植樹祭対策室で転用勤務をしている。警備警備の計画・作定段階から各種対策に参画させてもらう機会を得ることができた。なかでも事前調査や計画立案等の機密且つ周到な作業を目のあたりにし、この努力に報いる為にも是が非でも植樹祭を成功させようという決意を新たにしている。そしてこの機会に一つでも多くの事を学び今後の警察人生の糧とするため努力するつもりである。

今年には年男である。一念発起、仕事に私生活に悔いの残らない年にしたいと思う。

北海道警備隊

菅野充彦

今年二十四歳の年男となり、社会人としての責任の重さを今、改めて思う。

四年前成人式を迎えたときのくすぶつたいような感動はなく、ただ時の流れの早さだけを考えさせられてしまう。年男だから、といって変化がある訳ではないが、あえて今年一年は「年男」にこだわってみたい。人生の区切りとして新たな決意をするには今がよい時だとも思う。

今年から私が自分らしさを失わずチャレンジしてみたいことは「外国語」の習得である。

以前から興味と魅力を感じていながら、なかなか始めることが出来なかった。この語学を学ぼうと意欲をかき立てたきっかけが昨年の東京への旅行であった。札幌に住む私が東京へ旅行して感じたことは、なんとといっても街に溢れる外国人労働者の多さである。私は語学力の必要性を改めて知った。

外国人に関する犯罪などが盛んに取り上げられ、法律も改正された今日であるのに、私はまるで自国のこととは思えないほど無関心であった。確かにこの札幌にも多くの外国人が居住しているが、これ程の問題はなかった。しかし、これでは警察官としても、二十四歳の社会人としても失格である。

語学の研修は私にしか出来ないことではないが、彼らの言葉を修得したならば私なりの方法で彼らに接し、単なる通訳でなく信頼できる警察官となつて本場の日本を、そして日本の警察を良く理解してもらえよう努力したい。また、私の「語学」と「気持ち」が親善の架け橋となれば本望である。

これからは今以上に国際化の時代が進むことは必至である。この事態を踏まえ国民や組織から、そして諸外国人から期待される人間像を目指し、大きく飛躍することが私の抱負である。

東北管区機動隊

畠山洋

平成四年、今年、警察官を拝命して五年目になります。

厳しい警察学校生活の一年目、無我夢中で仕事を覚えるのに必死だった二年目、少しずつ周りが見えて来た三年目、初めての異動、そして気力・体力の充実した四年目。

そして五年目。今年、様々な分野の本を読み幅広い知識を身に付けたいと思います。以前までは、その日、一日がやっとして、自己の本当に狭い知識の中だけで生活して来ました。

しかしながら、機動隊として勤務することになってからは、東北六県、千葉(成田)、京都など、秋田県以外のそれぞれの個性を持つ仲間と共に働くことで、改めて組織の大きさ、一隊員としての立場、職責を自覚しました。県内だけでは、こうした経験をすることは数少なく、どうしても知らず知らずのうちに考え方も固定されてしまいがちになると思います。もって視野を変えて物事を見る力を養いたいと思います。

日々の営みの中で先輩の忠告、配慮、身近で体験できることを学び、それ以外の知識を本からと考えました。

元来、余暇などは外で体を動かすことが多いのですが、今年には出来る限りの時間を本にかけて、自己の知識として積み重ね秋田県警察・東北管区機動隊の一員として努力して行きたいと思っています。

関東管区機動隊

古村清治

私は、今年二十四歳を迎えます。この二十三年間はあつという間に過ぎてしまいました。

しかし、昨年の一年間というものは長く感じた年はありません。私は昨年の三月に警備部機動隊の新隊員として、この小隊に入隊しました。毎日、訓練が続き苦しい日々がりましたが、同期の新隊員と共にがんばってきました。この訓練に耐え、昨年は三回に渡る管区警察学校に入校し、最優秀小隊となることができました。これも、小

隊長をはじめ各分隊長、旧隊員、新隊員の気持ち、力が一つにまとまり、各個人が自分の持つ力以上発揮したからでしょう。昨年は私にとって充実した一年だったと思います。

平成四年度の治安の維持、機動隊の一員として極左暴力集団根絶の為、毎日の努力を惜しまず体力を鍛え強力な部隊と言われるようにがんばりたいと思います。

岐阜県警察機動隊

水田千秋

私は今年三十六歳になりますが、最近「光陰矢の如し」という言葉の意味を切実に感じています。そして、年齢ばかり増えていくけれども中身が伴っていないのではないかと。これだけいいだろうかとという思いを強く持っています。

そうした中で、昨年、当県に放送大学(岐阜ビデオ学習センター)が設立されたことから、私は自己啓発のためにちよど良い機会だと思い、早速入学して「日本政治史」という科目を専攻しています。

私の今年の目標は、まずこの科目の単位認定試験に合格することです。そのために仕事が終わった後、センターに通いビデオテープを聞きながらテキストにとらめつことをしています。

入学して驚いたことは、年配の人が多いことで、学びたいという意欲があれば年齢は関係ないということを確認するとともに、自分自身いつまでもそうした意欲をなくさないようにしたいと思っています。そして、今年を出発点として、単位取得後も他の科目を選んで、いろいろな分野の勉強を続けていきたいと考えています。

兵庫警察機動隊

山田勝喜

「光陰矢の如し」と昔からのことわざにもあるように月日の過ぎるのは早いもので私もいよいよ二度目の年男と

なります。

私自身、前回の年男の時は、「もうすぐ中学や、頑張ろう」とただわくわくしていたことを覚えていますが、あれから十二年余り、その間私にとっては人生の転機とも言える出来事が二度ありました。その一つは、高校受験の失敗です。

今思えばこの失敗があったからこそ恩師、戸田能徳先生と巡り合うことができ、今の私があると思っています。そして二つ目は、就職です。

私自身、大学進学を熱望していましたが、高三の二期期中旬、自営で木工業を営んでいる父が日々仕事の過労からか糖尿病で入院することとなり、私は両親に自分の気持ちを言えず、また両親に負担をかけたくないという気持ちから就職をすることに、警察官への道を選びました。

今、私の過去を振り返って見れば、余り自己主張をすることがなく、ただ周囲の人のすするまに過ぎて来たような気がして、自分の人生であった自分の人生でないような気持ちになることがあります。

現在私は、機動隊員としてまた、剣道特練員として自分の特技を生かせる職務についています。

昨年は、新人の登竜門とも言える二府二県警察剣道大会出場にもう一步努力が足らずチャンスを生かすことができなかった。訓練は辛く苦しいものではあるが自分の力を生かせる場所なので本年は年男を契機に人一倍、二倍も努力して、今までより一つでも二つでもステップアップしてこれが自分の人生であると実感のもてる年にしたい。また私も、三度目の年男になるまでには結婚し、子供の誕生などこれまで以上に様々なことが身の周りに起こると思うが、その時には後悔しないようにしたい。

平成四年申年、人生二度目の年男として自分の現在を精一杯生きてみようと思っています。

お国じまん西東

南には陽光あふれる瀬戸内海、北には緑豊かな中国山地の横たわる岡山県は、温暖な気候、美しい自然環境に恵まれた私の郷里。早くから文化が開け、古くは弥生時代末期から古墳時代にかけて「古代吉備国」と称され、全国第四位の規模をもつ造山古墳をはじめ数多くの巨大古墳の存在は、その繁栄を雄弁に物語っている。

観光・レジャー面に関しては、日本三大名園の一つとして有名な後樂園や、瀬戸大橋、私たち岡山県警察機動隊のレジャー・スキューバ訓練の場である岡山城などがあるが、私のおすすめる観光地は倉敷の美観地区である。この地区には倉敷の語源でもある「蔵屋敷」と柳並木のシックなたたずまいが、文化の香り漂う倉敷美術館地区をより

一層際立たせている。岡山を代表するイベントといえば、日本三大奇祭の一つ西大寺会陽(えよう)。「はだか祭り」があげられる。実際に私も雑踏警備にあたったが、会場である西大寺観音院境内は一種異様な雰囲気包まれ、「真冬の一万人大パトルロイヤル」といった状態となる。

最後に、「日本は世界一恵まれた国岡山県は日本一恵まれた県。つまり、君たちは世界で一番恵まれたところに住んでいるのだから、もつと郷土を愛し、この恵まれた環境に感謝しなさい。」これは、私の中学時代の恩師の弁である。一見、強引なまでの三段論法であるが、今でも私の心の中に深く刻み込まれている。人間は勝手なもので、この恵まれた自然環境も空気や水と同様にいつでも私たちの身の回りにあるものだと、思い込みがちであるが、今一度わが郷土・岡山の素晴らしさを再認識するとともに、今後の岡山の発展を見守っていききたい。

こちら警視庁 機動隊

～第八機動隊～

一、誕生と生い立ち
我が機動隊は、第二次安保闘争の最盛期を迎えようとしていた昭和四十四年一月、時代の要請により発隊した。東大紛争・神田地区騒動の警備に初陣として出動、激動期における警備の中核となりその任務を見事完遂、以後新宿区市ヶ谷本村町の仮庁舎を同区若松町に移し、昭和五十二年十月地下第一階、地上六階建ての隊本部庁舎が竣工、さらに翌年十二月に地上三階建ての別館等が完成し、その偉容を示している。

二、シンボルマーク
当初は、「くまん蜂」をシンボルマークとしていたが、隊員から応募親しまれていた隊章である「日輪」を、昭和六十三年シンボルマークとして制定した。これは、「日」「月」を图案化し、日夜を通じて邁進努力するという、我が隊の崇高な精神を表したものである。

三、隊の特色

夫警視指揮のもと、全隊員が、「融和・積極・錬成」の隊訓を念頭において、各種警備活動に従事し、特に高速道路警備は、「高速の八機」と異名を取るほど、高い評価を得ている。

また、我が隊は、ウエイトリフティング・相撲の両クラブがあり、ウエイトリフティングは、東京・メキシコオリンピックのメダリスト大内警部指導のもと、連日訓練に励み、全日本選手権優勝等、輝かしい戦績を残している。



- 努力と実績
- 信頼の機動隊
- 東鋼業(株)
- 大野興業(株)
- (学)嘉悦学園
- 高周波熱錬(株)
- 杉尾榮俊
- 大洋製鋼(株)
- (株)上野百貨店
- 大東港運(株)
- 橋山和正
- 西戸榮一
- 浅田弥三郎
- 竹之上誠剛
- 東海鋼材工業(株)
- 中京製線(株)
- 太陽シャーリング(株)
- 堀口海運(株)
- 早達運送(株)
- 新潟鋼機(株)
- 不動鋼板工業(株)
- (株)機動隊員等を励ます会
- 東北支部

読者の広場



見舞

柴田秀次郎

高校時代からの友人の入院の知らせを受け日頃丈夫な彼のこと、大したことではないだらうと思ったが、彼の細君より手術はしたが転移しており、後三ヶ月から一年の命と聞かれ、息の止まる思いがした。

私が、昭和二十八年初めて上京した時には、田舎弁丸出しの私に下町ツ子の気質で色々東京のこと、教してくれたこと、若い頃の色々な思い出が走馬燈の様に思い出される。とにかく、勇気づけなければと思

い、上京することにした。車中どんな顔をして会ったらいいのか、心が重い。知っていて、知らない振りをして元気づける自信が持てない。癌の告知ということが色々問題になっていくが、自分自身だったらどうだろうか？

きっと耐えられないだらう、いやかえって、あれこれと、一人で想像しているよりは、はっきりと、知らされた方が割り切れるのではと、様々考え、かえって気が減入って来る。自然体でいこう、久し振りに会うのはうれしいが、足が重い。

彼の家につき、小康状態の彼を見て一安心する。彼の二人の息子と細君が自然にふるまいながら、いたわっているのを

見ると、奇跡を期待するしかない。宇宙に行ける時代なのに何と人間は無力なのだろうか。

日頃、神仏にあまり熱心でない私でも手を合わせたくなる。

命ある中に楽しい思い出を作ろうと温泉にでも一緒に行こうと考えたが、体力があまりないらしい。だんだん年を重ねてくると、いろいろと辛いことが多くなる。

彼の二人の息子が今迄と違い大人びて見えてくる。彼らのために、出来るだけ力になってあげよう。友のために私自身元気でいなければ、思いながら……

名門パナムの終焉

落合國雄

旧臘十二月五日の各紙の夕刊に「一九二七年の創立以来、世界の翼として親しまれて来た、米名門航空会社パナアメリカン航空が、六十四年の歴史の幕を閉じる。同社は十二月四日全路線の運行を停止した」と報道して居りますのでお付きの方も多かったことと思います。

パナムの名前を余り知らない一般の方々も、大相撲の千秋楽の優勝式に外人さんが羽織はかまで登場し、「ヒョー・ショー・ジョー」(表彰状)と大きな声を張り上げて居たのを、テレビで観た人は多かったことと思

います。因に此の方はパナムの広報担当支配人のデービット・ジョーンズさんで、昨年十一月の文化の日に叙勲の栄に輝きました。

そのパナムは一九二七年にフロリダとキューバを結ぶ航空路を開設したのを手始めに、中南米航空路に進出し、ついで戦前既にシコルスキーの四発の飛行艇を使った太平洋横断、大西洋横断路線を運行しました。極東向はサンフランシスコ・マニ

ラ・香港を結んで「チャイナクリップ」の名前で親しまれました。

戦後はボーイング「ストラトクルーザー」と云ふB29から発展した四発プロペラの豪華旅客機を東京・ハワイ・サンフランシスコ路線に就航させました。私は昭和二十九年の二月にニューヨーク駐在員で赴任する際、此の飛行機のお世話になりました。

二階建て階下にはバー・ラウンジがあり、又寝台もある豪華な旅客機でした。当時は追い風の吹く冬でも羽田からハワイ迄十二時間、ハワイ・サンフランシスコが八時間かかったものでした。

ジェット旅客機のボーイング707を最初に就航させたのもパナムで、昭和三十三年のことであり、更に現在世界で最も使われて居る、ボーイング747ジャンボを導入したのもパナムです。

昭和五十一年に私は二回目の駐在でニューヨークに赴任致しましたが此の時乗ったのが747の長距離型SRで、東京・ニューヨークをノン・ストップで十三時間で結びました。此のように常に世界の民間航空の先駆者として貢献してきたパナム

も、昨年の湾岸危機を契機とした、米景気後退の中で、経済悪化が深刻化し、昨年一月に米連邦破産法十一条に基づく会社の厚生手続の適用を申請、本社をニューヨークからフロリダに移し、中南米路線に生きるべく再建に努力して居たのですが、追加融資の路を断たれたので、追

加融資の路を断たれたので、追加融資の路を断たれたので、追加融資の路を断たれたので、追

加融資の路を断たれたので、追加融資の路を断たれたので、追

加融資の路を断たれたので、追加融資の路を断たれたので、追

ブッシュ米大統領来日警備 完遂!!

年が明けた一月七日から十日まで、ブッシュ米大統領が来日した。国賓としての米大統領の日本訪問は八年振り、今回は米経済界の大物も同行することもあり、日本中が注目する中、緊張の連続の警戒警備が続いた。

今回の来日では自動車・コメ市場開放問題等マクロ経済問題についての討議が重要な目的となっており、そのため、日本各地において、極左暴力集団、一部右翼をはじめとする反対デモや集会が多数行われ、全く予断を許さない状況の中で警戒警備であった。

警備は昨年十二月上旬から離日した十日までの間、大阪、京都、奈良、東京を中心に全国各地で行われ、機動隊員を含む一日平均二万六千人が警備にあたるという大規模なものとなった。

年末年始の警備と重なり、機動隊員を始め警察関係者の御苦労は、並々ならぬものがあつたに違いない。あらためてその御尽力に敬意の意を表したい。今年も国民の安全を守るため、国家の治安維持のため、機動隊員等はすでに動き始めている。



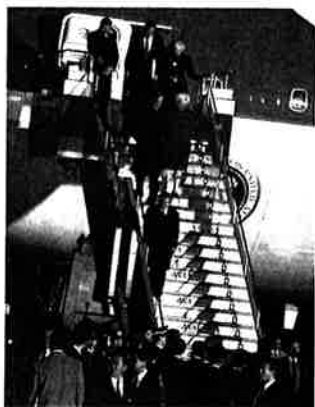
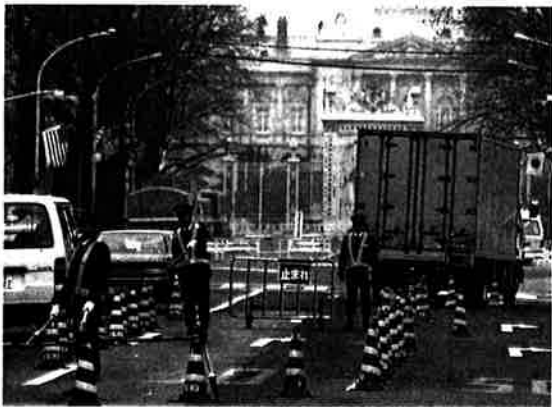
お知らせ

◎二月三日(月) 午後五時三十分より名古屋郵便貯金会館において名古屋支部総会を開催致します。

電話〇五二一九五一七六一

◎三月九日(月) 午後六時より、札幌パークホテルにおいて北海道支部総会を開催致します。

電話〇一一一五一一一三三三三 奮って参加をお願い致します。



今月の言葉

昨今の国際情勢はソ連・東欧の変革と東西冷戦の終結・湾岸危機と世界を揺り動かす事件は複雑で、その流れも速く、ペレストロイカは各々の共和国の独立運動へと進む結果となり、ソ連国内の秩序がゆらぎ始めて共産主義体制の崩壊と、ソ連邦の消滅へと加速して行き、この状況は今後どのように行っていくのか未知数なことも多く、今後の動向に多くの懸念が持たれており、これからは国際社会の中で日本の果たす役割もますます重要性を増して行くことが予想されます。

一方、日本の経済は世界の政治情勢が依然として不安定な要素を抱えてはいるものの湾岸危機のような突発的な出来事に揺き回されて先行きの見通しが不透明にならない限り、ゆるやかな成長へと推

ふれあう手と手つながる心

第15回 東北支部総会開催



平成四年一月二十九日午後六時より、第十五回東北支部総会が仙台市内パレスへいあんにおいて開催された。

出席者は、東北管区警察局長・管区警察学校・宮城、青森、岩手、秋田、山形、福島各県警察本部の幹部及び機動隊員等百五十名。当会側からは、東北支部役員・会員、本部・他支部役員等二百名以上の参加を得て、盛大に挙行された。

司会者猪俣世話人の開会の辞の後、柴田支部長、本部・鈴木理事長が挨拶に立ち、立太子武典・ゴバルチョフ、ブッシュ等外国要人来日警備に完璧



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都大田区仲六郷4-32-5
 〒144
 発行人 鈴木 實
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)



▲柴田東北支部長より福島県警察機動隊武藤志津夫氏に感謝状を贈呈

を期した機動隊員の活動を讃えると共に、今後の活動への期待を述べ、支援の輪を広げる事を約束した。

次いで、来賓挨拶に平林東北管区警察局長・田中宮城県警察本部長殿が立ち、近時に於ける警備活動の実情を述べ、各隊員の努力により任務を完璧に果たしたとの報告があった。国民の理解のもとに、来たるべき「べにばな国体」「三陸海岸・海の博覧会」等イベントに於ける警備、外国要人来日の際の応援警備活動等に対する覚悟の程を披瀝された。そして、多年にわたる当会の援助に対し謝辞が有り、今後とも国民との架け橋となつて機動隊員を励まし、支援を従来どおり進めて欲しいとの期待の表明があった。

B滑走路の竣工に思う

移して行くことが予想されます。なかでも内需拡大を担う東京湾横断道路建設工事は、もはや陸地の道路交通網だけでは限界に達しつつある首都圏の物流を緩和し、千葉・神奈川両県の交流を更に促進して、首都圏での経済活動をより一層活性化させる目的を持って、巨額の費用を投じ長期に至る歳月を費やし、その完成に向け工事は着々と進行しております。

一方空の玄関口、新東京国際空港も昭和五十三年五月の開港以来十三年目を経過し、三十八万回と五十二社に及ぶ航空

機の乗り入れがあり、今秋には待望のB滑走路の一部使用が予定されております。しかしながら新東京国際空港のA滑走路の開港に至る道のは長く厳しく昭和四十六年九月の東峰十字路事件・芝山町長宅襲撃事件などにより受けた犠牲者、負傷者も多く、隊員皆様方の血と汗と涙の結果により開港され、特に殉職された方々には深く哀悼の意を表する次第です。本年も年明け早々ブッシュ米国大統領の来日に伴う警戒警備を始め、開港後の第二期工事の阻止のため空港周辺は常に

過激なテロ・ゲリラの目標に置かれており、反対同盟による集会デモや反皇室闘争等反対派過激派集団の手段を選ばぬ卑劣な且つ軍事的な行動が本年もより一層活発化することが予想されます。我々が今日平穏な恵まれた日常生活が出来ますのも隊員皆様方の献身的なご努力があればこそと改めてその重大な任務を遂行される皆様方に対し深く敬意を表します。

国の治安と平和を維持するため厳しい任務に従事される機動隊員の皆様方にはくれぐれも健康に留意され全隊員が一丸となつて重責を果されますと共に益々のご活躍を心からご期待申しあげます。

(小川 郁雄)

恒例「もちつき大会」

昨年十二月二十六日、岩手県警察機動隊恒例の「もちつき大会」が本部長はじめ多数の来賓を迎え盛大に行われた。

一年間の度重なる出勤や訓練の慰労を含めた総決算としてのもちつき大会

岩手県警察機動隊

らしく、隊員一同一致協力し、昔ながらの臼と杵を使い、腰のきいた味わい深いもちを完成させた。

直ちに祝宴に移り、雑煮やゴマ、あずき等各種つきたてのもち約六十キロに舌鼓を打ち、余興では珍芸も飛び出すなど爆笑の渦と化し、隊員相互の融和団結と士気高揚を図った。



いとの期待の表明があった。

ここで、柴田支部長から、福島県警機動隊員・武藤志津夫氏に対し、感謝状の贈呈があった。武藤氏は、昨午カナダ・トロントでの第八回世界剣道選手権大会で、個人戦優勝を果たされ、その功績を讃えてのものである。

次いで、麻生常任理事の音頭で乾杯の杯が高々と上げられ、懇親パーティーに入った。アトラクションとして、高橋隊長殿指揮のもと四十一名からなる宮城県警察音楽隊・カラーガード隊員の演奏が台上に繰り上げられ、テールごと懇談している人々を一層華やいだものにした。懇談の輪が広がるうちに、山形・福島・宮城各管機の若き隊員のコント・寸劇が披露され、笑いを誘った。

盛会裏に時間が過ぎ、全員輪になつて「この世を花にするために」「この

道」を合唱し、千葉管機大隊長殿の当会への謝辞と「不戦不敵」の決意の表明があった。次いで、林支部評議員の音頭で万歳を三唱して、盛会を極めた会は終了した。

なお出席された方の中に、福島県警の今野金哉氏がおられました。氏は希有の「お歌会初め」に、二年入選の栄に輝きました。ご紹介致します。

昭和六十四年 御題 「晴」
 長梅雨に糖度がらぬ桃の実の
 出荷あきらめて晴るる日待つ
 平成三年 御題 「森」
 わづかづつ感度落ちくる無線機を
 持ちて救難の森に入りゆく



▲平林警察局長 ▲田中警察本部長

年男 今年の抱負Ⅱ

うしや、事のえ
だた話來達と
まな私と
あたたまは、え
心さなな、さ
今年も、さ
平成四年も、二カ月が過ぎた
平成四年も、二カ月が過ぎた
今年も、二カ月が過ぎた
今年も、二カ月が過ぎた

警視庁第一機動隊

古尾浩志

私が第一機動隊に着隊して、早や一年九カ月が過ぎました。そして今年には申男、申男の私にとって昨年よりも充実した有意義な年にならなければなりません。今年は何事も猿のように機敏でずばしっこく行動し、自分の仕事に誇りと使命感をもつてやりたいと思います。今年一年を有意義に過ごすため、二大目標を決めました。

一つは早く一人前の機動隊員になる事です。まだまだ私は機動隊員として半年前まで組長に頼り過ぎる部分が多々あり、後輩を引っ張って行く力もありません。今年には中隊のエンジンとなり、オーバードライブするまで走り続けたいと思います。そして健康管理を徹底し、途中で故障しない様、日頃から十分健康に注意したいと思ひます。

二つ目は、昇任試験合格です。今年から私も受験資格が付き、初めて昇任試験を受けるわけですが、先輩からは半端な勉強では絶対に合格しないと聞かされ、とても不安です。毎日こつこつやることの積み重ねが、一番大切な事ですので、厳しい勤務の時でも、必ず一回は本を開くくせをつけ地道に頑張っていきたいと思ひます。

たいと思ひます。

又合格できなくても、勉強して身に付けた知識を仕事で活かし、無駄にしない様にしたいと思ひます。以上二大目標を胸に刻み、今年一年燃えたいと思ひます。「反省、サル」にならないように……」

警視庁第二機動隊

羽坂昇

「申」の年、十二支のうち第九番目に位置している。

あれよと思う間に三週間目を終えてしまった二十六歳。今更言うまでもないが時の流れは加速度的で、世の急激な変遷は驚きを通り越し、滑稽とさえ思ってしまうのは私だけであろうか。この変化は人間の価値観までも変えてしまった様であるが、一概に是非を問うべきではない。

表があるから裏があり、上があるから下があり、本音があるから立て前があり、切り離す事は不可能。易学で言うところの陰陽のつながり、自然に生きるためには固定概念にとらわれてはならない。つまりエゴを押しつけてはいけない。つまり十二支を考えると、どうしてもこまこまに波及してしまふ「こだわり」のイデオロギー。

中国古典の四書の中に「中庸」があり

これは偏る事の愚かさを説いている。

常に新人類が派生している昨今、人を理解する事の難しさを感じるが、かたよらずに「もの」を観て行きたい。これら大言壮語は全て先人の受け売り、だから買う人はいせんか？平成四年は五部制と言う機動隊の新時代を築く年、十二支の第九にふさわしく、今年を「歓喜」で終わらせる事を抱負とします。

警視庁第三機動隊

鶴田正照

平成四年は私の三度目の年男にあたる二回目の年男を迎えたのは、初任科卒業の年であった。早や十二年、年齢も二十六歳を迎えようとしている。まさに男と

して、警察官として、また夫として「熟期」に入る年でもある。

今年には年男の節目として人生の飛躍の第一歩になるよう新たな決意を誓った。

一、さらにプロ意識に徹すること
故松下幸之助が「プロとはその道をわが職業としている専門家のことである。つまりその道において一人前にメシを喰えることである。」と語っておられた。

警察官として本心に恥じない知識、技能を身につけ、時代の変化や困難に即応できる基本を完璧なまでに修得しているか、さらに自己点検し磨きをかけていきたい。

二、失敗を恐れぬ

私自身失敗を恐れるあまり消極的になる傾向がある。失敗を恐れて、ただ与えられた仕事をこなすだけの警察官になつてはならない。

都民が私達警察に「何を求め」「どんな姿を期待しているのか」を考えた時、積極的な姿勢がなければならぬと思う。その為にも消極的な気持ちをなくさなければならぬと思つている。

干支の「さる」は、知恵者としての言い伝えがある。不惑の年を目の前にした今年をその基盤となる充実した一年にしたい。

警視庁第四機動隊

新田秀美

私は、第四機動隊に新小隊長として勤務しています。今年が、私の干支で申年ですが、申年は「災難が去る年」といわれ縁起のよい年と言われています。今年年男としてまた人生の節目の年として私の抱負を述べてみたいと思ひます。

私の好きな言葉に茶道の「稽古とは、一から始まり十を知り、十から返れる元のもの」というのがあります。何事も一から始まり、最後まで極めれば、また最初に戻って一からやり直をするという意味です。

我々の人生もこの言葉のように同じ事の繰り返しの連続だと思ひます。人生決しておごらず、背伸びせず、また焦ることなく自分の足元をしつかり見て、着実に一歩一歩前進していきたいと思ひます。

となく自分の足元をしつかり見て、着実に一歩一歩前進していきたいと思ひます。

前にも述べたように、今年には私にとって、人生の節目の年です。この時機に機動隊で勤務でき、真の意味で友と相呼びあう仲間がいることは、とても幸せなことです。これからも一日一日を大切に生きていきたいと思ひます。

最後になりますが、今年のみなさんの「災難が去る年」となりますように、心からお祈り申し上げます。

警視庁第五機動隊

鈴木健之

昭和四十三年二月二十八日、都内の、とある病院で私は生まれた。その日は天候も悪く、大雪の降るなかを、父は母を背負うようにして病院へ行ったそう。

父は、「うるう年だったからかも知れぬ。二十九日は四年に一回しかないと、なぜかあのときは焦つていて救急車を呼ぶのも忘れた。」と語る。

現在二十四歳、男の機動隊生活も三年が過ぎようとしている。初心を忘れぬように努力はしているものの、慣れというのは恐ろしいもので、この頃は縮まらぬ態度で隊生活を送っているような気がする。

今年には年男。今の生活を続けると、何もなしにうちに一年が過ぎてしまふだろう。振り返ってみると、同居している両親に親孝行した記憶もない。「健之が健康であればなにより親孝行だよ。」と母はよく口にす。

我がままな放題の私を、優しく見守っていてくれる両親にいくら贈ろうと思つているのがある。そのために、私は日光猿軍団の猿のように、無心になって、贈り物を手に入れる覚悟である。気を引き締めて生活しなければ手に入らないだろう。いや、一生手に入らないかもしれない。しかし、毎晩のように父の吟じる「偶成」を胸に抱き、日夜努力しよう。私からの贈り物、それは、署長になった私の姿。

警視庁第六機動隊

服部祥人

私は、昨年十月、第六機動隊に着隊した。三カ月の新迷分隊長です。

機動隊員として、昨年は、官邸警備赤坂御所警備等殆ど重防警備勤務でした。年が明け今年に「ブッシュ米国大統領警備」の真只中で勤務に励んでいます。

さて、前回の年男から早や十二年、この間、色々なことがありました。良い事だけをあげれば、マイホーム購入、長女次女の誕生、昇任試験合格等々です。これらの殆どは、目標を持って努力してきたからこそ実現できたものと思ひます。

現在の機動隊の勤務は、警察署と比べ変化がなく単調であり、見えない敵から重防を守り、暑さ寒さにじつと耐える辛い仕事かもしれない。しかし、この様な時こそ漫然と過ごすことなく、確固たる目標を定め、何事もプラス思考で物事を考えなければならぬと考えています。

目標に向かってコツコツと努力することが大事であり、もし今年一年成果が出なくても、来年、そして人生において必ず良い成果が出ると私は信じています。

時間に流されることなく、自分に厳しく、定めた目標に向かって一歩一歩努力することを「年男」の抱負としたいと思います。

警視庁第七機動隊

原口昌隆

先日、私の同期生が健康上の理由で退職をした。彼とは高校以来の付き合いで、剣道を通じて一緒に汗を流した仲間である。その彼と私の目標は同じで「剣道の助教になる」ことであった。彼が別れる時、私に言ったことは、「お前と一緒に剣道をやりたかった」と言う言葉だ。私はこれを聞いた時、今まで、いい加減にやってきた自分をハンマーで叩かれたよ

いと思ひます。又合格できなくても、勉強して身に付けた知識を仕事で活かし、無駄にしない様にしたいと思ひます。以上二大目標を胸に刻み、今年一年燃えたいと思ひます。「反省、サル」にならないように……」

うな衝撃が走った。「彼が健康上の都合で達成できなかった分まで一生懸命目標に向かって突き進み、今までのいい加減だった気持ちを改めよう」と心に誓ったものである。

これまで私は、確かに目標を持っていたが、「若いから」と言っていて真剣に考えていなかったように思う。いつまでも情性で過ごす訳にはいかない。後輩も段々と多くなり、今までは分からない事があれば先輩に聞けば良かったが、今度は私が聞かれる立場になる。聞かれたならば自信を持って答え、教えられる先輩になりたい。それには、目標に向かって自ら積極的に仕事に取り組み、かつ勉強をしなければならぬ。

おわりに、昨年なし得なかつたことを今年は達成でき、素晴らしい年になるよう仕事に剣道に精一杯努力し、辞めていった同期生の分まで頑張っていきたい。

警視庁第八機動隊

原田政事

今年二十四歳となり、年男ということ、はじめ、区切りをつけるには、よい年なので新たなスタートの年と考えています。

今まで妥協、挫折した事をひとつでも多く克服し、自分自身また周りの人達から見ても納得のいく考え、行動をとりたいと思います。さて私の今年の抱負は「実務能力」の向上に努めるということです。機動隊に着隊し半年となりますが、この間ブッシュ大統領来日警備等経験し、幹部、先輩のいかなるハプニングの時でも状況の変化の時でも機敏でなおかつ、的確な対応を目のあたりにし、私も今後首都東京の治安の要たる機動隊として実務実戦に強い機動隊員を目指していきたいと思ひます。

その為には、第一に各種法令について勉強することです。デモ警備、重防警備について、違法法案を犯す者がいたら、この者はどのような違反で、どのような罪に問われる

のか、分からなければ扱いをできないので毎日少しずつでも確実に分かるまで勉強する。

第二にレスキュー訓練等を通じて体力の増強に努めることです。

機動隊員は体が資本なので昨年取得したレスキュー初級を生かす意味でも訓練等に積極的に参加し体力の錬磨に努めたいと思ひます。

終わりに、この二つのことを必ずやり通し、責任ある職務執行に努めるとともに真に都民から愛される機動隊員になりたいです。

警視庁特科車両隊

浅間恭一

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。」これは方丈記の書き出しである。古今を問わず、時代は激しく動いており、日々の生活において問題意識を持たず、平々凡々と生活してはどの進歩もない。

今年平成四年、年男として、人生の節目をいかに有意義に過ごすか、自分なりに、次の三本柱を掲げてみた。
第一 昇任試験合格
機動隊は、勉学に打ち込むには最高の環境である。自ら求めて学ぶ姿勢を持って、地道に基本から努力を積み重ね栄冠を勝ちとりたい。

第二 健康管理
「肉体の健康に勝る富はない。」といわれている。長期間の警備も健康のお陰で乗り切れるといえる。従って、体力を維持するためにジョギング、体操等に積極的に取り組んでいきたい。

第三 伝統の継承
特科車両隊は、あさま山荘人質事件にみる故高見警視正の尊く壮烈な殉職があったことを忘れてはならない。

最後に、治安のプロとして、永遠の敵である極左暴力集団と闘い続ける姿勢を堅持していきたいと思っている。

こちら警視庁 機動隊

～第九機動隊～

一、隊の創設
昭和四十四年八月二十六日、新宿区若松町九十五番地、都内最高の台地と言われる「若松台」に、十番目の機動隊として産声をあげた。当時の隊舎は旧統計局プレハブの二階建て、陣容は二個中隊編成の隊長以下二五三名であった。なお昭和五十七年四月一日に新隊舎の完成とともに

江東区新砂一丁目七番二十号に移転し、現在、第十五隊長南雲鐵夫警視のもと首都治安の維持に努めている。
二、隊訓とニックネームの由来
「至誠、団結、剛健」
初代安蔵隊長以下幹部隊員の総意により決められたものである。

なお当隊のニックネームである「疾風の九機」の由来は、昭和四十四年十一月、佐藤総理訪米阻止を標榜する極左暴力集団約五百名が角材や火炎びん等で武装し東京駅に集った際に、九機部隊が抵抗する極左暴力集団を規制

制圧し、瞬時に百余名を検挙したことが広島県警機関誌に戦国時代の武將、武田信玄公の「其疾如風」の再現であるとして、「疾風の九機」として紹介されたことによる。
三、隊の特色等
昭和四十六年八月に発足した警視庁アメリカンフットボール部があり、リーグ優勝を目指し連日猛練習をしている。
また、水難救助訓練水槽としての特殊プールがある。



お国じまん西東

詩情豊かな岩手路へ

岩手県警察機動隊

海端 秋彦

岩手県は、東北の北東部に位置し、総面積は、北海道に次いで全国第二位の広さであり、見どころも数多く観光地の大変多い県でもあります。

そこで、岩手県の見どころを二つの地区に大別し、紹介したいと思います。
一、陸中海岸(沿岸地区)

この陸中海岸は、「海のアルプス」と呼ばれ、豪壮な断崖と岩礁が続く代表的なリアス式海岸です。景色はもちろんですが、夏は海水浴も楽しめますし、海産物も豊富なお宝庫です。

主な観光地としては、北山崎、浄土ヶ浜、碇石海岸、龍泉洞があげられ、七月には、「三陸海岸・海の博覧会」が開催されます。

二、盛岡、八幡平周辺(内陸北部地区)
盛岡は、山と川にいだかれた街で、

本県の政治経済の中心であります。また「杜と水の都」とも呼ばれ、情熱と望郷の詩人石川啄木を育てた地でもあります。市内には、北上川が流れ、南部二十万石の不來方城跡や原敬の記念館等があり、名物「わんこそば」は全国的にも有名です。

また八幡平は、雄大な山の国立公園で、秋は紅葉が美しく、真夏の七月まで、雪渓を残し、スキーマツカで、温泉も充分楽しめます。

三、平泉、花巻、遠野周辺(内陸南部地区)

この地区は、最も詩情豊かな岩手路を象徴される地区で、みちのくの歴史の発祥の地といわれる平泉、宮沢賢治のふるさと花巻、柳田国男の名著「遠野物語」によって民族学発祥にゆかりの深い地として全国的に知られている遠野等が主な見どころです。

みなさんも、詩情豊かな岩手路へ足をこんでみてはいかがでしょう。

誇りと伝統

栄光の機動隊

岡 部(株)

栗田工業(株)

高周波熱錬(株)

(株)三榮商会

村山文雄

(株)スチールセンター

(株)日鐵流通センター

ツツミ金属(株)

木村政次

黒田 一

高島浩一

谷本鐵鋼(株)

(株)西 鋼

国見山(株)

明鋼材(株)

岡谷鋼機(株)

日鐵物流(株)

丸定産業(株)

中條鋼材(株)

北越メタル(株)

東北支部

(機動隊員等を励ます会)

読者の広場



化転の夢

鴉川 渉

パールハーバー五十年の催しは、昨年目にしたさまざまなシーンの中でもひとしお印象に残るもののひとつだった。

戦艦アリゾナが沈むあたりの青い海に捧げられて漂う白い花束。五十年昔の修羅の光景が想像だにできない、美しく平和な映像だった。風化の中でなお生々しいのだひとつの痕跡は海底に横たわるアリゾナからいまでも洩れ出ていて時折海面に湧き上がって来る黒いオイルである。それは幾千の想いをこめた過去からのメッセージのようにも思えた。

五十年昔のその日、ひそかに日本の敗北を予感した人は少数ながら存在したであろう。しかし、戦後のどん底の日々、平成の今日の日本の姿を想像し得た人は皆無であつたに違いない。

文字通り地獄と天国を一生のうちにふたつながら経験した私などは、考えてみれば、結局のところ稀に幸運な人間なのかもしれない。はじめから天国に住む人は、天国にいることの幸せを認識することができない。地獄を垣間見た人間のみが天国の有難みを知る。戦場に散つた多くの人々を思えばなおさらである。生きて今日という日に出会つた幸せに感謝しなければならぬ。

はじめから豊かな環境に生まれ育つた世代の人達はどうかであろうか。「今

の若い人達はわれわれの若い頃に比べれば「幸せ」というのが、中高年世代誰しもの思いであつたようだが、近頃の状況を見てるといささか疑問になる。何につけても有難みが薄くなつていくことがひとつ、さらにもっと大きな問題は日本そのものの将来である。山あれば谷がありこれまでの常識で、繁栄が永劫につづくとは信じられない。近世の歴史を見ただけでも、十九世紀の大英帝国の栄華とその後の後退、二十世紀のアメリカの繁栄と現在の低迷がある。今度は日本の番では、とひそかにおそれる向きが増えはじめて不思議はない。問題がないわけではないにせよ、いろいろな面で日本が絶頂期にあるのは事実。上がりきれば、いずれ下りが始まる。若い頃苦労をして、年をとつてから豊かになつたわれわれ世代とは逆に、豊かに生まれついで、晩年に苦労するのが今の世代の運命なのではないか、という心配もするのである。

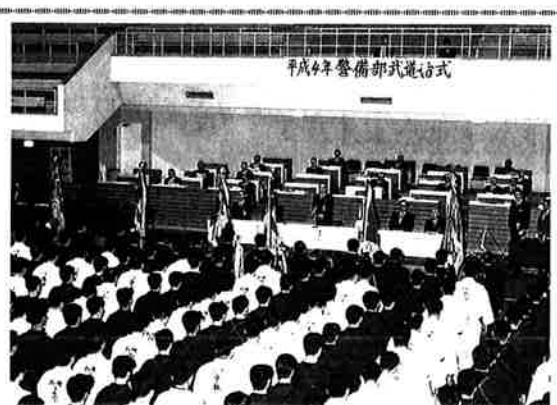
しかし、過去の経験に学びながら、人間は少しずつでも賢くなつていく。得た知恵を総動員して前車の轍を踏まないようにしなければならぬ。パールハーバーから五十年は茫乎として過ぎた。過ぎてしまえば、夢まぼろしのごとく、である。さて次なる五十年は下天の夢ならぬ化転(けてん)の夢となるであろうか？

安威川ダムウォーターフロントにS.L.を走らせること！

西野 公庸

本年二月に都市計画決定されます、大阪府茨木市と箕面市に跨がる北部丘陵千ヘクタールに、安威川ダム(湛水面積百ヘクタール・貯水量二千八十万トン)と国際文化公園都市計画があります。都市住宅整備公園・大阪府・茨木市・箕面市と当社を含めた民間開発事業者の皆々様と、次世紀を目指す街創りを協議・勉強させて頂いております。

千里ニュータウンに匹敵する街が今一つ実現すると言うことです。総事業費は土を動かすだけで一兆円を超え、家等を含めるともう一兆円の事業になる。関西新空港に次ぐ大プロジェクトです。丁度二十年前に本件土地の一番東側に位置する二十三万坪を茨木市の福井共有林組合より購入し、開発についての手法協議を重ねて前記の通りの見通しが決まって参りました。そこでダムを含めた水と緑の回廊に、ホテル・音楽ホール・マーケットプレイス・鉄道ミュージアム・スポーツクラブ・コンドミニアム・クアハウス・駐車場・住宅等を建設する予定ですが街創りを楽しく、よりアメニティを高めるため大木を植え、リスが走り廻るような公園も作りたい等と夢いっばいです。その中で、もう一つ楽しい事の演出はダムのウォーターフロントに蒸気機関車を走らせるという希望で、どの車種にするのか、線路巾をどの様なサイズにするのか、メインテナンスの時あまり重たいものはトラックに積めない等、研究中ですが、イギリスより十五吋のS.L.を輸入するのが最も良いように思われますので、客車も含めてどうするか楽しいことに頭を痛めております。旧国鉄のS.L.は五台当社倉庫に保存中や本社ビル、南港の流通基地等に静態展示してありますが、いずれも重量が百トン近くありまして、動態にした場合の面倒がとても見られないと考えられますので、S.L.総重量二十トンまでのものにしなさいといけない事情は前記の理由によります。



警視庁 平成四年 警備部武道始式開催

平成四年度警視庁警備部武道始式が一月三十日、警視庁術科センターにて行われた。

毎年恒例のこの式典は、警視庁の各機動隊が、柔道・剣道をリーグ戦で争うもので、各隊とも日頃の練習の成果を発揮する場でもある。また、外の寒気を吹き飛ばすような優勝旗を我が隊へという選手等の士気で、場内は真夏のような熱気に包まれていた。

午前中の予選から熱の入った試合内容で、応援の声も高まり、場内の興奮



お知らせ

◎三月九日(月)午後六時より札幌パークホテルにおいて、北海道支部総会を開催致します。

電話〇一一五一一三三三三

奮ってご参加をお願い致します。

◎お詫び

先月号の「第十八回大阪支部総会開催」記事で、中門大阪府警察本部長殿と津金近畿管区警察局長殿の写真を取り違えておりました。心よりお詫び申し上げます。

今月の言葉

四十数年前、第二次大戦の終結とともに、ファシズム、ナチズム等の専制主義は消え去った。そしていま、ソヴィエト連邦の解体と共に、社会主義体制は崩壊した。二度にわたる大きな試練を経て自由主義体制の優位さが証明された。しかし手放して喜ぶことはできない。自由主義体制もまた病んでいる。

社会主義の基礎はマルキシズムである。マルキシズムはその根底に人間の自己疎外からの解放、人間の能力の開花といった極めてヒューマニスティックな哲学をもっている。しかし現実の社会主義は初期資本主義以上には人間の抑圧を強いることになってしまったのは歴史の皮肉である。ある有名な学者は「理性の傲慢」と呼んでいる。自由主義体制は確かに、経済的繁栄をもたらした。運れて出た日本も自由主義体制の下に、先進の欧米諸国に追いつくまで成長した。しかし、自由主義陣営の雄であ

る米国の例をとってみても、必ずしも喜んでばかりはいられない。世界一を誇っていた経済力も衰退の徴候があらわれている。犯罪数は増加し、麻薬の常習が蔓延している。教育水準も低下しているのではない。自由主義体制が崩壊した現在、あらためて「自由」とは何か、「自由主義」とはどうあるべきか、自由主義は「自由」

「自由」について

らねばならないか問い直すことが必要である。一般に、我々は自由主義と民主主義を区別しないで使っている場合が多い。しかし、自由主義と民主主義は別個のものである。割り切った云い方をすれば、民主主義は意思決定をする場合の手続の問題である。云うなれば手段である。自由主義は「自由」

であることが目的なのである。「自由」を目的としない民主主義が専制主義に陥ってしまう危険性を内蔵していることは、ファシズムやナチズムが民主的な政治の過程から生まれ、民衆の熱狂的な支持に迎えられるて成立した歴史を振り返れば充分である。民主主義は自由を担保するための必要なものではない。

「自由」は減じる。自由主義体制の下で繁栄を謳歌している。しかし、いくつかの問題を感じざるをえない。一連の金銭をめぐる政界のスキヤンダル、パブル経済の底にある倫理観の欠如、二十年以上経っても解決しない空港問題、「自由」であるために果たすべき国際的義務への怠慢等々、自由を享受するための秩序の維持に充分の努力が払われているとはいえない。

一度、「自由」であることの有難味を噛みしめて、その秩序を維持することの大切さを確認し合おうではないか。

(佐々木喜朗)

信頼の絆深めて 第17回名古屋支部総会開催



平成四年二月三日午後五時三十分から、第十七回名古屋支部総会が名古屋市内郵便貯金会館(メルパルク)に於いて開催された。出席者は、中部管区警察局長、愛知・三重・岐阜各県警察本部の幹部及び機動隊員等百五十名。当会側からは、名古屋支部役員・会員本部・他支部役員等二百名以上の参加を得て、盛大に挙行された。

司会者二村世話人の開会の辞の後、「君が代」の斉唱があり、次いで加納支部長、本部、鈴木理事長が挨拶に立ち、ゴルバチョフ、ブッシュ等外国要人来日警備に完璧を期した機動隊員の活動を讃えるとともに、今後の活動への期待を述べ、支援の輪を広げる事を約束した。来賓挨拶に、鈴木中部管区警察局長、徳宿愛知県警察本部長殿が立ち、近時に於ける警備活動の実情を述べ、各隊員の努力により任務を完璧に果たしたとの報告があった。国民の理解のもとに、来たるべき外国要人の来日に対する応援警備活動・極左暴力集団等多岐にわたる警備に、日頃の鍛錬に拠って鍛えた強靱な気力・体力を以て当たるとの決意と覚悟の程を披瀝した。そして、多年にわたる当会の援助に対し謝辞があり、今後とも国民との架け橋となつて機動隊員を励まし、支援を従来通り進めて欲しいとの期待の表明があった。

次いで、藤原新日鐵名古屋製鐵所長の音頭で乾杯の杯が高々と上げられ懇親パーティーに入った。アトラクションとして、管区機動隊員八名に拠る「尾張・新次郎太鼓」が勇壮に演ぜられた。更に、婦人警察官機動隊員十二名からなる「サンド・アイ・キ」に拠



▲尾張新次郎太鼓

つて、フォーク・ミュージックが披露され、やんやの喝采を浴びた。会場では、各テーブル毎に分かれて、若き機動隊員と会員との懇談は何時果てるともなく続き、会場は熱気が溢れる程であった。

盛会裏に時間が過ぎ去り、全員輪になって「この世を花にするために」を合唱し、榎村愛知県警察機動隊長殿から当会への謝辞と警備万全を期すると力強い決意の表明があった。次いで麻生常任理事の音頭で万歳を三唱して盛会を極めた会は終了した。

そこで、海外交流の盛んな今日、国際交流の経験を生かして外国人にも信頼される青年警察官になって頂く一助として、このたび、全国の警察からレスキュー、アクアラングその他の特殊技能で人命救助に貢献したとか、機動隊員として功労があり、かつ平素から勤務成績優秀な隊員を推薦して頂き、このなかから社団法人機動隊員等を励ます会として三十名を選抜し、海外旅行にご招待することといたしました。

このような私共の願いをくみとって有意義な視察旅行をされ、今後の警察活動に生かされることを心から希望いたします。



発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 眞
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



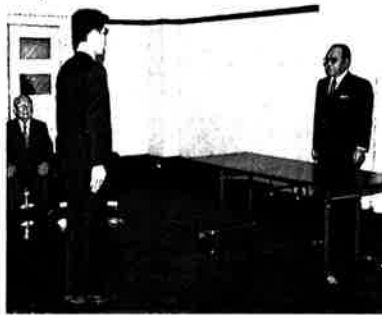
▲鈴木警察局長殿
▲徳宿警察本部長殿

全国優秀機動隊員 海外視察旅行へ

社団法人機動隊員等を励ます会は、昭和四十九年発足以来、酷暑・厳寒・降雨という厳しい条件下での長時間の街頭警備や、身の危険をかえりみず風水害・地震・火山爆発・遭難等の災害警備等に黙々と従事する機動隊員に心から感謝し激励・支援する一方、国民各層に順法精神をひろげる活動を進めて参りました。

そこで、海外交流の盛んな今日、国際交流の経験を生かして外国人にも信頼される青年警察官になって頂く一助として、このたび、全国の警察からレスキュー、アクアラングその他の特殊技能で人命救助に貢献したとか、機動隊員として功労があり、かつ平素から勤務成績優秀な隊員を推薦して頂き、このなかから社団法人機動隊員等を励ます会として三十名を選抜し、海外旅行にご招待することといたしました。

このような私共の願いをくみとって有意義な視察旅行をされ、今後の警察活動に生かされることを心から希望いたします。



▶二月二十一日警察庁に於いてハワイ視察旅行の贈呈式が行われました。

海外事情視察旅行を終えて



一面でもお伝えしましたように、このたび当会では、優秀と認められる三十名の機動隊員を選抜し、海外事情視察として、ハワイ旅行にご招待致しました。ハワイでのエピソードや、海外を視察しての感想などを心身ともにリフレッシュして帰ってきた機動隊員らに語っていただきました。

東北管区機動隊

熊谷 亨

年々日本人の海外旅行者が増加し、旅行先において何らかの犯罪・トラブルに巻き込まれるケースが急激に増えている。こうした中、この度ハワイへの海外研修の機会を頂いた。日本を離れ、南国の風を迎えられて空港に降り立ち、レイの歓迎を受けた時には、誘惑が巷に溢れているとは予想もつかなかった。昼間ののんびりとした南国特有の街並みが、夜になると雰囲気は一変、「ストリートガール」と呼ばれる売春婦の立つ街になる。そんな街並みを散歩していたところ、十五

六歳の少年に片言の日本語で時間を尋ねられた。何の気なしに時計を見せ通り過ぎようとした瞬間、小声で「スモーク」と言うのだ。意味も分からず煙草を見せると「アー・スモーク」、そして目に飛び込んだできたものは、ビニール袋に入った「マリファナ」だったのである。とっさに「アーサンキュー」と言うと、少年は足早に行ってしまった。その後姿を見ながら「何故あんな少年がこんなにも安易に犯罪を」と、驚きと衝撃が私の頭の中を走った。

日本では到底思いも寄らない幾多の悪しき誘惑が、異国の地で現に日本人に対して起こっていると聞く。まさか自分かと思いつく。今回あの少年とのことで、その中の一握りを私自身、身をもって体験した。「百聞は一見にしかず」、今後の社会秩序の維持にあたる者として貴重な経験であり、思い出となった。

近畿管区機動隊

田川 史朗

この度、私は「機動隊員等を励ます会」の御厚意でハワイ旅行に行くことができました。当初、機動隊・管区機動隊員の中から、ハワイ旅行に行ける事が決まった時、「なぜ私が」といった驚きと、初めての海外旅行への憧れなど、色々な思いを込めて参加した今回の旅行でした。ハワイ旅行は予想以上に楽しいものでしたが、それと共に異国で見知らぬ外国人から受けた小さな親切が心に残っております。私がハワイのスーパーマーケットに煙草を買いに行った時のことです。たまたまどしい英語で、レジの店員に「煙草は置いていないか」と尋ねたところ、「煙草は置いていない」とのことでした。すると、その話を聞いていた通りすがりの外国人が、私を手招きして煙草屋まで案内してくれました。私はこの時、いっつも何気なくやっていた街頭活動の地理案内のことを思い出しました。道を教えることは簡単なことですが、教えられた人にとって、これ程嬉しく、有り難い

ことはいないということを、身をもって体験したような気がしました。困っている人に何気なく手をさしのべる。そういうた事を、私達警察官はもっと大切にしていく必要があると思えました。私はこれからは職務を通じて、色々な人と接する事があると思います。そんな時に、この旅行で体験した「ささいな出来事」を頭の隅に置きながら、職務執行にあたっていききたいと思えます。

北海道警察機動隊

森 敏郎

「パスポートがない?それじゃ顔写真と戸籍抄本を大至急取り寄せろ」受話器からの大声が海外事情視察旅行へ参加させていただくことを知った第一報として、幾度かの成田空港警備で夢見た海外旅行しかし税関通過、長時間の空の旅、そして機内食等、初めて体験することばかりで少々緊張気味でしたが、厳冬の北海道とは別世界のハワイの気候、どこまでも青い海と空は、毎日の厳しい訓練等を忘れさせてくれるものでした。その中で強烈な印象として残るのは、サンセット・クルーズで見た情熱的な真紅の夕焼け、北海道では味わうことの出来ないすばらしい環境でのゴルフ、また、今回全国から選ばれた仲間との心のふれあいは、一生忘れられない思い出になるでしょう。そして、この視察旅行という新しい試みの励みとなるばかりか、思いを同じくする全国の仲間の絆を深めるすばらしい施策であると思えます。

このようなりフレッシュの機会を与えて下さいました全国の「機動隊員等を励ます会」の皆様へ深く感謝するとともに、今後の勤務への決意を新たにいたしました。

警視庁第三機動隊

河西 亨

ニュース番組などで「今年の海外渡航者数は、云々」というニュースが流れるたびに「自分には全く関係のないことだ」と思っておりましたが、幸運にもこの度「機動隊員等を励ます会」から招待を受け、海外事情視察に行かせて頂きました。私にとって初めての海外旅行は新婚旅行ではなく、総勢二十名の「男の集団」によるものとなったのです。

四泊六日という日々をハワイという異国の地で過ごし、そこに住んでいる人々との交流を通して、生活・文化の違いや合衆国におけるハワイ州の立場等を学ぶことができ、大変貴重な経験をすることができました。また、今回の海外事情視察という二度と経験することのできないような海外旅行に全国の同僚と一緒に行ったことは、私にとって機動隊生活の良い思い出になるとともに、生涯忘れることのできないものとなりました。昭和天皇のご逝去に伴う「大喪の礼」警備や、平成の幕開けとなった「即位の礼・大嘗祭」警備など長期間の厳しい勤務もありましたが、今は機動隊員として仕事ができたと感謝しております。

神奈川県警察第一機動隊

一柳 豊伸

この度、機動隊員等を励ます会よりご招待を頂き、海外事情視察旅行に参加させて頂いたことは、私にとってこの上のない喜びでありました。私自身、これまで海外旅行の経験がなかったことから「是非一度は海外に行って、この目で外国を見てみたい」と思っていた矢先でもあり、人一倍感慨深いものがありました。季節は、ハワイも日本同様、冬という

ことで気温も少し低めであり、私が描いていた「常夏の国・ハワイ」というイメージはありませんでした。全国の仲間とともに快適な日々を過ごすことができました。旅行期間中は、ワイキキの浜辺や各地の名所めぐり等を行ないましたが、エメラルドグリーン色の海や眩いばかりの太陽など素晴らしい景色に目を奪われ、正に別天地にきたような気分になりました。警察官という仕事柄か、こうした旅行中にも黙々と仕事に励んでいるポリスマンの姿を街のあちこちで見かけると、「国は違っても警察官の姿勢は変わらないなあ」と感じるとともに、帰国したらハワイのポリスマンに負けないよう「治安の礎」として一生懸命頑張らなければいけないと、心新たにしたいところでありました。

愛知県警察機動隊

平野 憲三

機内からまぶしいばかりの青空と、すいこまれるほどに透きとおった海を見た時、一瞬時間が止まるような錯覚に陥った。そして空港で首からレイをかけてもらった時、初めてハワイにきたという実感が湧いた。ハワイは、そのすべてが観光客を楽しませてくれるところであるが、その一方で様々な伝統的文化を伝承しているという一面があり、観光と文化をとっても大事にしているところという印象を強くうけた。



研修生全員で行った船上でのサンセット・クルーズは、デラックスなデザインとハワイアン・ショーを楽しむというものが、ハワイの伝統的な民族衣装をまとったスタッフが私たち機動隊員にハワイアンダンスの手ほどきをしてくれる一

幕もあり、ハワイの文化に少し触れたように十分楽しませてくれた。私たちに与っては日頃の勤務を忘れ、心身をリフレッシュするには充分すぎるほどのひとときであった。又、他府県の機動隊の人たちと一つの部屋に集まってお互いの機動隊での訓練や活動について、明け方まで語り合ったことは本当に素晴らしい思い出となり、自分自身にとって大いに視野を広げることができ、これからの警察人生にとって大変有意義な研修であったと思う。

今回、このような素晴らしい機会を与えて下さった皆様に感謝申し上げますとともに、行動を共にした他府県の機動隊員と、これからの良き同僚として一層親交を深めていきたいと思う。

鳥取県警察機動隊

門脇 京吾

ホノルル国際空港に到着すると同時に女性からレイの歓迎を受け、いきなり常夏的情緒を味わいました。ハワイの市街地を見た時、街並み・街路樹・道路等がきれいに整備され、文化衛生設備が完備されていることがすぐ判りました。また緑のゴルフ場、白い砂のビーチが所狭しと広がっており、その中で陸上スポーツ、マリンスポーツ等数多くの施設が目につきました。私は、ここで感銘を受けたことがありました。それは、ハワイの景観を損ねないために街に空き缶、紙くず等が全く見当たらないこと、南国の楽園「ハワイ」のイメージを守るために建物の二階以上には洗濯物を干せず、公共の乗物での飲食も禁止されていることでした。私はワイキキの市街地のショッピングを含めて十五パーセントも余分に支払わされたことには驚きました。また、ツアーでクルージングに出かけ、船上で水平線に沈む太陽をバックにポリネシアンショーを見て南国情緒のロマンチックな雰囲気を感じる事ができ、厳しい機動隊の訓練を忘れ、命の洗濯ができた最高の時でした。

おわりに、このような感銘と出会いの機会を与えて頂いた機動隊員等を励ます会のご厚意に感謝いたしますとともに、機動隊員として今日まで頑張ったことに誇りを持っている次第であります。

九州管区機動隊

岡田 学

現在、長崎県警察が抱える重大事案は昨年六月三日の大惨事から九カ月も過ぎようとしているのに哀えることを知らない「雲仙普賢岳噴火災害」である。私も管機隊員として、連日災害警備に従事するため島原に出動しているところであるが、この様な多忙な時に思いがけず上司等の計らいで「機動隊員等を励ます会」のご招待を受け、初めての海外旅行に参加させて頂くことになった。

出発当日、全国各地から集まった精鋭達の中に入り、この人たちがとうまくやっているのか不安であった。ハワイに到着し真っ先に海辺へ出た私は、この世のものとは思えない楽園のような世界に驚いた。このハワイにも活発な活動が続くキラウエア火山等があるというのに、過去の惨事等なかったかのように生まれ変わっていたのだ。白い砂浜に寝るべりふと目を閉じると、火砕流や土石流で地獄と化した島原も、いつの日か必ず復興する時が来ることを信じてやまなかった。旅行を通じて、普段接することもできないような東北、北海道の人と知りあえたり、気の合った者同士、ゴルフやショッピングをしたりと、大変有意義な一時を過ごさせてもらった。

本旅行で御尽力頂いた、多くの方に感謝の意を込めてお礼を述べるとともに、いつの日か三十名の仲間にも再会できる日を楽しみにしています。



九州支部長交代

前支部長に警察から感謝状

二月二十七日、九州支部長が交代され、新支部長に不動鋼板工業株式会社会長高橋重廣氏が就任されました。

前支部長自見産業株式会社社長自見眞清氏は、当会発足以来、理事・九州支部長として会員の拡大等に多大の貢献をされていたが、このたび九州管区警察局長および福岡県警察本部長から別掲のとおり感謝状が授与されました。



お知らせ

◎二月二十八日、共英製鋼株式会社より二百万円のご寄付を、三月九日、高松産業株式会社より三十万円、光陽興産株式会社より五十万円、中間総合開発株式会社より二十万円のご寄付を頂戴致しました。当会の運営に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

◎五月二十九日(金)午前七時より都内明治神宮外苑絵画館において警視庁機動隊創設記念観閲式が行われます。観覧ご希望の方は事務局にご連絡下さい。なお、小雨決行ですが、荒天の場合は六月八日(月)に延期となります。

◎六月九日(火)午後五時より同五時三十分まで、明治神宮外苑明治記念館において、第十九回通常総会を開催致します。

奮ってご参加をお待ち申し上げます。

～特科車両隊～

一、生いたち
昭和三十一年機構改正により第一機動隊に特科車両中隊が併設され、昭和四十三年に第一機動隊特科車両隊と名称変更となり、尾張徳川家の屋敷跡という極めて由緒ある市ヶ谷谷台での運用が開始された。

昭和四十四年、時代の要請により、三個機動隊が増設されたのに伴い新設の第八機動隊に編成換えとなり、昭和四十四年七月一日、特科車両部門が独立し警視庁特科車両隊が発足した。現在は、第十四代加藤隊長の指揮のもと全隊員一丸となって、首都治安維持のため日夜努力している。

こちら警視庁機動隊

現在まで多くの警備資器材を開発し、全国的に活用されている車両阻止アンクル、簡易警戒ボックス、X線撮影支持金具等は、その一つである。技術開発で幾多の科学技術賞を受賞したこともあって、各方面からその技術が高く評価され、自然発生的に「技術の特車」と呼ばれるに至った。

三、隊の特色
我が隊は、放水警備車をはじめとして、百余台もの車両を保有し、各隊員が大型免許を取得。車両の運転はもちろんのこと、放水活動も行えるよう日々訓練に努めている。また、バレーボール部は、現在「東部地域リーグ」で活動中であるが、警備の合間を縫い実業団リーグ入りを目指し、厳しい練習に励んでいる。



- 誇りと伝統
輝け機動隊
- 大内俊司
 - 鈴木 實
 - 愛知産業(株)
 - 高周波熱錬(株)
 - 山陽特殊製鋼(株)
 - 次郎丸嘉助
 - 小川運輸(株)
 - 姫田清美
 - 橋本尚吾
 - 村上益一
 - (株)テクノ・タジマ
 - 豊田通商(株)
 - 宮崎精鋼(株)
 - 広島シャワーリング工業(株)
 - 三和鉄構建設(株)
 - 藤田金属(株)
 - 金森藤平商事(株)
 - 自見産業(株)
 - 飯田正雄
 - 北海鋼機(株)
 - 東北支部

読者の 広場



偶感

小林 直樹

道路を車で走っていてよく思うことであるが、何車線にもなつて走行している車が、交差点の点滅信号が赤になれば停まり、青になれば走り出し、実に規則正しく動いている。中には信号を無視する横着な車もあるが、それはごく少数である。当然のことと言えばそれまでだが、殆んど車は信号を100%信頼し、その合図に従つて行動している。皆が安心して切つて信号に従っている姿は一体何かからくるのであろうか。それは交通信号の諸機能やそれを維持・管理している警察力を無意識のうちに信用しているからである。この無意識の信用は、信号に限つたことではなく、日頃享受している国内の治安と安全についても同様である。国内旅行をした米国の友人の話であるが、日本は外国に比べて極めて治安の良い国であるという。タクシーに乗つても法外な料金を請求されることもなく、夜間の一人歩きも安心してできるし、地下鉄・電車に乗つても暴行強盗もなく、各地を楽しく旅行できたこと絶賛していた。又、日本人はこの治安の良さに慣れ切つてしまひ、それを当たり前のように思つていふとも言つていた。しかし、これも裏をかえせば国民が無意識のうちに警察力を信用している姿であり、その警察力の力強さの証明に外ならない。

昨年の十月下旬頃であつたが、天皇

皇后両陛下が愛知県知多半島で開かれた「海づくり大会」に出席されるため名古屋においてなられた折、名古屋市東区徳川町の「徳川美術館」にも立ち寄られた。徳川美術館は私の自宅のすぐ近くでもあり、両陛下の当館ご訪問にあたり、その警備・警備にあたられた警察・機動隊員の勇姿を見る機会を得た。分刻みて移動する陛下一行の身辺警備や交通整理、押せや押せやで混雑する市民や車の雑踏警備等の任務をテキパキと処理されている機動隊員の姿を極めて感銘深く拝見した。やがて陛下一行が当館に到着され、日の丸の小旗を手に持つた沿道の市民が歓声をあげて御一行をお迎えした。そして両陛下も又、にこやかな表情で手を振り応えられる光景は、厳肅なうちにも、実に和やかで平安なものであり同時に警備の成果を象徴するものであつた。しかし、このような晴れやかな行事の下でも黒子(くろこ)として活躍されている警察・機動隊員の存在を決して忘れてはならない。人と人との間柄は、信用し、信用されてこそ職能するものであり、我々も何らかの形で感謝・激励を表明し、「励ます会」を更に拡大・充実させることを痛感する次第である。それと共に、機動隊諸兄もこの負託に応え益々信用と信頼を得て、社会の平和と安全の維持に向けて邁進されることを期待致すところである。

春水と陶齊

滋岡 長平

徳川時代の學問や教育の主流は儒學であつたから知識階級の文藝としては漢詩が広く流行した。今回は江戸後期に輩出した詩人達のエピソードを二、三紹介して見たい。頼山陽(一七八〇—一八三三)は日本外史の著者であると共に多数の詠史を遺し、幕末から明治にかけて青少年の志気を高めたが、その父頼春水(一七四六—一八一六)

も一族を率いる卓越した學者であつた。広島藩の儒者であり乍ら後に天下の教學をリードする人となつたが、温雅で素朴な詩集を残し、詩才の点では息子に劣るところはない。彼は若冠にして大坂に遊學し、先づ堺の趙陶齊に入門、暫らく詩と書を學んだ。一旦帰郷した後再び上坂し、片山北海に師事して、儒學と漢詩を磨き、妻静子を迎えて江戸堀に新居を構え、山陽は此処で生れ幸し、武士、町人、医師など多彩なメンバーが賑やかに集つて漢詩の月例会を催していた。その中で若くて傑出して居たのは葛子琴と春水であつた。子琴は本名は橋本貞之、春水より七歳年長の医者で學藝万能の天才であつた。二人は雪が降り夕涼みをする等おみきを淀川に浮かべて夕涼みをする等おみきを淀川に浮かべて夕涼みをする等おみきを淀川に浮かべて夕涼みをする等おみき

即ち、天子から酒一樽を頂いたが、太平の世を実現させて居る聖徳を頌め讃える外に感謝の言葉がない、と云う意味で知人から酒をもらった礼状代りに書いたものと思われ。之だけでは彼の飘逸な性格が偲ばれるだけのことであるが、在津紀事に春水の書いた逸話をもつと面白い。春水が陶齊に入門した頃、師匠の伴をして京都の高雄に紅葉狩に行つて一泊し、その帰途、伏見

逮捕術大会開催

岩手県警察機動隊



一月二十八日、当隊の道場において、寒稽古の成果を發揮すべく、三十歳未満の隊員による隊内逮捕術大会を行つた。

種目は警棒対警棒というところで、「棒」を持つとらるさい剣道部員、組むとその力を發揮する柔道部員、若さや運動量で勝負する柔道部員、若さやあい様々なスタイルで熱戦が繰り広げられた。中には前転して間合に入り、打ち出すという奇襲に出て、逆に試合の公正を害する行為の反則を取られる隊員もあり、大いに盛り上がった。

試合結果は、逮捕術特練の経験を持つ普及隊員が優勝、二位・高橋祐人隊員、三位・金野淳隊員、中村和明隊員という成績であつた。

機動隊員等を励ます会に 警視庁より感謝状

去る二月七日、当励ます会に警視庁より感謝状が贈られた。これは1月上旬に行われた米國ブッシュ大統領夫妻来日警備の際に、当会が警備活動に協力したことに対する表彰である。当会にとつて大変喜ばしく、名誉なことであるが、このことに奢ることなく、これからも機動隊員等の支えとなるよう、惜しみない支援を贈りつづけた。



感謝状

機動隊員等励ます会
貴会が本年1月7日、当会に
来日警備活動に協力した事
に際し、誠にありがとうございました。
この機会に、感謝状を呈
させていただきます。
平成4年2月7日
警視庁 仁平岡雄

今月の言葉

こんな寓話を聞いたことがある。
ある先進国の青年が発展途上国の山村に働きに出かけた。勤勉な青年は土地の住民の生活をよそに、毎日毎日朝早くから夜遅くまで働いた。現地の人達が不思議に思い、ある時その青年に尋ねた。
「どうしてそんなに一生懸命働くのか」と。
青年は答えて言った。
「体の限り働き、財を成して故国に帰り、のんびりと暮らすのが夢なのだ。」
住民は首をかしげ怪訝な面持ちで呟いた。
「わし等は働かなくとも、こうして毎日のんびり暮らしているのだが」

北の大地に広がる輪 第15回北海道支部総会



去る三月九日午後六時より札幌市内パークホテル広間(パール・ルーム)に於いて、第十五回北海道支部総会並びに懇親会が盛大に挙行されました。出席者は、北海道支部役員及び会員、本部及び他支部役員等四百名、北海道警察本部及び若き機動隊員・北海道庁幹部及び札幌市役所幹部百五十名、計五百五十名の多きを熱気、開会前から会場は熱気に溢れていた。



発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 寛
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



▲桑田北海道警察本部長殿

北海道支部の支援体制につき説明があり、今後共支援を続けるとの力強い決意を表明された。次いで、横路知事殿(代理中川出納長殿)・桂札幌市長殿(代理杉本助役殿)が来賓を代表して、道内治安秩序に励む機動隊員、並びにこれを支援する当「励ます会」北海道支部「役員・会員」に対して心から懇篤な謝辞が述べられた。

次いで、桑田北海道警察本部長殿から、機動隊の道内警備活動について具体的に説明され、ユニバーシヤード・泊原発反対闘争・数次に渡る成田空港警備のため出勤等々の警備実態が示され、そのご苦労の程を知らされました。そして、「励ます会」の多年にわたる支援活動に対して謝辞が述べられました。最後に本部を代表して、鈴木理事長(代理麻生常任理事)が立ち、機動隊員並びにこれが支援活動を活発に展開している支部役員・会員・新日鐵の労を讃えると共に、「励ます会」の

全国活動・各支部の活動状況を詳細に述べられた。

新日鐵室蘭製鐵所長・末廣常務殿の音頭で、乾杯の杯が高々と上げられ、懇談に入った。広い会場を埋めつくした五百五十人の熱気はあふれるばかり、テーブル毎に集まり懇談の輪を広げていった。特に、若い女性会員の多数参加もあって、華やいた雰囲気を一層色彩の濃いものにしていった。宴たけなわになり、機動隊員と会員とが交互に壇上上がり、カラオケ大会を開き、その美声は会を一段と盛り上げた。

何時果てるかも知れぬ中に、時が移り定刻が過ぎ、世話人藤光氏の音頭で「万歳」を三唱して閉会になった。



生活大国の支え

日本は今、ゆとりある生活大国を目指す。指して人間の生き方、生活のあり方を模索している。政府の政策課題としても大きなテーマとなり議論されている。この寓話も議論の糸口になり選択肢の一つになるかも知れない。

生真面目なことで恐縮だが、もし住民の地域に早魃や病害虫が襲うことになったらどうするのだろうか。食糧の確保は大丈夫なのだろうか。仲間割れしたり、他部族の襲撃はないのだろうか。人間が健康で健全な社会のなかで安

心して生活するためには不慮の災害や危険にいつも備えていなければならぬ。そのために働きがあり蓄財がある。目的もなく働くのは精神を喪失した人間であるが、働くことを厭うものは生きる手段を捨てた動物と言われてもいた仕方ない。

子供や孫をいつくしみ、人類の繁栄を求め今日の社会よりもさらに住よい明日の社会を創造していきたいとする希い、その社会を実現しうる能力をもつものが人間である。人間の指導原理

と云ってもよいであろう。

そのためにこそ我々は働き、生活し、家庭を守り、社会を築いていく。そしてその支え、基盤となるものは心身の健康であり社会の健康である。これは生活大国を議論する場合に忘れてはならない要件でもある。

心身の健康とともに社会の健康——所謂、社会の安寧、秩序のために働いておられるのは言うまでもなく皆さん「機動隊の方々」であると思う。

すこしでも豊かに、すこしでも健康な社会がつくられていくよう皆さんに感謝しつつ共に進んでいきたいものと願っている。

警視庁

機動隊五部制になる！

魅力ある機動隊づくり、勤務改善の一環として、警視庁機動隊(中隊)の勤務制度が四月一日より五部制になりました。警視庁機動隊の勤務体制の改革は三十数年振りというところで、これにより首都治安維持に当たる隊員等の決意を新たに、あわせて、この制度の定着と効果的運用及び士気の高揚を図るため、実施の運びとなりました。

その警視庁機動隊五部制の発足式が四月一日(水)午前十時より、第一機動隊の隊庭で開催されました。当日は警備部長、警備部参事官等も出席され、記念の植樹なども行われました。

当会としても、この五部制の導入により機動隊の皆様の勤務が少しでも緩和され、新たな目標に向かい、邁進されることを心より願うのであります。

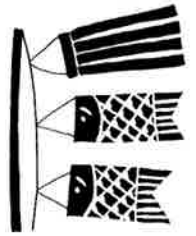


▲記念植樹



▲警視庁機動隊五部制発足式

ガンバレ！新隊員



街のあちこちで新社会人を見かける季節になりました。われらが機動隊にも、新隊員がやってきます。期待と不安に胸をふくらませてやってくる新隊員に、先輩隊員から激励の言葉を頂きました。

警視庁第一機動隊

小野塚 晴俊

私は昨年、十月十五日付けで第一機動隊勤務を命ぜられました。機動隊への転勤が決まった時には、警察学校に入校した時や卒業配置になった時と同じような希望と不安で胸が一杯でした。新隊員訓練も噂どりの厳しさでしたが、無事に乗り切った時には、「これからはどんな厳しいことがあっても必ず耐えていける。」という確信が持てました。

今では、隊長をはじめ幹部・先輩方の温かな御指導の下、勤務の傍ら警備訓練、柔剣道に励み心身を鍛えようと共に、同年代の仲間と楽しく隊生活を送っています。

であり、友と切磋琢磨して自分を鍛えることの出来る最高の職場です。新隊員の皆さんと共に、勉学、訓練に励み、輝かしい歴史と伝統を継承し、更に発展させていこうではありませんか。

警視庁第二機動隊
萩原 章弘

私は機動隊に入隊するにあたり大きな目標として巡査部長試験合格を掲げました。努力の甲斐ありその目標は達成することが出来ましたが合格の喜びより、自分の可能性が発見できた喜びの方が大きく感じられました。

私の胸の内には、自分の可能性を発見したいという気持ちが常にありました。しかし、その心とは裏腹に、只だらだらと日々を過ごしてしまっていました。

新隊員期間が終わるころには一種のあせりの様なものがあり、何かしなければ自分が駄目になると思うようになってたのです。幸い機動隊には可能性を発見し、それを実現する機会と、環境がありました。

私は、そのチャンスを掴むことができました。そしてそのチャンスは誰にでも公平に用意されているのです。思うだけでは駄目です。さあ、今こそ行動を起こしてください。

警視庁第三機動隊

金子 勇二

転勤にあたり、新隊員の皆さんは様々な思いを胸に入隊されたことと

そこで、機動隊の先輩の一人として皆さんに敢えて一言申し上げたい。特にここ数年、都民応接の一環として親切で適正な執行務が求められる

ている。しかし、言葉使いが丁寧で電話の応対が良い等といったことは警察の仕事のみに問題視されるものでなくどの社会においても心掛けるべきである。だが、警察にしかできない都民への親切さがある。つまり、悪い奴は、必ずやつつけてくれるといった犯罪や犯人に強い警察、そして警備といった側面を忘れて、ただ優しいだけではいけない。その一翼をになう機動隊隊員。

人のために役立つ、社会に貢献するといった意味で他に類を見ないこの仕事。その誇りと名誉に値する努力を積み重ねその認識とステイタス自身につけてもらいたい。

私自身大いに反省しているのだが、若き日に怠惰を貪った付けは大きい。新隊員諸君！壮大なロマンスをもって正々堂々と若者らしく生きていって

今は今でしかない。あとがあると

今燃えるならば今は光り輝く。

警視庁第四機動隊

青木 繁明

私は、第四機動隊に着隊して四年になります。機動隊の仕事は、人のために泣き、人のために笑い、人のために全力を尽くす、その気概が機動隊の生命であり、基本です。どのような事象にも対応できる「強い機動隊」は、向上心に燃え、友情に涙を流し、辛苦に打ち克つ強靱な体力と男の職場としての魅力を持っていることから生まれる。まさに「修羅場」であり、そして「治安の最後の砦」であると思います。

このような重責を担う機動隊に入隊できることは、大変な名誉でありました。人生にとってプラスであると思います。我々若い者が、

警視庁第五機動隊

池部 美親

入隊おめでとう。不安と希望の満ちた皆さんへ、一言先輩として助言させて頂きます。「機動隊」と言う

立番等がほとんどですが、でもね、街を通る人々が「御苦労様です。大変です。」って声を掛けてくれるんですよ。その時、貴方は何を思いますか？

基幹隊の皆は「よし俺がやらねば誰がやる」と言った気持ちで立番してらんですよ。

でも、そればかりではありません。楽しい事、つらい事、悲しい事、それを中隊の皆と一緒に過ごすんです。明るく仲良く元氣よくをモットーに、頑張りましょう。

警視庁第六機動隊

占部 貴之

新隊員の皆さん、入隊おめでとうございます。私も皆さん同様不安な気持ちで入隊した頃を思い出します。しかし、警視庁機動隊では今春から勤務体制が五部制となり、色々な面で改善され、「案ずる必要全くな

警視庁第七機動隊

岩本 博孝

新入隊員の皆さん、真新しい桜のバッチを襟につけられた感想は如何でしょう。機動隊は警察署に比べ公私にわたり百八十度ぐるりと世界が変化し、毎日多忙を極め大変だと思えますが、慣れると案外楽しいものです。

さて、ここ数カ月間で機動隊は目覚ましく変化し様々な改革が行われています。とりわけ四月一日から五部制本実施に伴う準備のため全隊員、目まぐるしく動き回っています。私が着隊した三年前に比べますと新隊員の負担は随分軽くなりました。そして、これからは各分野に省力化が行われ、数年後には想像もつかない程魅力的な機動隊が出来上がると思っています。機動隊生活の良し悪しは各自の心構え次第です。そして最大の財産は多くの友を得られることです。我々は今、隊員一丸となり魅力ある機動隊づくりに励んでいます。新入隊員の皆さん、充実した機動隊生活を送るべく、かつ日本一の機動隊を

し」というのが実情です。五部制に伴い、在隊勤務が増え、その時間を警備訓練、各種免許取得訓練、昇任試験対策等に十分充てられるため、時間をいかに有意義に過ごすかによって機動隊に来た成果は大きく異なってくると思います。同年代の者の中で同じ視点から自分と他の隊員を比較し、周りの素晴らしい先輩の良い面を学んで頑張りたいと思えます。

私達も皆さんと一緒に自己啓発に努めていきたいと思っています。最後に「新隊員だから」という変な遠慮はしないで、入隊した日から私達の仲間として、お互いに伸び伸びと頑張っていきましょう。

目指し共に頑張っていこうではあり
ませんか。

警視庁第八機動隊

木暮 彰

ここ数年来、武装闘争、荒れるデモ等が影を潜め、機動隊の勤務は重防立番警戒が多くを占めるようになり、単調になりがちであったことは否定できません。しかし勤務環境が厳しいと言われてきた機動隊も四月からの五部制移行を終え、大きな転換期を迎えています。警備訓練のほか、昇任試験対策、各種資格取得に向けた教養、訓練が活発になり、隊内はやる気に満ちています。同年代の若者が共に勤務し、同じ釜の飯を食い、汗を流し、そしてたまには、涙する光景さえある。こんなに素晴らしい感動を体験できるのは、若い今しかないのです。私も二十六歳で新隊員を経験しました。そして念願が叶って分隊長として返り咲き、二度目の機動隊勤務中です。

女性軍には失礼ですが、荒れる現場等女性には任せられない職務の特殊性があるのです。「若人諸君！来たれ男の岩、機動隊へ！」不思議な魅力を持った機動隊で、男としての君の可能性を試してみてはいかが？

警視庁第九機動隊

河村 弘明

冬季五輪アルペールビル大会が終了した。予想外の日本選手の活躍。とりわけ金メダルを獲得した「スキークリフト」は、我々に新しい時代の幕明けを垣間見せた。何かが変化しつつある。日本勢の大躍進の原因として関係者は「指導方法の改革」を第一に挙げている。これまでの指

導は、職人的、閉鎖的であったが、今回は科学的な理論に基づいたトレーニングを導入した成果だという。更に次の原因は若者達の意識の変化にあるといわれる。この変化は何もスポーツの世界に限ったことではない。我が機動隊においても五部制の移行に伴う勤務形態の見直しと業務の省力化等々、社会の変化に際して組織も変わらざるを得ない。また組織の中で個人の在り方も見直され、「伝統」の美名の元に置き去らされていた矛盾も掘り起こされ、あらゆる分野におけるメダリスト級のスペンヤリスト集団となるために。そしてアルペールビルを駆け抜けた風は今、我々の元にある。

警視庁特科車両隊

阿部 伊織

私が機動隊に着隊して、十ヶ月が過ぎようとしています。そしてこの間感じたことは、機動隊は明るい職場ということ。元氣なあいさつがあららこちらで聞かえてきて、上下の年の差があまり離れていないので、気の合う仲間が多くて、仕事や私生活にも活気があつて。私が特科車両隊では、着隊した隊員すべてに大型免許、そして希望により他の専門資格が取得できるという警察署では味わえないようなことができまます。

また、五部制で自分の時間が多く持てるので、昇任試験の合格を目指して行く人には、かなり勉強もできます。今、機動隊に行くことに迷っている人に一言「若い時にしか勤められない職場である機動隊は、私が誇りを持って勤めるところです。」

子煩悩

永久 小百合

(七機永久分隊長の奥様)

結婚して間もなく三年になります。現在一歳七ヶ月の娘、友梨と三人の生活であり、未熟ながらも幸せな毎日を送っています。

主人は毎日決まった様に「友梨ちゃん、ただいま」と帰ってきます。「私には？」と聞くと、口先だけで「ただいま」の挨拶。そして必ず「友梨ちゃん、顔をみていると疲れがとれるよ」と言うのです。私の顔を見ていると疲れが増すとも言うのでしようかと、少しばかり娘に焼きもちをやきたい気分になります。自分にそっくりの娘が可愛くて仕方がないのでしよう。鏡の前で立ち止まり「やっぱ俺に似てるよなあ」と嬉しそうに娘と二人で写っているのです。ここまでくると子煩悩と言うよりは親馬鹿と言う言葉の方が適切かもしれません。

うちの父さん

又、車好きでもあり暇さえあれば車をみがきあげています。おかげで車はいつもピカピカ、一寸の曇りもありません。

仕事の疲れも出さずドライブに温泉にと、家庭サービスもしてくれる理想に近いお父さんだと思います。不規則な出勤で大変ですが、身体に気をつけて、お仕事に頑張ってください。陰ながら、娘と二人で応援していますから……。



私がナンバー1

武田流陣螺術

(法螺吹き)の継承

菅野 東洋

ここに紹介する菅野東洋隊員の出身地・福島県相馬郡鹿島町は、わが国最大のアンスロロジー「万葉集」に、陸奥の真野の草原遠くでも面影に見ゆとふものを(笠 女郎)と歌われている歴史と文化の町である。また、この相馬地方は、平将門に始まり、野馬を追って武芸を練ったといわれる「野馬追の里」でもある。ここで開催される「相馬野馬追」は、東北に夏の到来を告げる、福島県を代表する祭りである。

この祭りに欠かせないものの一つに、戦陣の合図に用いられた法螺があり、これを受け継いでいる菅野隊員は、今

風の武士といえよう。野馬追いで使う法螺は、第十六代相馬藩主長門守義胤公が、戦陣の合図に応用した陣螺が始まりとされ、これを「武田流陣螺術」として、菅野隊員の実家では一子相伝で継承し、現在は父君が第二十世師範である。

このため、菅野隊員は物心ついたころから陣螺に親しみ、昨年も「文化の日」には一家で明治神宮に陣螺術を奉納している。

また、新隊員で入校した昨春の東北管区機動隊訓練開始式では、「隊員一同が一日も早く大隊長の下知(命令・号令等をいう)に、千騎も一騎の如く動けるよう」祈念して、秘伝の陣螺を披露した。

そして、今年も熱い男の祭りに向けて陣螺の稽古に励んでいる。

紹介者 小泉 誠

- 警備の中核
- 頑張り機動隊
- 東鋼業(株)
- (学)嘉悦学園
- 光洋商事(株)
- 高周波熱錬(株)
- (株)周東商会
- 芝本龍平
- 杉尾榮俊
- スカイコート(株)
- 東京テレメンセージ(株)
- 木村利秋
- 西戸栄一
- 加納保成
- 中村欽哉
- 松田鉄鋼(株)
- 中京製線(株)
- 内外運輸(株)
- 中越通運(株)
- 三星金属工業(株)
- 高橋重廣
- 豊鋼材工業(株)
- (社)機動隊員等を励ます会
- 東北支部

読者の広場



中国の思い出

橋山 和生

「大石橋」は大連より汽車で五時間、中国の東北部にあり冬は零下三十度まで気温の下がる地域である。以前、ここで日中合弁工場の仕事に携わった事がある。いくつもの心に残る事があるが一つだけを書いてみたい。

本場に体制を理解して、相手の立場を失わせる事なく問題解決が出来ていたらと忸怩たる思いがしていた。全ての事は「現場を見、そこで働く人の心を知る事」、この大切な基本を改めて教えてくれた気がする。

余談であるが、この工場のある「大石橋」は今なお馬車が走り、少し奥へ入るとお尻を丸出しにした子供が地鶏を追いかけ走っている。鉱山と工場の運搬用に日本が供与したトラックは殆ど使われていない。すぐに道が悪くなって走れなくなるから……。この間の輸送は専ら馬車である。途上行き交うあどけない子供に「一日何回運ぶの?」と聞くと「一回」と答える。多くの人が働くこの工場では一人一回でみんなが職を得る事が大切である。日本が駆けつけた時代がここにはある。

「大石橋」の町、そして「夏工場」の時に寂しげで、時にしたたかど又ひとなつこい笑顔、心の底から暖かかった言葉、これらは今も私にとっての中国そのものである。

クラス会余話

木下 英雄

年輪を重ねるといろいろの会合が増えるし又会員の出席率も次第によくなくなる。つまりリタイアして余暇が増えることも確かであるが、うっかり欠席すると亡き数に誤って入れられる惧れがある。多少無理をしても出ることになるからかもしれない。

学校時代の会、会社或いは業界の会等々海軍時代の会、会社或いは業界の会等々矢鱈にあつて全部仮りに出ると週に数回のこともあり、結構たまらないと云い乍らいそいそと出掛けることになる。

その中で最も気がおけなくて楽しい会は、小学校から大学まで一緒に過ごした六人の仲間である。数年前にこの会があった折り誰の提案だったか忘れたが、我々亭主ばかり集って飲むのもよいが永

年働き蜂の我々を支えてくれたかつての健気な妻にも（今は充分貴族をそなえ堂々としていようとも）参加させてはとの意見が出た。これには一同常々心理的負担を感じてはいるし又現代の世相から最早亭主のみの勝手な行動を従来通り続けた場合将来やバイイにもなりかねない配慮もあつて全員賛成、ついでに亡くなった仲間の奥方も呼んだらということ。早速始めて既に十年以上続いている。

家に閉居する時間が長くなると女房を観察する時間が増え、彼女の室内労働の複雑な在り方から子供や孫たちや親戚連中とのつき合ひだの見てみると、万一年にもこれらが当方へ代貸する場合を考えると絶望的にすらなる。

この単純とみえる事態の繰り返し。これが生活というものかもしれないがーの中で前記の案内同伴クラス会のポジションは現在に至るまで結構高く、予定日が近づくと俄かに表情すら若やいで意欲を燃やすことになる。女性にとつて食事の世話は何拾年やっても気が重いものとみえ、当日は之がないだけでも軽やかになることは確かだ、会費も亭主負担の為もあり尚更軽やかになるわけである。席上女性連中の意気が昇りすぎるとみるや仲間の口の悪いのが最近後妻をもらつた友人の話しをやり始め、そのトーンを抑える効果がかつてはあつたが、最早それは役に立たないし、逆に腹の中を見透かされてはどうにもならないのでやめにして

いづれにしても和気あいあいの中に散会しその雰囲気は数週間続くことになるが、男性側も女性側の満足感が伝わって結構楽しみとなっているのも事実だし、若い社員の方々は女房は大事にしるよと申すのを常としていて、今頃の若い方々殊に機動隊の皆様には或いは不要なかもかもしれない。が、短い人生を楽しくかつ充実したものとするには案外と大事なことではないかなと又難しく云えは民主的な社会の原点の一つかなともつくづく思う近頃である。

お知らせ

- ◎五月二十九日(金) 午前七時より都内明治神宮外苑絵画館前において警視庁機動隊創設記念観閲式が行われます。なお、小雨決行ですが、荒天の場合は六月八日(月)に延期となります。
 - ◎六月九日(火) 午後五時より、明治神宮外苑明治記念館において、第十九回通常総会を開催致します。審議される議案は、
 - ①平成三年度事業報告および平成三年度決算報告承認の件
 - ②平成四年度事業計画案および平成四年度収支予算案承認の件
 - ③定款一部変更の件
 - ④理事選任の件
 であります。
 - ◎六月二十二日(月) 午後六時より、広島市平和公園内(広島国際会議場)において、中国支部総会を開催致します。
- 電話〇八二一三二七一一三二三 奮ってご参加をお待ちしております。

大阪府警察「第三機動隊」発足!!

「第一回機動隊対抗柔道・剣道大会」開催

大阪府警では、関西新空港建設に伴う泉州方面の集団警備力の要として、昨年十二月一日に念願の「第三機動隊」が発足した。

これを記念して「第一回機動隊対抗柔道・剣道大会」が、中門本部長の出席のもとに二月二十七日に大阪府警察本部関目別館道場で開催された。

会場には、「機動隊員等を励ます会大阪支部」代表をはじめ、歴代機動隊長など多数の来賓を迎え、終始白熱した試合展開となり盛大な大会となった。

第一回目のこの大会は、大阪府警の各機動隊が、柔道・剣道とも十五人のベストメンバーによるリーグ戦で本部長杯をめざして争うものである。

試合は、午前 柔道の部、午後 剣道の部に分けて行われた。

柔道は、第一機動隊と第二機動隊の



試合が実質上の優勝決定戦となり、肉迫した試合の展開は大将戦に持ち込まれた。

必勝を祈る応援の声、興奮した場内は、熱気につつまれ最高潮に達した。大将戦の結果、七対七の同数となったが得点において僅差で勝った第一機動隊が優勝に輝いた。

剣道においても、第一機動隊が調子の波にのって、第二機動隊、第三機動隊を打ち破って柔道・剣道とも優勝し、本部長杯をものにした。機動隊らしい若さあふれる気合の入った熱戦に、惜しみない拍手と声援がいつまでも続いた。

機動隊の団結と隊員の士気高揚につながる意義ある大会であった。



大阪府警察 第三機動隊発足式

今月の言葉

日本は世界の経済大国となり、今や経済援助をはじめ、何かと国際貢献が期待される国になってきた。一方、外向きのみでなく、国内的にも国民生活がもつと豊かな生活大国にならないければならないといわれているが、そのためには、これからも長期に亘り、国や企業が繁栄していく基盤がしっかりとしていなければならない。

今年の春も景気低迷の中ながら、賃上げや労働時間の短縮が行われている。しかし、日本の賃金や労働生産性は世界のトップレベルにあるといわれながら、中々実感に伴わないのは、住宅や生活物資の高いこと等によるもので、この辺が改善されなければ実感として

よくならないのであろう。このところ、世界経済が沈滞化している中で日本の輸出がふえ、貿易黒字が増大していることについて、欧米諸国から日本企業のやり方はアンフェアであると強い非難を受けている。これ

生活 大国

安くて良い品を作り輸出によって外貨を稼いできたからに外ならないのであって、今後も資源のない国として貿易立国に進まなければならないことは明らかである。現在の日本は大きな貿易

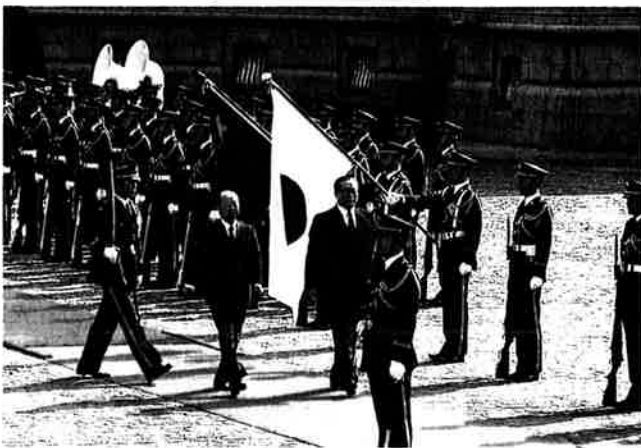
黒字が出ているが、これから先、急速に迫りくる高齢化社会の問題、製造業の海外進出に伴う産業の空洞化問題等、先進国型の構造問題を抱えながら日本経済が今日の状態を維持していくことは容易なことではない。

バブル経済が崩壊してきて、改めて各企業は地道な研究開発と物作りにより汗水を流す努力の大切さを感じている現在、国や企業の構造強化を図りながら国民生活を豊かにし、且、国際協調を保たなければならぬという難しいバランスが求められる時期にきたと思うのである。

(小原信二)

中国江沢民総書記来日警備

見事完遂！！



去る四月六日(月)から十日(金)まで、中国の江沢民共産党総書記が来日した。中国の首脳が日本を訪れるのは八十九年六月の天安門事件以来、初めてのことである。今回の訪日は、①日中国交正常化二十周年記念、②日中善隣友好関係の一層の促進、③日中の歴史的交流の発展が目的とされ、江総書記は、日本側首脳陣との会談のほか、大阪では松下電器産業を、岡山では瀬戸大橋を、また福岡では農業に関する施設を視察されるなど、精力的にスケージュ



◀江総書記到着の様子

のご尽力により、大きな被害はみられず、警備は見事完遂、江総書記は、無事帰国の途について。

季節は春、桜の季節であった。我々市民が春の到来を楽しんでいる間も、機動隊員の方々は、我々の治安、国家の治安を守るため、日夜黙々と警戒・警備に努めて下さったのである。

このことを肝に命じ、機動隊員の方々に感謝の念を忘れずにいるとともに、微力ながらも、これからも益々の支援を続けていく決意を新たにすることもである。



▲都内警戒中のようす



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0690
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

警視庁

新隊員訓練終了

草木の緑が目眩しい季節になり、機動隊各隊にも、新隊員が配属されました。それに伴い、恒例の新隊員訓練が各機動隊毎に行われました。「厳しい」ことで有名な機動隊の訓練も無事に終了し、機動隊にまた新たな戦力が加わりました。

警視庁機動隊では、訓練を終えた四月二十四日、新隊員の警備部長査閲訓練が行われました。十数種におよぶ事例に添った警備や出動が披露され、厳しい訓練を乗り越えてきた新隊員は、訓練の成果を存分に発揮し、これからの実践への大きな一歩を踏み出しました。

我々の生活を守るため、血の滲むような訓練を乗り越えてこられた新隊員の皆さんに、心からの声援を贈りたい。頑張れ！新隊員。



さわやか新隊員特集

さわやかな緑の香りとともに、新隊員がやってきました。新隊員訓練を終え、やる気に満ちた全国の機動隊の新隊員の皆さんの声をお聴きください。

東北管区機動隊

浅野 淳

私の機動隊に対しての第一印象は、初任科当時視閲式で見学した「すごい人達」というものでした。密集して桶で二段重ねの壁を作り、その壁の隙間からガス銃を出して打つ。とても素晴らしく、感動したのを覚えています。

そのため、今回の内示で機動隊勤務が決まったとき、「私に務まるのか?」と戸惑いました。どちらかといえば鈍重な私に視閲式を見たようなことが出来るわけがない、と思ったのです。

様々な不安を持って着任した機動隊は活気にあふれる職場で、私のイメージしていた「なんでも素早く、合理的にこなす」という感じそのもので、即「私も早くこの職場に慣れ、機動隊の一員として頑張りたい。」という気持ちになりました。

新隊員訓練も始まり、警備実施をほとんど知らない私にとって毎日が新しい発見と苦勞の連続です。そして、苦しみもありますが、様々な技能を習得していくことは大きな喜びです。今では着任当時のような不安などなく、この先の機動隊勤務で、一線署ではできない技能の習得、遭遇し得ない経験を通じて一回りも二回りも大きな

警察官になれるよう訓練に励んでいます。

中部管区機動隊

長田 貴敏

この度の異動により、中部管区機動隊福井小隊第二分隊長を命ぜられ、決意は新た、身の引き締まる思いです。思い起こせば昭和六十三年から二年間、千葉県警察航空港警備隊に出身し、ヘルメットと防護衣に身を包んだあの緊張が再び、という感じです。騒がしいジェット音と乾燥した冷たい風の中、無言不動で桶を構え続けた思い出深き成田の地でした。

今、私には十名の隊員がいます。私を信頼して付いてきてくれる、若く力あり余る男達です。自分の隊員時代、分隊長に何を求めていたか、何を期待していたか、分隊長となった今、理想とする分隊長像を必死に模索している最中です。

これから厳しい勤務、訓練が続きます。隊員の気持ちの中に入っていく、あらゆる可能性を引き出してみたい。数ある職業の中で警察官を拝命し、若い貴重な時間のなかで、共に汗を流す出合いを大切にしよう。苦樂を噛み締めて互いに忘れることのできない味のあつ分隊小隊作りに一役を担う所存です。

中国管区機動隊

西上 恭徳

本年三月、栄えある管区機動隊に入隊しました。

入隊にあたり、一抹の不安がありました。その不安も先輩隊員、一人ひとりの厳正な規律と任務完遂に燃える旺盛な士気を目のあたりにして、私の不安は一転して「よし、私もやってやる。」というフアイトに変わっていたのです。

管区機動隊員となつて、私は次の事を目標に頑張りたいと思います。

一、他県管機の模範となり、警備完遂に燃えること

現代は、国際化と情報化が進み、警察を取り巻く社会環境も急速に変化している中で、機動隊の任務も一段と厳しさを増しています。

しかし、私は「警察部隊のプロ」として自覚を持ち、任務完遂に燃え、我が小隊の中で存在感のある隊員となるべく努力をし、他県の管機隊員の模範となりたいと思います。

二、問題意識を持つて事にあたること
国民から「権力の委託」を受けている我々警察が、職務を遂行する上で、「何が必要で、何を考え、何をしなければならぬか。」を的確に判断し行動することが、今必要だと思えます。

私は、常に問題意識を持つてことによる。これからの機動隊生活を充実したものにしたいと思えます。

最後に、我が国の治安を支えている警察組織の中核である機動隊の素晴らしい伝統と、これを守り培ってきた機動隊精神を守っていくため、「初志貫徹」を持つて努力する覚悟です。

北海道警察機動隊

吉田 邦弘

本年四月、小樽警察署から北海道警察機動隊に入隊し、はや一カ月が過ぎようとしています。当初は、伝統のある機動隊に入隊し十分な知識や技能を身につけることができたかどうか不安な気持ちでいっぱいでした。

しかし、諸先輩の温かい指導と励ましに支えられ、新隊員訓練も無事終了、希望に満ちた勤務・訓練・勉強に励んでいる毎日です。

他の同期生と比較し、技能や知識が優れていないため無我夢中の毎日ですが、これからは自分を厳しく律し、先輩方の築かれた「栄光の機動隊色」に一日も早く自らを染めるように努力したいと思えます。

「すばらしい隊風と伝統ある機動隊」

を私たちの後輩に継承できるように、そして、いつか「北の防人、北海道警察機動隊に吉田あり」と言われるように、一生懸命努力したいと思えます。

千葉県警察機動隊

稲田 誠

「警備部第二機動隊勤務を命ずる」その命を受けた時、「よし、やるぞ」と、心の奥底から込み上げてくる熱いものを感ぜずにはいられなかった。

私は、昭和六十年からの三年間、隊員としてこの第二機動隊に在隊し、数多くの厳しい警備事象に直面してきた。そして離隊の時、隊舎を後にしながら誓った事、「今度必ず分隊長になつて帰つて来る」この決意が現実のものとなったからである。

巡査部長として、希望とやる気に燃えて三月十日、第二機動隊の正門をくぐつたのである。

そこには、なつかしの隊舎、厳しい訓練の場となつた隊庭、皆昔のままであり、私の入隊を歓迎しているかの様にも思えた、がしかし、そんな望郷の念にも似た思いは一瞬にして拭いさられ、昔と違つた厳しい眼で、私をジーと見つめている隊舎や隊庭がそこにあるような気がした。それは、分隊長として入隊した私に対し自分の置かれてある立場と責任の重大さを、強く感じさせるものであつた。

機動隊の本質は、何と言つても集団警備力の強さにある。久々に手にした桶の重み、これを分隊長の命の重みとし、先輩達が築いた千葉県第二機動隊の栄光と伝統を、決して汚すことがないように、今決意を新たにしている。

兵庫県警察機動隊

植松 泰城

機動隊への異動を聞かされた時、私の気持ちは期待と不安でドキドキしました。しかし、上司、先輩方の「機動

隊は厳しいが、男の世界だ」等の激励は、つい弱気になりがちな私を奮い立たせてくれました。

三月二十四日、冴え渡る青空のもと機動隊の門をくぐり、力一杯申告をしながら、「ここが、俺の世界だ。頑張るぞ」と、思い切り腹に力を入れました。

訓練は、常日頃の怠慢さを叱咤激励されているようで、日毎にスタミナがついてくるような気がしました。また、自分では、精一杯声を張り上げたつもりでも、声が出ておらず、苦勞しました。汗と埃にまみれ、訓練を終えた時の充実感、私の拙い人生、青春の中で、最良のものと感じています。

寮生活の面では、同年代の者が多く、午後六時以降は毎日が、さながら同期生会の様でした。つらい事は励まし合ひ、愚痴は笑つて聞き流し、知らない事は教え合ひ、訓練期間中は「みんなが頑張っているのに俺が負ける訳にはいかない」という気持ちで訓練等に励みました。

隊長査閲の日、汗だくで精一杯頑張る、隊長の講評を聞いた時、「やつた」という満足感で胸が一杯になりました。これからつらい事や大きな壁に突き当たる事が多々あるとは思いますが、一人前の機動隊員となるためにくじけずに日々精進して行こうと思えます。

レンジャー訓練や対銃器訓練など、修得しなければならぬ訓練が山積みです。正直気の遠くなる思いですが、一歩一歩着実に学んで行きたいと思えます。

長崎県警察機動隊

田中 巖

「長崎県機動隊入隊」、それは、私にとつて大変喜ばしいニュースであつた。

「機動隊」と言えば、次代の警察を担う若武者が一人前の警察官になるための登竜門であると考えていたからである。

これまでも、多数の先輩方がそれぞれの夢や目標を掲げて精進され、誇り高い機動隊の歴史と伝統を築いてこられたのである。

これからは、私たちが先輩方から引き継いで伝統ある機動隊の歴史を作り上げていかなければならない。

私は、機動隊の新入隊員として次の二つのことを実践して行きたいと思っている。

一、「警備実施のプロ」になるための精進

機動隊の仕事は、警備犯罪、災害、雑踏事故等突発発生時に実施部隊の中核としての活動が求められ、多種多様にわたるが、一つ一つの仕事を確実に体で覚え、一日も早く県民の期待と信頼に応えられる機動隊員になりたいと決意している。

二、「文武両道」を目指すチャレンジ精神

警察官は、任務の重大性から人格を磨き、仕事に関する豊富な知識と幅広い視野を身につけなければならない。

さらに、私は本県警察の剣道特練部員に指名されており、剣道部員として技術の向上に努めることは私の重要な任務の一つであり、今日まで私が志してきたことでもあるのだ。

「文武両道」へのチャレンジ精神！これこそ、私の機動隊における生活を充実させるものと確信し、日々努力精進する決意である。

愛媛県警察機動隊

山崎 健作

平成四年の夜明けと共に、全世界に治安の良さを誇る日本警察をあざ笑うかのごとく、金丸副総裁けん銃襲撃事件が発生。

日本国民が不安におののき、全国警察が改めて治安警備の重大さを痛感したそんななかで私は、伝統ある県機動隊員として新たな第一歩を歩み始めました。

中・高校と柔道に明け暮れ精神的にも体力的にも自分なりにある程度の自信を持つての入隊。

慢心だと思われるかもしれませんが、これが正直な私の気持ちでした。

しかし、術科部員が大半を占め、隊勤務も長く、最後の砦としての自覚と責任感に支えられた先輩達は、私の論ぜるものでなく、いつしかたが、時間におわれ、気力体力が欠如している自分自身にはがゆさを感じずにはいられませんでした。

一線勤務していた頃、私は、機動隊の仕事の内容について全く知りませんでした。

術科の訓練、警備訓練、各種出勤等それらは気力・体力そして隊としての結束の上に初めて達成されるもののように思います。

柔道で投げられ、汗をかき、涙を流すなど辛さだけを私にぶつけてくるような先輩方、しかしそれがやさしさを兼ね備えたものであることに気付くには時間はかかりませんでした。

警備訓練についても、先輩にはまだかきませんが、少しづつ覚え、体得しています。

寮生活も楽しく、一日一日の経過がずいぶん早く感じられ、充実した毎日です。

入隊一年目の私は抱負を言えるほどの事は何も出来ませんが、隊舎から見える松山城のような、どっしりとかまえた、周囲の人に安らぎを与えられるような機動隊員になりたいと思っています。

そのための方法、方策として私は、先輩方を目標にやっつこうと思いきや、強く、明るく、やさしく、幅のある機動隊員を目標に頑張ります。



うちのお父さん

うちのおとうさん

野村 益子

(警視庁八機 野村巡査部長の奥様)

休みの日になると決まってテニスに行ったり、ジョギングをしたりして、体を動かしています。家の中の雑用も文句言わずにすすんでしてくる、まめなおとうさんです。

勤務時間が不規則な為、子供達とは休みがなかなか合いません。そんな時は、自分の時間を有意義に過ごしています。先日、一人でドライブに行くと言って出ていったまま、夜まで帰ってきませんでした。

たまの休み、子供達が居ないのなら、家でのんびりと骨やすめでもしたら……と思うのですが、ゴロゴロしているのが嫌いで、かえって体がなまる

仕事をして帰って来たおとうさんはおフロに入って、食事をして、ゆつくりしたい所ですが、それから子供達がおとうさん、おとうさん、といって寄って来ます。子供達はトランプやゲームが大好きで、最近では、夕食のあと

はいつも、トランプやゲームをして遊んでいます。そして、子供達が寝るときは本を読んで聞かせています。

子供が、「おやすみなさい」をした後が、おとうさんの唯一の休息であり、夫婦でゆっくり会話できるのも、この夜の時間です。

勤務体制が変わり、家に居る時間が少し多くなり、家族もおとうさん自身も、少しゆとりが出来た様な気がします。

これからも、やさしいおとうさんでいて下さいね。



私がナンバー1

石川県警察機動隊

松井 道夫

私が石川県の拳銃特練員として、念願の警備部機動隊第一小隊勤務となり、はや六年の歳月が流れました。その間、数々の困難と闘った警備・警備実施をはじめ、苦しかったレンジヤー入校、悲願であった管区大会の初優勝、結婚、長男の出生等公私にわたり様々な出来事がありました。そんな中で一番の思い出は昨年地元で開催された石川国体に出場したことであります。拳銃特練員に指定された時からの夢であった石川国体でCP(センターファイヤピストル)競技の選手として出場したのは

よかったです。やはり地元での開催という事で今だかつてない緊張感の中で大会を迎えました。「俺は石川県の代表なんだ。」気持ちだけは負けまいと、そう自分に言い聞かせて臨んだ大会でしたが、結果は無残にも六十発競技でビリからナンバー1という情けないものでした。しかし私は、意気込みだけは参加選手中ナンバー1であったと自負しております。そしてそれまでの過程も踏まえ「ビリからナンバー1」という結果も私の勳章にしたいと思っています。

話は変わり、少々親バカになります。が、現在の私にとってどんな仕事の疲れも一度に吹き飛ばしてくれる「子供の笑顔」これが私のナンバー1の宝ものです。

- 若さと伝統
- 頑張れ機動隊
- 鈴木 實
- 青山特殊鋼(株)
- 大野興業(株)
- 関東銑鐵(株)
- 岡部(株)
- 草野産業(株)
- 高周波熱錬(株)
- (株)スチールセンター
- 東南貿易(株)
- 小川運輸(株)
- 平和農産工業(株)
- 西野 公庸
- 橋山 和正
- 浅田弥三郎
- 竹之上 誠剛
- 東海レベラー鋼業(株)
- 東海鋼材工業(株)
- 日鐵物流(株)
- 丸橋 正彦
- 早達運送(株)
- 北越メタル(株)

読者の広場



泥臭い素朴な反論 にこそ真実が!

高田 昭

労働運動華やかなりし頃、世の権力機構の移り変わりを皮肉って、「昔陸軍今総評」といわれた。この「総評」は相も変わらぬ左翼教条主義に固執して、世の動きや国民の意識の変化についていけず大多数の組合員にさえ、ソツポを向かれて、見る影のないのは御承知の通りだが、代って、現在の最大の権力者といえは、「世論操作を狙ったマスコミ」と見るのに異論はなからう。そもそも社会現象(人間集団の思考や行動)は多面的であるのに、某大新聞にいたっては、戦後一貫して「社会主義Ⅱソ連等共産国Ⅱ正義」×「資本主義Ⅱアメリカ等自由国Ⅱ悪」の公式のもと、自己に都合のよい一側面のみを偏向報道し、恬として恥じる所がない。身近なところで、ソ連、東欧圏の共産主義崩壊に対し迄の不明と偏向報道の誤りを國民に詫びたことがあるだろうか。さかのぼって三井三池の大争議で、果して「鉱山は消えても労働者は残った」か。「日米安保」の継続で日本が戦争に巻き込まれたか。逆に「安保」のお陰で平和を享受しているのではないのか。だから、米ソ冷戦の解消で、アメリカが日本から手を引くことにでもなれば、日本の安全保障は國連に頼るしかないという事実をどうして説明しないのか。また「北ベトナム」による「南ベトナム解放」とい

う名の侵略で始まった「ベトナム戦争」では、米軍の軍事介入には大々的に非難しても、侵略成功後のベトナムのカンボジア侵略に黙っているのはどうしたことか。同様に昨年の湾岸戦争でも米軍の軍事行動に反対しても、原因となったフセインのクエート侵略と環境汚染に寛大なのは何故か。例を挙げれば際限がないが、今迄は、このような世論操作に対し、案外我々庶民の本能的な知恵が働いて、大事に至らずに済んできたのは幸いだが、まだまだ現在でも問題は尾を引いており、油断はできない。まず「コメ輸入問題」。資源のない日本が、現在の物質的繁栄を築けたのは「自由貿易」体制の恩恵をフルに享受できたからで、ことコメの、しかも少量の輸入に関し、「一粒たりとも輸入させぬ」とのエゴが通用する筈もないのに、「農協」に迎合して煽動する与野党揃っての反対運動が、農民、農協の選挙票目当の政党エゴだとの側面には視点を当てない。さらに不可解なのは、先の湾岸戦争時の難民輸送、掃海に自衛隊派遣問題もそうであったが、今回のPKO、PKF参加問題が、どうして侵略戦争につながるのか。あの敗戦で、もう戦争はコリゴリ、絶対戦争はすまいとの國民的合意は確立され、戦前の「陸軍」のように武力で戦争を強制する組織もないのに、どうしたら戦争できるのか、教えてもらいたくないがらうだ。(自衛戦争すら、日米安保のもとではあり得ない)それなのに、「連憲だ」「平和憲法死守だ」と反体制派に迎合してアジるもしここで、「世界や日本の平和・繁栄」が目的か、「平和憲法維持」が目的かと問えば、誰もが前者が目的で後



者は手段と答えるだろう。国際情勢の変化や日本経済の突出により、この目的のために、日本の国際貢献が求められた場合、手段たる平和憲法が障害となるならば、手段を変えればよい訳で、憲法を拡大解釈すればよいし、出来なければ、憲法改正に國民の総意を問えばよい。この点をタブー視しているのでは、戦前、戦中に「戦争反対」が絶対の禁句であったのと全く変わらない。現代の最大の権力者「マスコミ」の世論操作に抵抗するためには、「民主政治」が「衆愚政治」に墮落して、國民を誤ることのないよう、我々一人ひとりが自分で考え、自分で判断して、根強い反論を盛り上げていくしかあるまい。「世論操作」に惑わされて日本が國際的に孤立し、それこそもう戦争は出来ないのだから、國民生活の窮乏↓政変↓内乱と戦争と変らぬ惨状の悪夢が今後とも杞憂に終わることを願うのみである。

新緑

小林 徹

近くの山々の新緑が、色あざやかに目に映える季節がきた。最近の新潟市は年々暖かくなってきたせいも、大量の積雪で困るなどと云う事はなくなつた。しかしそこはやはり日本海側の冬厚い雲が低くたれ込み、カラツとした日々が続く。そうした長い冬を過ぎた後の春の到来は、何とも心がはずみ、また木々の緑や、色とりどりの花が咲き乱れる様を見るのは、知らずと頬が弛む思いである。

この美しい新緑に、今大変な危機がおとずれている。酸性雨の問題である。酸性雨による森林枯渇は、今や全世界で非常に深刻な問題となっており、隣の中国では「空中死神」とよばれ、その被害に苦しんでいる。またヨーロッパでも一部地域で、汚染に弱い針葉樹が壊滅的な被害を受けているとの事

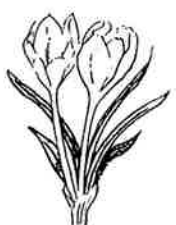
で、その対策は日本のみならず世界的な急務といえよう。

酸性雨という言葉調べてみると、「大気中で硫酸酸化物や窒素酸化物などが雲や霧、雨水などに取込まれて地表に降下してくるもの」との事だが、相手はいわゆる大気、地球の表面を蔽い、気圧の変化によって西に東へと流れるものである。今自分のすむ土地の周囲が健全であっても、何時何処からかその影響がやって来るから分らないというやっかいなものだ。

このような問題は酸性雨に限らない。この六月にはブラジル・リオデジャネイロで国連環境開発会議(地球サミット)の開催が予定されている。

この地球サミットでテーマとされる問題は前述の酸性雨のみでなく、乱伐や農業開発の為の森林破壊と砂漠化、生物を紫外線から守るオゾン層保護の問題、大気中のCO₂の増加による地球温暖化、絶滅の危機にある生物種の保全、河川や海洋の有害廃棄物による汚染の問題、南極の環境保全等々、あらゆる分野で多種多様にわたっている。そしてこの会議の出席予定者も、百人近い各国元首が勢ぞろいし、歴史に残る国際会議となるとの事である。また本会議だけでなく、環境保全を考へる非政府団体(NGO)など、全世界から約三百五十団体の参加が決まっており、無論日本からも多くの団体が名乗りをあげている。

しかし、環境の保護には膨大なコストがかかり、また発展途上国にとつては当分の経済開発の足かせとなる性格から、利害が対立する面もある。資金調達法として「環境スワップ」なる方法も採用され、日本でも一部銀行が、途上国向け債務の寄付を実施し



ている。

我々の身のまわりの美しい環境を守る為に、そして私たちの次の世代へ、汚れた大気や水、少ない森林や荒廃した大地など、負の遺産を手渡すことのないよう、実り多い地球サミットとなり、そこで取決められたことが、世界的レベルで信念をもって実行されることを期待したい。と同時に、自分も大切なことは、私たち一人ひとりが、自分の問題、我が社の問題として、地球を汚さない事、水を汚さない事、空気を汚さない事を、常に心掛け行動するという心構えではなからうか。

お知らせ

- ◎警視庁機動隊観閲式開催日変更
先にご連絡しました警視庁機動隊観閲式は、都合により、六月八日(月)午前七時から明治神宮外苑絵画館前において、行うこととなりました。お間違のないようお願い致します。
 - ◎六月九日(火)午後五時より、明治神宮外苑明治記念館において、第十九回通常総会を開催致します。審議される議案は、
 - ①平成三年度事業報告および平成三年度決算報告承認の件
 - ②平成四年度事業計画案および平成四年度収支予算案承認の件
 - ③定款一部変更の件
 - ④理事選任の件
 であります。
 - ◎六月二十二日(月)午後六時より、広島市平和公園内(広島国際会議場)において、中国支部総会を開催致します。
 - 電話〇八二二二七一一三二三
 - ◎七月七日(火)午後四時より、千葉グランドホテルにおいて、千葉支部総会を開催致します。
 - 電話〇四三二二四一一二一一
- 奮ってご参加をお待ちしております。

今月の言葉

雲仙普賢岳の活動が始まって一年が経過した。最初はまるで岩の花びらでもあるかのような、奇妙な物珍しい形としてカラー写真で新聞紙上に登場した時に、今日の惨状を想像できた人が果たして何人いたのでしょうか。現地の人から見れば、あの花びらこそSF映画に出て来る恐るべきエイリアンの誕生であったのか、という思いではないでしょうか、大火砕流の犠牲者や殉職者は無論のこと、家、土地を無くされたり、不自由な避難生活を送っておられる方々の身の上を思うと、心底いたたまれない思

いがします。そして又、地域住民の安全の確保のため、昼夜を問わず警戒の任にあたっておられる長崎県警察を始めとする機動隊の皆さんのご苦労はいかばかりでしょう。長期にこれほどスケジュールの立てようのない警備、それも地球そのもののご機嫌を伺うような状況のなかでの任務は精神的にも耐

雲仙普賢岳

のであったのかを、図らずも思い起こさせてくれた事件とも言えるでしょう。大自然の驚異の前に、祈禱やお払いや供物を供えはしても、決して

て逃げることはせずに頑張り通したのが、私共のご先祖かと思うと、今は科学という味方もあるだけに、単に島原の住民の問題としてだけではなく、日本人全体の問題として腹を据えてがんばっていかねばならぬことかと思えます。世界中どこを見ても騒乱状態が日常化している現在、地球上で人類が大自然とどのように調和し、国境を越えて共生できるのか、原点にかえってじっくり考えろ、という大いなるものからの問いかけなのかも知れません。

(自見 眞清)

厚い信頼と固い絆

第19回通常総会および懇親会開催



去る六月九日、東京・明治記念館に於いて第十九回通常総会および懇親会が開催された。

出席者は、警察庁、警視庁幹部五十名、警視庁機動隊十隊より百二十名、計百七十名を迎え、本部会員、他支部会員二百五十名と、多数の参加を頂き、盛会に行われた。

通常総会では、定款に定めた過半数の出席を得たことで、鈴木理事長を議長として四つの議案が審議された。

- ◆第一号議案 平成三年度事業報告および平成三年度収支決算報告承認の件
- ◆第二号議案 平成四年度事業計画案および平成四年度収支

総会終了後、来賓と警視庁機動隊の隊員等と、会員との懇親会に移った。

はじめに、鈴木理事長が開会の挨拶で総会が滞りなく終了したことを報告し、「現在、警察と民間を結ぶ会は数々あるが、当はげます会と警察との信頼の絆は年々深まっていく一方であり、このことは当会としてもまことに喜ばしいことである。これもひとえに会員の方々のご尽力の賜物であり、心から感謝している。これからも会の一層の拡大、組織の強化に努めていきたい。」との決意を述べられた。続いて、



▲受賞者

その後、隊員と会員の歓談となり、カラオケや演劇など、様々なアトラクションが行われ、会は最高潮に盛り上がった。熱気さめやらぬなか、最後は麻生博常任理事の万歳三唱で閉会となった。当会と隊員との絆がまたひとつ深まり、互いの信頼を厚くした夜であった。

「焦点」は、機動隊特集になっている。これは若い隊員の生活を真正面から取材したのになっている。ぜひご覧頂



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都大田区仲六郷4-32-5
 〒144
 発行人 鈴木 眞
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)



▲伊達警視庁 警備部長 殿

励ます会の運営に多大な貢献をした自見産業(株) 自見眞清氏、ゴロク建材(株) 三澤昭郎氏、榊日鐵流通センター 木下英雄氏、関東鉄鋼(株) 馬場鋼太郎氏、共英製鋼(株) 高島浩一氏、高島産業(株) 住吉徳光氏、豊國興産(株) 西田鐵男氏の七名に感謝状が鈴木理事長より贈呈された。



青春ひたすら

▲ 警視庁発行の広報紙「焦点」の表題。奈良の業師寺・高田好胤管主に書いて頂いたもの。

がんばれ新隊員 Part2

前号に引き続き、今回は警視庁機動隊の新隊員の皆様をご紹介致します。闘志あふれる力強い言葉をお聴きください。

警視庁第一機動隊

菅本 典秀

私は、希望して機動隊に入隊しました。警官になるそもその動機の一つが、機動隊に入隊することになりました。理由は、単に恰好いいからと言うだけでなく、テレビ等でその活動を見て、機動隊こそが日本の治安を命がけて守る最後の砦となる組織であると考え、そうした重大な責務に任じている機動隊に憧れたからです。

機動隊に着隊しての感想ですが、「新隊員訓練」はやはり、噂どおりのハードな訓練であり、正直言って苦しいものでした。しかし、この訓練を通じて新隊員同士の絆が深まったような気がします。お互いに汗を流し、声を出し、励まし合っている。頑張り合ったことは、何ものにも替えがたい経験でした。そしてつくづく訓練というものは、全て自分や仲間を命を守る上で絶対におろそかにしてはならないものだということが、十分判りました。訓練の中で一番思い出に残っているのが夜間訓練であり、燃え盛る炎の中、勇気を奮い起こして突っ込み、対象を検査制御する……

この訓練がいつの日か本番で生かされるのだと思うと、身の引き締まるのを感じました。これからの抱負ですが、私は伝令を指しています。それには何事に対しても臨機応変に対処できる機敏さを身に付けなければなりませんし、良好な人間関係を築いて誰からも信頼される隊員となる必要があります。これから勤務、寮生活を通じて上司や先輩から学びとり、修業していきこうと思います。

警視庁第二機動隊

田中 眞司

十個隊ある中で、最もユニークで誰もが知っていて納得する内容のニックネームを持つ機動隊は、私が着隊したこの第

二機動隊であろう。「カツパの二機」これが我が二機である。墨東の地にあり水難救助の要、そして機動隊発足当時から数々の活躍で成果をあげているのは事実である。又、「二機」のマークをもじったトレードマーク、そして隊員は「二機動」と自分達のことを自負している。隊舎は古いが、私はこんな第二機動隊に着隊して栄光に思っている。機動隊生活は二度目であるが、今回は分隊長としての立場である。

私は分隊長として今までに培った経験の全てを出し切りたいと思っている。激動の時代を言われ続けてもう何年も経つが、現代の社会情勢に直面する機動隊員にとって「忍」の警備が多い。しかし、「治」にいて乱を忘れず」という言葉があるが、私はどんな警備にあたってこの言葉を決して忘れない。私の短い実務経験の中で、先輩同僚の負傷や殉職を目の当たりにした時、いつも「明日は我が身」と心に念じ、毎日無事に帰宅することが「警察官のいろはのい」であると確信している。部下に怪我をさせない、自分も怪我をしないよう職務に励みたい。かと言って消極的になるのではなく、毅然とした態度で事にあたりたい。何ものをも恐れない強い姿勢は日頃の心身の鍛錬に基づくものと信じている。寸暇を惜しんで文武両道の精神をつらぬきたい。とは言っても七年ぶりの機動隊で体力が続くかどうか不安であるのが正直なところであるが、なまった体にむち打って努力精進していきたい。

警視庁第三機動隊

井ノ口 徹

四月十七日、隊舎前の桜の花の歓迎を受け、輝かしい伝統と実績を持つ第三機動隊に再び分隊長として入隊しました。思い起こせば、新隊員として第三機動隊に入隊したのもちょうど七年前の四月十七日でした。

当時を振り返りますと、入隊後間もない頃は、これといった目標はなく、とにかく

もかくにも機動隊の仕事を感じることで一杯でした。

しかし、着隊後三年が経過した頃には、昇任して誇らかに笑顔で退隊していく先輩を見ていて、「やはり機動隊での最大の目標は昇任だ。」と決意し、自分なりに努力もし、昇任させていただくことができました。

あの時から二年、今度は分隊長としての機動隊であり、若い隊員をいざい引張りながら、上司に対する補佐を適切に行っていくという任務が加えられました。

最近、機動隊を希望しない若い人が多いと聞いておりますが、私が隊員だった頃は、勤務も厳しく、今よりも決して待遇が良かったとはいえませんでした。が、どのような条件下でも、しっかりと目標を持ち、日々努力すれば必ず道は開けることを私はこの第三機動隊で学んだのです。

警視庁第四機動隊

及川 昭彦

平成四年四月十五日副署長から、「及川君は第四機動隊」と言い渡された時「いよいよだな」と思った。

四月十七日、第四機動隊へ着隊した日から機動隊生活が始まった。「これから先本当に四機でやっていけるだろうか」と精神の不安でいたのは私だけではないかと感じています。

来いよ。」と言われて来た。その話を聞きながらも私は不安ばかりが先立っていた。

一週間の新隊員訓練が終了し、特科車両隊での警備部長査問。昼休みの時間に各隊の待機場所へいってみると、なつかしい顔が沢山あった。みんな元気そうにやっているようである。短い時間ではあったが、みんなと楽しい時間を過ごすことができた。

今はみんな新隊員として、各中隊で一生懸命頑張っている。やる事が沢山あり、又仕事の内容が分らず四苦八苦している状態だ。

しかし、慣れてくればスムーズに事が運ぶことだろう。せつかく機動隊に来る事が出来たのだから、昇任試験めざして頑張ろう。昇任できなくても何か必ず資格を取ろうと思う。

警視庁第五機動隊

水口 正樹

万世橋警察署から第五機動隊員として四月十七日付で勤務することになった。第一線勤務も二年二月が過ぎ、派出所での勤務もようやく面白くなってきたところであったが、このたびの異動を節目に、心機一転頑張りたいと思う。

ここ数年ソ連の崩壊を始め、世界的に社会が大きく変わってきている。経済大国日本も、世界の中で果す役割も非常に重要になってきている。従って世界の動きが直接日本にも影響を及ぼす時代となっている。我々警察官も社会情勢を十分に理解して勤務に当たらなければならない。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|--------|---------|----------|------|-----------|---------|------|-------------|----------|---------|------|--------|--------|---------|---------|---------------|-------------|---------|--------|---------|---------|---------|
| 治安の砦 | 信頼の機動隊 | 栗田工業(株) | 高周波熱錬(株) | 三榮商会 | 山陽特殊製鋼(株) | 大洋製鋼(株) | 村山文雄 | (株)日鐵流通センター | (株)上野百貨店 | 大東港運(株) | 姫田清美 | (株)クボタ | 国見山(株) | 岡谷鋼機(株) | 豊田通商(株) | 広島シャイリング工業(株) | 太陽シャイリング(株) | 藤田金属(株) | (株)辻さく | 自見産業(株) | 北海鋼機(株) | (株)東北支店 |
|------|--------|---------|----------|------|-----------|---------|------|-------------|----------|---------|------|--------|--------|---------|---------|---------------|-------------|---------|--------|---------|---------|---------|

員の姿がとても強く見え、仕事に取り
組む姿勢に自信と誇りが満ちあふれて
いたことを覚えている。

今度は私が、その基幹隊員となつた
のであるから、先輩に負けないよう頑
張りたいと思う。

今は新隊員として覚えることが多く、
右も左も分からないが、初心に戻り明
るく元気に何事も積極的に取り組んで
いこうと思ふ。

そして、各種資格の取得、勉強にと
一層力を入れ警備のプロとして一人前
になるよう精一杯頑張つていく覚悟で
ある。

そして、長年先輩が築き上げた伝統
を守り、五機の名を汚すことなく組織
の一員として活躍できるように精進する
決意である。

警視庁第六機動隊

北明 裕二

A1警備の際、初任科学生であった
私は、学校部隊として第六機動隊の隊
舎警備に従事しましたが、此の度、正
式に第六機動隊に着隊し、警備のプロ
として勤務できることになり、今、や
る気に満ちあふれています。

新隊員訓練では、初めて体験するこ
とばかりで、全ての事が新鮮に感じら
れるとともに上司、先輩方の御指導に
より警備の基本を身につけることがで
き、自信ができました。

そして、この訓練を通じて二つの事
を学ぶことができました。

それは、「やる気」と「団結」の大
切さということ。夜間訓練で対抗
に扮した先輩方から火炎ビンや投石、
鉄パイプ等で攻撃を受けた際、最初は
尻込みしてしまい阻止線もバラバラに
なり、検拳の時は単独で突込んで、逆
に對抗に捕まりそうになったりしまし
たが、やる気を出して何度も繰り返す
うちに、自然と新隊員同士で声を掛け
合うようになり、やがて団結が生まれ
尻込みせずに対抗を制圧することがで

きました。この様に何事もやる気を出し
て団結すれば成し遂げることができると
を身をもって感じました。

私が機動隊を希望した理由は、男とし
て大きくなりたいからです。機動隊には
警察署にない「何か」があるような気が
します。その「何か」を学ぶため、これ
から一層の努力をして行きたいと思いま
す。

警視庁第七機動隊

宮川 伸一郎

最近、警備情勢の変化が見られる。過
去のマロン型の直線的なものと異なり
右翼による金丸副総裁けん銃襲撃事件や
自民党本部持込器立て箒もり事件のよう
なサツカー型・ラグビー型の突発的・曲
線的な警備情勢に推移していると言われ
ている。私は、このような厳しい警備情
勢の中、四月十七日に第七機動隊に着隊
した。

一、入隊しての決意

(1)厳正な勤務規律の保持

私は、分隊長としての立場と責任を
自覚し、ちよつとした失敗が国内はも
とより国際関係にまで大きな影響を及
ぼす重要な仕事をしていることを肝に
銘じ、現場での隊員に対する指示、命
令は、真に隊員の幸福を考えた、厳し
い姿勢で臨む覚悟である。

(2)昇任試験の合格

私は、努力不足もあるが二年連続し
て二次試験で敗退を余儀なくされた。
来年こそ組織のため、家族のため、自
己のために必ず最終合格し、隊員にそ
の姿勢を示し、やる気を起こさせ共に
勉強したい。

(3)各種資格の取得

何事にもチャレンジ精神を持って在
隊期間中に必ず三つ以上の資格を取得
する。

二、おわりに

昭和六十年十月二十日、成田闘争警備
中に中核派数名から鉄パイプで頭部を殴
打され、脳挫傷で七ヶ月間もの入院生活

をした苦い経験がある。しかし、現在職
場に復帰できたのも入院期間中、上司同
僚等からの温かい励ましや警視庁という
愛情ある組織の御厚情の賜物と深く感謝
している。

最後に、警視庁に報いるために、第七
機動隊分隊長として「俺がやらなきゃだ
れがやる」の気概を持って上司、部下か
ら真に信頼され熱い血の流れる機動隊員
を目指し邁進する覚悟である。

警視庁第八機動隊

西村 伸夫

四月十七日、東京の空はどこまでも澄
み渡り、一片の雲も停めない一枚の青い
鏡のようであり、色付いた樹木が緑色に
輝いている中、一年四ヶ月勤務した高井
戸署を離れ、やる気と不安が入り混じ
った複雑な気持ちで、第八機動隊に新隊
員として着隊しました。

新隊員訓練では、久しぶりに身体を動
かしたせいか、身体のあちこちが筋肉痛
に悩ませられながらも、私はこれから機
動隊員として勤務していく上で、私自身
の目標をたてました。

それは、四つの日と一つのSです。へ
ッド(頭をつかふ)、ハンド(手足を使
つて実行力)、ハート(やさしい心を常
に持つ)、そしてヘルス(健康第一)、
これらの四つの日を含んだ意味でシンセ
リティ(誠実さ)という気持ちを持つと
いうことです。

新隊員訓練を終え、私は第二中隊に配
属され、元気に明るく、いつも心の中は
青空で、一日一日を前向きな姿勢で悔い
のないように過ごしています。

社会の変化の最先端に位置し、直ちに
その影響を受ける私達警察官イコール機
動隊員は、これらの変化を先取りし、極
端に奔ることなく、実態に即してその程
度を測り、バランス良く対応することが
大切であり、それが治安のプロたる所以
だと思ひます。

これからも、より一層の努力を続けて、
機動隊員として愚直にやっつていこうと思

っています。

警視庁第九機動隊

香月 輝和

私は、四月十七日、不安と希望を胸に
秘めて、第九機動隊に入隊致しました。
初めての人事異動ということ、不安で
一杯でしたが、そんな中、着隊同期の仲
間と一緒に、汗を流し、歯をくいしばっ
て、新隊員訓練を乗り越え頑張つてこれ
た事が、不安感を一掃させ、又、私にと
つて、とても大きな自信となりました。

一、昇任試験の合格

新隊員訓練期間中、苦業をともにした仲
間達も、それぞれ中隊で元気に頑張つて
います。私も着隊同期に負けないうよう
に入隊に際して、目標を述べてみたいと思
います。

在隊中に、必ず巡査部長に昇任するこ
とができるよう、より一層の努力をする
とともに、仕事においては、根拠法令、
取扱要領など、疑問点を残さないよう一
つひとつ地道に研究を行う。また、後に
なつてから悔やまない為にも計画的に、
一生懸命に取り組み、悔いのない隊生活
を送りたい。

二、身心の錬磨
初心にかえって、自分を見つめ直し、
身心ともに強くあるべく自分自身を鍛え
ていきたい。今や「平成の警察官は根性
がない。」と思われがちですが、たくま
しい機動隊員を目指し、しっかりとした
意志、考え方を身に付けていきたい。

三、友情を築く
これからの機動隊生活においては、同
期の深い絆を大切にしながら、苦しい事
泣きたい事など、着隊同期と一緒に励ま
し合い、切磋琢磨しながら、公私生活を
おこなっていききたいと思ひます。

今、我々新隊員は、希望を胸に、大き
く翼を広げ、元氣よくスタート致しまし
たが、いつまでも初心を忘れず、入隊に
あたって抱いたそれぞれの目標を完遂す
る為、日々前進、努力致す覚悟でありま
す。

警視庁特科車両隊

松木 輝夫

二十七回目の誕生日の日、「松木君
おめでとう。特科車両隊への転勤が決ま
ったよ。」と担当上司から連絡を受けま
した。

私は高輪署に卒業配置して約二年間
仕事にも慣れ、後輩も増え居心地も良
くなり、「井の中の蛙、大海を知らず」と
いう人生になりかけましたが、これに終
止符を打つことができたのです。

私は幸いにも大型免許を取得しており、
また車が好きなので、「機動隊なら特
車」という思いでしたので、とてもうれ
しく思いました。

そして、希望と不安を抱いて入隊した
のです。機動隊での生活は、極左各派の
武器の高性能多様化に対応するため厳し
い勤務であります。次第に不安も薄れ、
体を動かす男の汗を流せる言わば「修
養・鍛練の場」と生き甲斐を感じられる
ようになりました。

一方、勉強は充分に出来る環境にあり
先輩は寮においてはもちろん、待機時間
を利用して勉強に励んでいる姿をみて、
私も負けじと勉強し、昇任試験絶対合格
を目指しています。

また、これから警察社会で生活してい
く上で本当に大切な事は、友人作りだと
思います。入隊時の訓練では、初対面の
隊員と一緒に声をかけ励まし合いました。
この絆を忘れず機動隊生活においてより
多くの友人を作つていこうと思ひいま

す。
今は機動隊に来て良かったと感じると
ともに特科車両隊の一員として日本の首
都治安の維持に全力を尽くす覚悟です。

お知らせ

◎七月七日(火)午後四時より、千葉グ
ランドホテルにおいて、千葉支部総会
を開催致します。
電話〇四二二四一―二二二
奮つてご参加をお待ちしております。

読者の広場



KYと桃太郎

岡谷 篤一

唯、KYと云うと何の事かと思う方も多しと存じますが、その筋の安全や危険に関わる人々にとって、最も大切な「危険予知」の事です。

最近の様に、世の中の仕組みや環境が極めて複雑な状況の下では、いつ、何処で、何が起るかまったく予知出来ないのが実状であります。

かつて、有能な人とは、問題解決能力の優れた人を指していましたが、昨今はその様相が変わって来ましたが、

現代社会の組織に身を置く者にとって、組織体制も発達し、コンピュータが巾をさかせる様になると、問題の解決はコンピュータや組織がやってくれる様になり、これからは何をなすべきか、と云った「問題発見」能力が何より大切になって来ました。

誰も気が付かない重要な問題点を指摘して、組織を救い、新しい対応に結びつける人が有能な人となりました。そこで桃太郎の登場となる訳です。

安全活動や危険な活動に従事する方々にとって、事前の検討、「KYM」(危険予知ミーティング)は欠かす事の出来ないものであり、その中には特に問題点発見能力が求められます。

桃太郎が偉かったのは、指揮官として、お供の中にキジを加えた事だと云う話しを何かの折に聞きました。それはキジが桃太郎や犬や猿では出来ない、高い空から物を見る事が出来たと云うことで、云わばキジは他の者では出来ない問題点発見能力、KY能力を持っていた訳です。高い空、色々な角度の視点から状況判断

する。
視点を変えて物を見る、そういう習慣を持つてば有能な人材足り得ると云うことです。

「災い転じて福となす」とか「失敗は成功の元」と昔から云われていますが、安全や危険作業に従事する方々は、あくまで「転ばぬ先の杖」で臨むのが原点であります。そう思うにつけ桃太郎の発想で頑張っていたのだと願うものです。

トロントにて

井上 浩之

喧騒のニューヨークを飛び立って、飛行機はハドソン河にそって一路北上を続ける。かなり上流迄鉄製の大きなバージが二、三隻タグボートにひかれてゆつくりと進んで行く。やがてオンタリオ湖に達し機首を西へ向ける。十分程で左前方にナイアガラフォールの水煙が七千mの上空からでも、はっきりと認められる。おそるべき水量である。此のあたりから下降状態に入り、二十分程でトロント国際空港に着陸。恰度一時間の航程。ダウスタウン迄三十分。トロントタワーと昨年のオールスター戦で有名になった開閉式の全天候型スカイドームが目に入ってくる。

トロント市は人口三百万強、カナダ第一の都会でオンタリオ州の州都であると同時に同州の経済産業の中心地である。此処でカナダについて一寸ふれておく。国土面積はC.I.Sに次ぎ世界第二位。英連邦から真つ先に独立した国で、国民の七十%が英語、三十%が仏語を主要言語としている。今でも最大の国内問題はケベック州(仏語圏)の独立問題。地政学的にも隣りのアメリカと密接に結びついて居り、輸出入共世界貿易ランクの八位に位置して居るが(因みに日本は何れも三位)、輸出の七十%、輸入の六十五%がアメリカ対象である。此の傾向はメキシコを加えたNAFTA(北米自由貿易協定)の推進により益々強化されて行くであろう。その他GNP、人口、自動

車生産量等全てアメリカの十分の一。此の国の性格をあらわす話として、「建国の理想として英国の政治体制、仏国の文化、米国の経済制度を目指したが、出来上ったものは、政治はフランス、文化はアメリカ、経済は英国型になってしまった。」と自らやゆして居る。

さて、話をもとに戻そう。トロントの町に入って先づ感じるのには街全体が清潔だと云うこと。総じて市民の服装もけばけばしくないし、ホームレスは勿論、アメリカでおなじみの犬を連れて告を持つた人の姿が全くない。夜になってもホテルのバーやロビーにもそれらしい女性の姿も無い。

物価は可成り高い。連休になると日本人達がニューヨーク迄片道十時間かけて買い出しに出掛ける。これを八百半ツアーと称して居る位。二ベッドルーム(と云っても百四十㎡位はあるが)の家賃が月額二千ドル。之はカナダの標準家庭の月収の六十%位に当たる。税金も高く失業率も十%を超えているが、市民にとげとげしさがなく、質素ではあるが落ち着いた生活を送っている。

その理由は手厚い福祉政策にあるようだ。又日本と違い相続税と云うものが殆んど無い。従って祖先伝来の家に住み、社会保険から得られる収入で生活をして行かれる仕組みになっている。資源に恵まれ人口の少ないおかげであろう。

ある日本の商社の顧問弁護士をやっているカナダの人が、市内から車で一時間半位の所に土地を買い、六、七年かけて自分で九ホールのゴルフコースを作り、それを両側から使うことによつて十八ホールとしてプレーする。更に周辺に別荘を建てて、もう六軒程販売に成功した。今や一日も早く会社をリタイヤーして、そこで第二の人生を送る日が来るのを一日千秋の思いで待っている。我々日本人には夢のような話も現実にある。

宮沢総理の生活大國論ではないが、この狭い国土の中で、テンション同居しながら経済大國であると云つて居る我が國の対極にある國の一つなのだろうか。

うちのお父さん

石原佳美

(警視庁九機石原主任の奥様)

私達が結婚式をあげてから、早七年が過ぎました。私の家から主人の家まで、百数十メートルという短い距離の幼馴染みの二人なのに、無口な主人と、はずかしがり屋の私は、一度も話しをすることなく、二十数年が過ぎました。適齢期になつた二人が、縁あつてめぐりあい、アツという間に結婚したのも、お互いに子供の頃に、どこかひかれあうところがあつたからだと思ひます。

現在は六歳と四歳のいたずら盛りの子が二人。そして長男の大反抗期、毎日大騒ぎの中、主人が帰ってきてくれるとホツとする毎日です。忙しいとも言わないで、私の相談に乗り、また、子供



と話してくれる。さらに子供達と楽しそうに遊んでくれる。だから主人の仕事が忙しくて、夜、遊んでもらえないと、子供達はむい目をこすつて朝早く起きてきます。そして出掛けに一言「お父さん、何か買ってきてね。」結婚後七年たつた今では、私のステキな旦那様は、子供達も大好きな、たのもしなお父さん。体に気をつけて(特にタバコの吸いすぎ)お仕事頑張つて下さいね。お父さん。

私がナンバー1

大阪府警察第二機動隊

中尾正憲

私の勤務する大阪府警察第二機動隊には、別名「大阪車球友会」というバレーボール部があります。このバレー部の発足は、昭和四十六年第二機動隊第六中隊(現在の第二中隊)の発足と共に産声をあげ、昭和五十六年には、全日本産業人バレーボール部全国大会に出場初優勝の快挙を成し遂げ、以後五年連続して同大会出場のキップを手にし、一躍その名を全国に轟かせたのであります。

また、平成元年には茨城県下での全国実業団九人制バレーボール部選手権大会

にも出場したという実績を残しました。我がチームには、インターハイ選手やこの選手なくしてこのチームなしとまで言われた猛者が揃っていますが、その中で私は入部当初から一八五センチの身長を武器に、一八〇センチ級の選手が他にもいるところをチームエースアタッカーとして抜擢され、現在は名実共にその座を不動のものにして居ます。

しかし、ここ数年急ぎよ出勤が入つた為大会不参加が相次ぎ、公式戦をやむなく辞退するという本当に悔しく残念な思いをしました。しかしこのような事は機動隊員としては当たり前の事とくじけず、に先を見据えて、本年も全力投球で頑張つていきたいと考えて居ます。

これからも、より一層技に磨きをかけて、名譽ある府警バレーボール部のエースアタッカーとして日々取り組んでいく決意であります。

今月の言葉

日本は米国の属国であると云つたらかなりの反発はあるだろう。ここでの属国とは完全な独立国ではないという意味だ。独立国家として重要な国家主権の一つは防衛である。国の尊厳と安全の為自らの国は自らの手で守るという基本的権力である。

国家の存亡をかけた第二次世界大戦で日本は米国に無条件降伏し、国家国民の運命を米国に委ねて戦争は終結し今日に到っている。

史上幾多の戦争で多種多様な占領政策があつたが、米国の日本占領政策は最も成功した例である。

空爆で全国の都市は破壊され生産設備も亦潰滅状態ではあつたがそれでも

国家としての行政機構は未だ健在であつた。国民の能力は十二才程度としか評価されなかつたが之を上手に利用すれば、三流農業国として何とか細々と自活が出来、米国民の負担も軽減出来るだろうというのが当初の占領政策の様である。

潜在的再軍備可能な設備(例えば広島製鉄所等)は賠償として撤去し、軍隊は武装解除の上完全解散して完全に

三度自助努力

その後情勢の変化(米ソ冷戦の激化朝鮮戦争等)により、米国民だけが血を流すよりも日本にも応分の貢献を米国民世論の高まりと共に自衛隊の創設他徐々ではあるが軍備は増強された。

警視庁機動隊創設44周年記念 観閲式



去る六月二十三日、午前七時より明治神宮絵画館において、警視庁機動隊創設四十四周年記念観閲式が開催された。

式典は開式宣言に始まり、警視總監に対する受閲報告、部隊査閲そして隊員二千七百名からなる分列行進へと続いた。小雨の降る中、警視庁音楽隊の奏でる「警視庁行進曲」と共に、一般部隊の他レンジャー部隊や様々な警備用車輛、救助用車輛そして今年から初めて参加した婦人警察官鼓隊(通称MEC)らの一糸乱れぬ行進が続いた。隊員等の士気溢れ

る姿を目の当たりにした参観者から盛んな賞賛の音が送られ、分列行進終了後、仁平警視總監より次のような訓示が述べられた。

「隊員等の士気旺盛、威風堂々とした行進を見て、誠に頼もしい限りである。最近の重要警備では、困難な警備が続いたが、警察部隊の要として職務を全うし、警備の完全達成をしたことには、改めて敬意を表する。今後も、参院選ロシア・エリツイン大統領来日警備等重要警備が続く、極左暴力集団の過激な闘争・右翼らの活発な活動が予想されるが、常に都民の立場に立つた警備攻めの警備で治安維持の要として職務を全うしてもらいたい。」と述べられた。その後、隊員全員による「出動の歌」が斉唱され、観閲終了報告後、閉式宣言で閉式となった。

正に伝統と警備力の威容を感じる観閲式であつた。どのような事態になろうとも機動隊の隊員らは我々の期待に答えてくれるであろう。



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都大田区仲六郷4-32-5
 〒144
 発行人 鈴木 眞
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)



▲仁平警視總監殿

機動隊員を以て



六月二十二日午後六時より広島市内広島国際会議場において、第十六回中国支部総会並びに懇親会が行われた。出席者は、中国管区警察局長の幹部及び鳥取・岡山・広島等の管区機動隊員、並びに広島県警察本部の幹部及び機動隊員等百七十名と本部及び他支部役員・当支部役員・会員二百三十名、計四百名以上の参加を得て、盛大に挙行された。

司会は事務局の浜野誠氏の開会の辞の後、「君が代」の斉唱があり、続いて堀口支部長、本部鈴木理事長が挨拶に立ち、「日本の治安は世界一良い。これも隊員の皆様が青春を捧げ、日夜努力されている賜物」とその努力に感謝し、それぞれ激励の言葉を贈った。これに対し、阿南中国管区警察局長殿、磯田支部長殿が挨拶に立ち、「最近の活動状況、特に中核派などの極左暴力集団もさることながら、右翼の活動、暴力団の活動が活発化しており、目の離せない状況にある。又、将来的には広島で行われる平成六年のアジア大会、平成八年の国民体育大会等へ向けて警備の万全を図る」旨の抱負が語られたのち、「当会など外部からの激励は隊員の士気向上に役立つ」と謝辞が述べられた。その後、今回特別来賓としてお迎えした広島高等検察庁敷田検察長殿が立ち、「二十数年前現場で指揮を取っていた苦労等その時の精神が今尚引き継がれている」ことに対し敬意を表されたのち、乾杯の盃が高々と上げられ懇親パーティーに入った。カラオケ大会では隊員・会員双方からの司会により進行が進められ、若き隊員に混じり、幹部役員からは阿南局長殿・磯田支部長殿、鈴木理事長・堀口支部長が美声!をそれぞれ披露され、やんやの喝采を浴びた。

盛会裏に時間が過ぎ、全員輪になって「この道」「この世を花にするために」を大合唱し、最後に名古屋支部松田理事の音頭で万歳を三唱して、盛会を極めた会は終了した。

第十六回 中国支部総会開催!!

その間フリーライダーと各国より軽侮され乍らも経済に人・金・時間を集中し、今では米国ですら簡単に制御し難い迄に強大化し種々の摩擦が生じているが両国間の本質には聊かの変化も無い。

お祭りの御典のようにフラフラしているが、日本もやがては各国より冷笑されぬ様、眞の独立国としての体裁を整え、米国の盟主とした自由国家群の有力メンバーとして世界平和に貢献出来る様になるには尚五十年を要するだろう。

第二次世界大戦で日本は全治百年の瀕死の重症を負ったのである。

(木村政次)



数田広島高等検察庁検察長殿
 阿南中国管区警察局長殿
 磯田支部長殿

Let's Sports!

日頃から厳しい訓練を重ねている隊員の皆さんに、訓練の合間に行っているスポーツについて語っていただきました。

北海道警備隊

糸井 俊博

私が仕事の合間に行っているスポーツの一つとして「アイスホッケー」があります。

北海道の中でも私の勤務する道東の釧路市は、アイスホッケーがとても盛んであり、小さな子供から女性に至るまで、冬のスポーツとして楽しんでおります。

私自身、冬場の運動不足を解消する目的で始めたのですが、始めて感じたアイスホッケーの魅力は、一口で言えばスピード感、それにボディ・チェック等の激しさであり、まさに「氷上の格闘技」といわれる点です。

アイスホッケーは「良く見ること」と「考えること」が必要なスポーツでこのことは警備実施集団で勤務することが多い現在の仕事にも通じており役立っています。

また、アイスホッケーは、気分転換にもってこいのスポーツです。気分がイライラしている時等でも氷の上に乗る動き回れば、汗と共に何もかも流してくれます。

皆さんも機会があればぜひ挑戦してみたいかがですか？

中部管区機動隊

國井 享

警察官の体力向上の必要性が取り沙汰されて久しいが、従来からの警察術科に加え、色々なスポーツにチャレンジすることも良いことだと思う。

私は、自他共に認める「サッカー狂」

で、ひいき目になるかもしれないが、体力、中でも持久力等の走力を楽しみながら維持向上させるには、サッカーはもってこいのスポーツだと思っている。

警察では、「知力・気力・体力の充実」が優秀な警察官の基礎的能力と言われるように、サッカーでも「3B (Brain, Body balance, Ball control)」という言葉で言い表される、的確な判断力、洞察力といった「知力」と、限られた時間内を走り抜く「走力」、タックルにも倒れないバランス感、敏捷性に加え、敵にボールをとられないコントロール「技術」等が一体となって初めて、優秀な選手といわれるのである。

チームの勝利にはこれらを養うこと、換言すれば、個人のレベルアップが不可欠であって、そのためには、選手個々が、実戦の状況を想定し「今何をしなければならぬか」を常に考え、自ら自分自身に押しつけていくことが何よりも重要なこととなっている。

こうした苦しい練習で身につけたテクニックでゴールを決め、反対に相手のドリブルを止めボールを奪い取ったときの快感は、何にもかえがたいものがある。こうした練習と実戦の繰り返し積み重ねが、個人を大きく成長させていくのである。

サッカーと仕事を同次元で比較することとは、いささか飛躍しすぎの感もあるが、相互に通ずる点も多々ある。

それは、先に触れたように我々にとって、警察組織の目的達成のために個人として如何あるべきか、あるいは管区機動隊員として如何にすべきかを常に考え実践していくことは本当に価値のあることだと思える。

すなわち、「苦しい訓練があつてこそ現場で笑うことができるんだ」ということを肝に銘じ、個人の資質を向上させるべく努力を重ね、これによって立派な成果をあげていくことは、将来にわたつての職務執行に対する大きな自信となるのである。

ではないか。

そうした意味からも、体力の低下を感じてきた自分自身も含め、体力の向上あるいは仲間意識、連帯感の醸成、職責の自覚等のために、楽しみながらそれができるスポーツを、なかでもサッカーを特に推薦したいと思う。

中部管区機動隊

沼本 薫

「ゴオール」この一瞬が忘れることができない私は、サッカーを続けています。

私は、現在岡山県警サッカー部に所属しています。県警サッカー部は、岡山県社会人サッカーリーグの備前地区リーグ二部に位置し、「今季こそ一部昇格」という目標に向かって部員全員一丸となり汗と泥にまみれ、試合に挑んでいます。下は十九歳から上は四十歳という幅広い年齢の部員四十名から成り立っているため、アットホームの雰囲気の中にも勝負への厳しさもあり、部員間で切磋琢磨し合い、常に上を目指し、とても素晴らしいチームだと思っています。

練習は、毎週土曜日勤務終了後県警機動隊グラウンドで行われていますが勤務の都合や部員が岡山県下各所属に分かれているため、なかなか人数が集まらないというのが現状です。しかし三度の飯よりサッカーが好きというサッカーバカ達ばかりなので、少ない人数で日が暮れるまで、白いボールを追っています。

サッカーというスポーツは、一つのボールからゲームを組み立て、そして相手ゴールを狙い点を取るといふ所で警備実施と同じだと思えます。組織力がある、一点取ることが、警備完遂ということと同じことを意味していると思うからです。

また、グラウンドで大声を出し、ボールを思い切り蹴るとはすことは、ストレス解消につながります。

日本にもプロリーグが誕生し、益々サッカー人口が増加しており、個々の自由な発想でプレー出来るサッカーは今や時代の最先端「サッカー」それは、私の青春。「ゴオール」この一瞬のために、明日からの、いやこれからの人生に「キックオフ」

青森県警察機動隊

平山 寛

私は、昨年四月から機動隊の野球クラブに所属しております。

私は、小学校のころから野球が大好きで、高校、大学まで野球を続け、拜命後の友人達のチームに入り、年間数試合には出ていますが、機動隊に転動してから入校訓練、県内外の応援出動等で試合に出られる回数は減ってきています。

しかし、機動隊に転動する前までは必ずと言っていいほど体のあちこちが筋肉痛で「気持ちばかり若くて、張り切りすぎだ」と言われたこともありましたが、機動隊に入隊し、厳しい訓練を積み、培った体力と精神力で心も体も若返り、今では試合をしても体が痛くなるようなことはほとんどなくなりました。さらに入校訓練や出動等にもグローブとボールは部隊装備といつしよに持つていては暇をみてキヤッチボールをしています。

今年は、機動隊のユニフォームを新調する予定で、野球クラブ熱も高まりクラブの皆さんと白球を追う回数が増えるのではないかと思います。

これからも訓練で汗を流し、スポーツで汗を流し、強い機動隊の一員として努力していきたいと思えます。

神奈川警察機動隊

小野里 裕

「水泳・自転車・マラソン」何のことか分かるでしょうか？

ピンとくる人もいないかと思いますが、これは、トライアスロンの種目です。まだまだ発展途上にあるスポーツですが、実は、神奈川県警察第一機動隊では、静かなブームを呼んでいます。

トライアスロンというと、別名「鉄人レース」と言うように、大変過酷なスポーツですが、我々同好会のメンバーは、そんな厳しさを意に介さず、和気合い合いの中、それぞれのペースで活動しています。

我々の勤務する第一機動隊は、今、横浜に人気の高い潮騒の香り漂う「海の公園」に隣接する場所にあります。したがって、トライアスロンの練習には欠かすことのできない「泳ぐ、走る」ことに関する環境は抜群であります。普段は、ここを練習場所として汗を流しています。同じ場所練習するのが飽きてくると、時折、御用邸のある葉山の海で泳いだり、北原白秋の詩でも知られる城ヶ島に至る三浦半島を自転車でひた走る等の遠出もしたりして練習に創意工夫をこらしています。

昨年は、県内で開催された「日産グリーンカップ」に当隊から三名出場しました。結果は、残念ながら良い成績ではありませんでしたが、水泳・五キロ、自転車四十キロ、マラソン十キロという距離を、初出場ながら全員が見事完走することができ、自信を深めました。今年は、昨年以上の成績を納めようと思ひ、さらに練習に熱が入っています。

まだまだ始めたばかりの初心者集まりですが、皆の夢は大きく、将来は沖繩の宮古島で開催されている「トライアスロン全日本選手権」を目指して、頑張りたいと思っています。応援してください。

大阪府警察機動隊

森岡 芳樹

スポーツ大好きな我が家では、スキー、テニス、スイミング等季節にあったスポーツを楽しんでいます。

警察生活二十一年目を迎え、家族四人で人生の記念になることを残したいと思いついたのが、このホノルルマラソンでした。私達夫婦は、マラソンが好きで過去に

九回フルマラソンを完走しており、十回目を記念してホノルルマラソンに挑戦することに決めたのです。しかし、九歳と八歳になる娘二人は、長い距離でも十キロしか走ったことがなく完走することに不安がありました。

しかし、「歩いてもいい、私達夫婦が続けてきたマラソンがどんなものか体験してくれば...」と思つたものでした。完走までにはいろいろなことがあり、そんな苦難を乗り越え走り続けた四十二・一九五キロ、タイム五時間五十四分三十七秒。娘達にとっては長く苦しいマラソンだったことでしょう。しかし、この体験が何かをやり抜く苦しさ、やり抜いた後の充実感を思い起こしてくれることを信じています。

将来、大阪女子マラソンを二人で走つてくれることを期待し、夢が現実になつた今、新婚旅行で滑ったカナダバンフスキー場で四人のシニプールを描けることをさらなる夢として、レッツスポーツ！

高知県警察機動隊

酒井 貴雄

訓練の合間に行つているこのバーベルを使つたトレーニングが果たしてスポーツと呼べるのか、自分では判断しかねますが、自分自身が楽しみながら汗を流すということでは、スポーツに近いのではないかと思つています。あくまでも楽しくということが前提なのですが...。

やり始めは、「機動隊員として、強靱な体力を持たなくてはならない」とそんな気持ちから入りました。

バーベルを続けていると、目に見えて体に変化してきます。腕、胸の筋肉が引き締まり、盛り上がりつつあるのです。つい楽しくなつて現在まで続けてきました。やめようなんて思つたことはありません。現在では、同じ隊内の先輩や仲間達と時間を見つけてはやっています。

長く続けるためには、楽しく、目標を持つことが大事です。私は、トレーニングの時は、のりのいい曲をかけて

やっています。三ヶ月程で体が変わるそうなので、全国の機動隊員の皆さんも試してみたいかがでしょうか。

熊本県警察機動隊

吉川 喜一

私が、暇をみつければ、ジョギングをするようになって七年になります。ジョギングを始めたきっかけは、機動隊入隊と県警道部員指名を受け体力的に遅れをとつていて先輩や仲間を追いつこうと走り始めたのがきっかけです。

途中、中断した期間もありましたが今は完全に私の生活のリズムのひとつになつております。

私が走ることによって気がつかつてくることは、

- 一、楽しい中にも苦しく走ること
- 二、シニプアップという考えではなく鍛練の一つだと思つています。その日の体調に見合った距離とペースで走り持久力をつけること、ダッシュを数本繰り返すことによつて瞬発力をつけること、
- 三、走る前の体調確認と、ウォーミングアップ

疲れている時や体調が悪い時は、無理しません。また、最初と最後は必ず歩くことです。

ジョギングして良かったことは、第一に健康体になつたこと、ジョギングを始め以来、病気がなくなり、病気が治りやすいのが自分でもよく分かります。又、ジョギング後は、すがすがしい気持ちというか、爽快な気分になることからストレス解消にもなつています。

第二に、体力的、精神的に自信が持てるようになったこと、ジョギングを始め以来、機動隊の厳しい訓練や、剣道練習に自信が付き、最後まであきらめなければ努力は報われるということを感じ、更に、精神的にも強くなりました。

うちのお父さん

主人と私

小澤 弘美

(警視庁特科車両隊小澤隊員の奥様)

主人との出会いはスキースクールでした。三月に出会い、十月は結婚という超スピード。まわりが驚いたのはいうまでもありません。自分達でも驚いているのですから。

絶対に「電撃結婚なんてありえない。半生を共にする相手なんだから、最低一年はつきあつて二年後くらいには結婚...」というのが、私の抱いていた結婚観でした。それがどこでどう間違つたのか？

三度目のデートの時「実はさ」と、切り出した話。見せられた名刺には警視庁の文字、それに三つも年下。「あくだまされた」と思つた時はすでに遅かった。

友人の兄が警察官をしていた為、その大変さは少しながら知つていた。「同業者だけは相手に選ぶな」といつも言われていたのに、出会いなんてわからないものですね。実家から百キロ

も離れた見知らぬ土地にお嫁に行く決心させてくれたものはなんだつたのでしょうか。

とっても不規則な勤務。前日にしないと正確な予定の立たない休日。でも二十四歳の主人はグチらしきものもこぼさず、一時間以上の通勤時間をかけて仕事へ行つています。

日本の治安を守るため身体にはくれぐれも注意し(健康だけが取り柄なんだから...)これからは頑張つて欲しいと思います。せめて帰宅した時くらいは、気が抜け、ホッと心のなごむ、そんな家庭を作る様努力していきます。



私がナンバー1

近畿管区機動隊

河原 宏

私のナンバー1は、昨年の十二月六日に開催された奈良県警察駅伝競争大会において、五キロメートルの部で一位になつたことです。そして、我が管区機動隊チームは、大会三連覇を果たすことができました。

日頃から血のにじむような厳しい訓練をしている私達が、他の所属に負けるようでは話になりません。

私は花の第一区を任されたわけですが、「私が失敗すれば、後の走者に迷惑をかけてしまう。」という不安が最初に募りました。というのも、以前から私は「本番に弱い」というところが

あつたからです。

初任科生時代選手として走つたのですが、普段どおりに走つていけば優勝できたのに、私の遅れで本意な成績に終わりました。その時の優勝チームが管区機動隊でした。

今度は、私が管区機動隊員として走ることにしました。レース中、何度も遅れそうになりましたが、最後まで全力でゴールすることが出来たのは、他の隊員の励ましがあつたからでした。

私の「区間一位」、そして「チーム優勝」は、私個人だけのものでもなく、また選手だけのものでもありません。それは、管区機動隊全員のものなので

大会四連覇、そして二年連続の区間一位を目指して現在も体力錬磨の毎日を送っています。

暑中お見舞い
申し上げます

東 鋼 業 (株)

(学) 嘉悦学園

高周波熱錬(株)

(株) 周東商会

次郎丸嘉助

(株) スチールセンター

杉尾 榮 俊

東京テレメッセ(株)

木村 政 次

黒田 一

(株) 西 鋼

谷本 鐵鋼(株)

村上 益 一

丸定 産業(株)

宮崎 精鋼(株)

三和鉄構建設(株)

中條 鋼材(株)

新潟 鋼機(株)

飯田 正 雄

不動鋼板工業(株)

(社) 機動隊員等を励ます会
東 北 支 部

読者の広場



健康談義 ふたたび

近江 八郎

今から二年ほど前の日本経済新聞コラム「やまびこ」に「睡眠四時間は宝の発見」という見出しで福島県いわき市のA氏（七十八才）が睡眠四時間の実践効用を述べられていました。「こうした学説があることを読んでから午後八時頃に床につき、零時過ぎには起き出して讀書や外国語の勉強に精を出す。午後には少し眠くなるが数分のうたた寝でスッキリする。周囲は体調を心配するが、ご本人はこれまでより数時間自由時間が生まれ宝くじに当たった感じで新発見に感動する」としきり」とあります。さて私にも、始めた動機は全く違うのですが似たような体験がありますので、健康につきふたたび書かせて頂きます。然し医学的に睡眠時間は六〜七時間とる方が長生きする率が一番多いと聞いておりますし、私もできればその位の睡眠をとるべきであると考えていますが、習慣で自然に目が覚めてしまいます。私はもとより早起きの方で、これは戦地での習慣と敗戦後早く（昭和二十年十一月始め）復員し、当時ただ一人の働き手として早起きし、店の内外を清掃、整理したことが習慣づいたのかも知れません。私は今から十七年ほど前、特に昭和五十年後半より（当時五十四才）五十二年半ばまで仕事や通常の用件以外に或る会の幹事を努め、その役職のため文字通り超繁

忙の時期を過ごしたことがあり、次々に追加される役目と用件、これに對應する自らの能力不足に悩み深刻に退会を考えた位でしたが、家族や会社幹部の方々の意見と励ましに苦慮し、悩み、再三再四考えた結果、或る朝走りながらふと「問題は時間を作ること」であると気付き、折柄の進学勉強中の学生のように「四当五落」に思い、当り、一日睡眠四時間を自らに課し、この事は家内と二人だけの秘密とし、即日実施しました。夜九時には熟睡に入るといふことには、帰宅一翌日の準備一入浴一夕食一杯一バタン・キユウ一明朝一時起床一という状態が約二年続きました。不思議なことにはそう覚悟すると、きちんと一時頃目覚め、「よし、やるぞ」と鉢巻を締め、若い気を出し、猛然と頑張りました。その上私は起床後「水」七合を飲み、朝五時頃より三十分ジョギングを昭和二十六年秋より続けていますので、これは健康保持のため如何なる時でも必ず実行することを誓い、現在もそう行っています。この役職を終わって私はホッとすると共に何か大きい自信がったような気がしました。その後医者の方より、たゞ眠れなくとも床に横になっていた方が良いとの忠告があり、寝床の中で讀書して頂きます。最近NHKの深夜番組があり大助かです。この習慣はその後も続き今は三時頃起きて何やら仕事をやって居ります。自由に使え時間があるという

ことは何は無くとも時間一つだけは自分のものがあるような気がして、困難に立ち向かう自信をつけさせて頂きました。感謝して居ります。私は大正十一年八月の生まれですが、お陰様で体調は快調で年一度のフルマラソン（四二・一九五km）に今年も二月十一日完走してまいりました。A氏とは動機は違いますが、結果的に同じような考えを持ち実行している仲間のような気がして心強いことですので、敢えて書かせて頂きました。

乾杯二題

岩井 榮三

のつけから食べ物のお話で恐縮だが、日本人は、よく暑い時に、熱いものを喰って暑氣払いをする。クーラーのあまり効かない店で熱つ熱つのタンメンを食べるとか、激辛カレーに挑戦するとか、思い切り汗を出し切ってしまうと、意外とサツパリするものだ。久し振りに浅草の駒形に何人か、どじょうをつつきに行った。暑い日に真つ赤におきた炭火のコンロを囲むどじょう鍋というのも一興である。割り下を入れ、どじょうの上に薬味のねぎを存分に盛り、ぐつぐつと煮え始めると我れ先に箸がのびる。骨っぽいマルのどじょうの独特の味には日本酒がここの外良くあう。ちよつとした江戸っ子気分だ。帰りに神谷パーで電気ブランを飲んで行こうという事になったが、これがまた生憎の臨時休業、それではと近くにある日本各地の銘酒を一人三本まで飲ませるといふ店に寄つてみた。入口で「お客さん、大分ご機嫌です。今日はやめといた方がいいたすよ」と主人にやんわり言われたが、一人一本だけの条件で入れてもらった別の結婚式帰りの一団は初めから入店を断わられていた。入つてしまえばこつちのもの、追加も大丈夫と思つたら、「最初のお約束ですから」と、後はとうとう出してもらえなかつた。いくら金を払つても駄目なのは駄目、かたくなでずいぶん融通がきかないようだが、旨い酒を程々の量だけ飲んでもらおうという店の主人の心意気が感じられて面白かつた。グルメブームの昨今、頑固さや、こだわりが売り物の店がマスコミに登場するや、すぐに客が殺到し次第に演出じみたり、厭味になって、鼻持ちならなくなつたりしてくる。

地味で目立たないが、人知れず自分の流のやり方を貫いているこんな店があつてもいい。締めくくりの酒を飲ませてくれなかつた、ひたすら頑固一徹の店の主人に乾杯！

過日、励ます会の総会に出席した折、会場の傍らに置かれた「青春ひたすら」の高田好胤貴主の書がひとときわ目についた。そのふくよかな書体を、ゆつくりと拝見しながら、その言葉の持つ響きの良さと共に、人間にとつて「青春ひたすら」というにふさわしい生き方、はたして何だろうかと思つてみた。そして、けつて目立つことなく、地道に、常にひたむきな努力を重ねることの大切さを思つた。

機動隊本部長視閲実施

岩手県警察機動隊

六月十日、雄大な岩手山の裾野、岩手郡滝沢村相の沢地内、村営野外キャンプ場において、石山機動隊長以下五十八名は、恒例の本部長視閲を受けた。視閲は、広大な野外で、実戦さながらの火炎ビン、投石等の中での遊撃部隊活動、航空隊との合同によるレインジャー訓練等が行われた。

今回の視閲には、日頃激励を頂いている機動隊員等を励ます会の方々と初めて御招待したところ、遠く仙台市をはじめ、八名の方々の出席を頂き、盛大な視閲となり、隊員の意気が上がった。

視閲終了後、同キャンプ場において本部長、励ます会会員の方々と若い隊員等でファイヤーサークルを囲み懇親会が行われた。

会は、終始盛り上がりを見せ、「この世を花にするために」が岩手山山麓にこだまする大合唱となった。

会員の方々は、「機動隊は、テレビ、雑誌で見る範囲しか知らなかつたが、今日の視閲を見て、こんな広範囲な、しかも危険な活動をしていることを知り励ます会の活動をしてきて本

当日の励ます会の宴もたけなわとなつて、若い隊員の皆さんのきびきびとした身のこなしや、潑刺とした笑顔に取り囲まれ、そのひたむきな青春の息吹きに触れて、実に心地良かった。「青春ひたすら」の若々しい隊員達の未来のために乾杯！

お知らせ

◎十月十四日（水）午後五時三十分より新潟グランドホテルにおいて、北陸支部総会を開催致します。
電話〇二五―二二八―六一―一
皆様のご参加をお待ち申し上げます。

当によかつた。これからは体に十分気をつけて頑張つて下さい」と心強い励ましを受け、石山隊長以下全員が、治安のプロとして、更に訓練を重ね頑張ろうと誓いあつた。



今月の言葉

暑い日々が続く。毎年の事であるが、八月十五日が来ると敗戦の日、そしてその後半世紀に亘る日々を思い起こし感慨に耽るのである。スマトラから復員船で名古屋に上陸した。三菱重工・愛知時計等航空産業を持つ名古屋の戦災状況は激しく、完全に焼野原に化していた。僅かなパン・芋・すいとんの闇市の店に人々が群がっていた。通産省に出向していた私は進駐軍の命令により賠償評価の仕事で、呉工廠を訪れた事がある。広島島の原爆の跡は未だ生々しく残っていたし、工廠内の日本に三基しか無かった1万屯プレスなど

暑い日々が続く。毎年の事であるが、八月十五日が来ると敗戦の日、そしてその後半世紀に亘る日々を思い起こし感慨に耽るのである。スマトラから復員船で名古屋に上陸した。三菱重工・愛知時計等航空産業を持つ名古屋の戦災状況は激しく、完全に焼野原に化していた。僅かなパン・芋・すいとんの闇市の店に人々が群がっていた。通産省に出向していた私は進駐軍の命令により賠償評価の仕事で、呉工廠を訪れた事がある。広島島の原爆の跡は未だ生々しく残っていたし、工廠内の日本に三基しか無かった1万屯プレスなど

暑い日々が続く。毎年の事であるが、八月十五日が来ると敗戦の日、そしてその後半世紀に亘る日々を思い起こし感慨に耽るのである。スマトラから復員船で名古屋に上陸した。三菱重工・愛知時計等航空産業を持つ名古屋の戦災状況は激しく、完全に焼野原に化していた。僅かなパン・芋・すいとんの闇市の店に人々が群がっていた。通産省に出向していた私は進駐軍の命令により賠償評価の仕事で、呉工廠を訪れた事がある。広島島の原爆の跡は未だ生々しく残っていたし、工廠内の日本に三基しか無かった1万屯プレスなど

暑い日々が続く。毎年の事であるが、八月十五日が来ると敗戦の日、そしてその後半世紀に亘る日々を思い起こし感慨に耽るのである。スマトラから復員船で名古屋に上陸した。三菱重工・愛知時計等航空産業を持つ名古屋の戦災状況は激しく、完全に焼野原に化していた。僅かなパン・芋・すいとんの闇市の店に人々が群がっていた。通産省に出向していた私は進駐軍の命令により賠償評価の仕事で、呉工廠を訪れた事がある。広島島の原爆の跡は未だ生々しく残っていたし、工廠内の日本に三基しか無かった1万屯プレスなど

千葉支部総会

…結ばれる心と心…



七月七日(火)午後四時より、第十二回千葉支部総会が千葉グラントホテルにおいて開催された。出席者は、千葉県知事殿、千葉市長殿他、千葉県警察本部の幹部および機動隊員等九十名、当会側からは、千葉支部役員・会員および本部、他支部役員等二百七十名合計約四百名の参加を得て盛大に挙行された。

司会者の開会の辞の後、去る六月に亡くなられた小川郁雄前支部長へ黙禱が捧げられ、全員で氏の冥福をお祈りした。その後、「君が代」斉唱があり、小川前支部長に、千葉県警察本部・当励ま



▲沼田千葉県知事殿
▲菅沼千葉県警察本部長殿

「千葉県警察機動隊は、学園闘争ふきあれる中、創設された。現在、P K O 法案が取り沙汰されており、派遣が献身の代表のように言われている。しかし、機動隊こそが真のP K O、P K F ではないのか。あの動乱の時代に国家の治安を守った先輩方の意思を継承し、これからも訓練、警備に励んでいきたい」と述べられた。次に、松井旭千葉市長殿(代理人大内長年総務局長殿)からも挨拶を頂戴し、「千葉市は政令指定都市に指定されている。これからの秩序ある明るく安全な街づくりをしていきたい。隊員の皆様には、治安維持という職務を全うし、住民の期待に応えてほしい」と述べられた。次いで、空港警備隊長水口勝氏殿より当会へ謝辞を頂戴し、菅副支部長の音頭で乾杯の杯が高々と上げられ、懇親



発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 賢
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

す会より氏の当会発展への尽力に対し感謝状が贈られた。

次いで曾根副支部長より「小川前支部長の遺志を継承して、千葉支部のますますの発展を皆で盛り上げていきたい」との挨拶があった。次に本部・鈴木理事長より「千葉県には、日本の玄関口成田空港がある。成田空港創設に



▲故小川支部長へ感謝状

盛夏にあつて思う

冠たるもので、マルコ・ポーロ、コンプスガジバングを目指して海外に出た様に、今日世界各国の人々が日本に殺到している。この様な経験を日本人は持つことがない。全く新しい時代の到来である。それは、封建制度から近代国家に脱皮した明治維新を想起させるものがある。戦後一貫してとられて来た日本中心の考え方・諸制度を見直し改善して、国際社会の新しい一員として、リーダーとして貢献出来る様

脱皮しなければならぬ。

世界の国々は、それぞれの伝統・言語・宗教・人種等々極めて多種多様である。古い伝統をもち、単一言語・単一族に近い単一国家の中で育った日本人には、不得意の分野であるかも知れない。自由・平等・フェアなど国際的に合意を受けている考え方・制度の尊重、先進各国の共通感覚である「合理性」のある行動の発揮であらう。日本の素晴らしい伝統もこうした新しい風を受けて、更に素晴らしいものになるであらう。

(麻生 博)

国家公安委員長 機動隊を視察

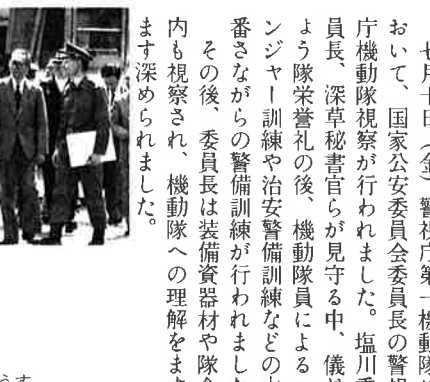
七月十日(金) 警視庁第一機動隊において、国家公安委員長委員長の警視庁機動隊視察が行われました。塩川委員長、深草秘書官らが見守る中、儀仗隊の隊列の後、機動隊員によるレジャー訓練や治安警備訓練などの本番ながらの警備訓練が行われました。その後、委員長は装備資器材や隊舎内も視察され、機動隊への理解をますます深められました。

▲警備訓練のようす

パーティーに入った。

アトラクションでは、隊員によるカラオケ大会となり会場からやんやの喝采が贈られた。会場では各テーブル毎に分かれて隊員、会員の懇談が続いた。盛會裏に時間が過ぎ、全員で「この道」を合唱し、盛會を極めた会は終了した。

国家公安委員長 塩川正十郎殿



夏のプラン

真夏の太陽の下での
楽しい勤務をしばし
忘れ、隊員の皆さん
の夏休みの計画を教
えていただきました。



警視庁第二機動隊

吉田 恭俊

すいこまれるような青い海。雲にそびえるバリハイの山。神秘的な深い緑の島影。過剰なほどの色彩が混ざりあい、花の香りが空気を染める。画家ゴッギャンが魅せられ、描き続けた地上最後の楽園タヒチ。

私が、学生時代から憧れていたタヒチへの旅行を決心したのは、六月十日のことであつた。フランス領ポリネシアのタヒチは、大小百三十もの島々からなる群島で、どの島も面積は小さいが珊瑚礁から成り立っていて、澄み切った青いラグーンに囲まれていることが多い。

日本から飛行機を利用して約十一時間、時差十九時間の南太平洋上にある。年間平均気温二十五度、ベストシーズン(特にダイビング)は、八月から十一月となる。各島々のなかでタヒチ、モーレア、ボラボラ島は有名であるが、特にボラボラ島は、映画「チコと鯨」の舞台にもなった島で、神様が創った芸術品のような美しさであるという。数ある島々のなかで私は、この神々しいほどの美しさをもつボラボラ島を選んだ。宿は、水上コテージ。コテージの下は海、直接海に入れる階段がついていてそこから海に飛び込んでもコーラルフィッシュと一緒に泳ぐ。疲れたら、セラセラの白いパウダーサングラスの上に横になる。「なんて気持ちがいいんだろ。一生このままがいい。」

を降ろし南十字星を見ながらグラスを傾ける。「一晩中眺めていても飽きない夜空。なんてきれいなんだろ。」

人ゴミの中、時間に追われ、時間に流されていく日本の生活を忘れさせてくれる波の音。早く旅立とう。夢の島へ。

私は、胸躍らせて旅行会社のドアを開いたが、ふと、ある事を思い出した。まだ旅行費を貯めていなかった。通帳には悲しいかなりが一つ。今日から、いや明日から貯めよう。とりあえず今日は、酒を一杯。

警視庁第三機動隊

千葉 一郎

今年も夏休みの時期に入った。今頃は、あれこれと楽しい旅行プランを練っている人達が多いことと思うが、私は、毎年迷わず長野県諏訪郡に所在するペンションに旅行している。高校三年の夏から行き始めたので、足掛け十七年ということになる。最初は何気なく見つけたペンションであつたが、大自然に囲まれた、のんびり過ごせるというところが妙に気に入りに来て毎年顔を出すようになった。

そこは、「軽井沢銀座」などのように都会の波が押し寄せているということはなく、ただただ大自然があるのみで、今はやりのレジャー施設等皆無である。十七年間で変わったことといえば、当地を訪れる旅行客が若干増加したことと私の年齢が若いものである。

そんな大自然の中で私は、のんびりと読書や昼寝、あるいは気ままに散歩するなど本当にたわいのない夏休みを過ごしているのであるが、時々思わぬことに遭遇することもある。

例えば、三年前の夏、夕方薄暗い小道を散歩していて蛍を見たのである。それも周辺の林の中に無数に広がり、まるでクリスマスツリーが何本もあるような美しい状況であつた。東京で生まれ、東京で育った私にとっては、それは驚きと

もに言葉では言い表せないうれしさがあつた。この思い出は、私はもちろん、家族にとつても一生の宝として心の中に大切にしまつていく。

私の読書をする習慣も、このペンションに旅行してからのものである。大自然の中であまりにも時間が有り余つた結果本でも読むかと思ひ、たまたま持つていた単行本を木陰で椅子に座つてビールを飲みながら読んでいた。時間がゆつくり流れているので眠くなればそのまま昼寝をする。昼寝から覚めてまた読む。こんな状況から本を読むもしろさ、楽しさが徐々にわかり、今では月五、六冊のペースで読むようになった。今年も、好きな本を数冊持つてペンションに行くことにしている。

以上の通り、私の夏休みは「のんびり過ごす」ということが大きなウエイトを占めており、ささやかではあるが自分の時間を存分に満喫でき、それなりに楽しいものである。ただ、家族サービスという点と最近の海外旅行ブーム等を考えると「ペンション」への旅行を見直す時期に来たのかなと思う今日このごろである。

警視庁第四機動隊

金丸 正紀

今年も夏休みの季節がやって来た。私は実家のある佐世保市へ帰る予定である。この佐世保市、佐賀県と思われがちですが、実は長崎県なんです。

帰省して、友達と飲みに行く夏休みも、近頃は家でゴロ寝の夏休みになってしまつていたが、貴重な夏休みを、これではいけないと三つ程計画を考えてみました。第一は、学生の頃を思い出して、島に渡りキャンプと海水浴を思い切り楽しむ。毎年学校で用具を借りて、仲間四、五人と五島列島に渡り、二泊三日の夏を満喫したもので、十年近く行ってないのも、もう一度、島に渡ってみたいと思つている。しかし用具をどこで手に入れるかが、問題である。

第二は「燈台の足元は暗い」作戦であ

る。「長崎は良い所ですよ」と言われるが、観光は一二回、しかも小、中学校の頃に行つたきりで、「長崎は」と言われても、あまり良く分からない。そこで、観光地や街並を、地図を片手に歩いて長崎通とまではいかななくても、「長崎はいいですよ」「おすすめは」と言える位に地元の良い所、まだ未発見の所を探しようと思つている。そして何年かかけて、九州一周をと、計画は広がる。

第三は「ホエールウォッチング」を楽しむ。と言っても、野球の大洋戦を欠かさず観ることはない、分かっていただけだと思う。この「ホエールウォッチング」船の上から鯨の回遊を観るのが普通なのだが、私は海中から眺めてみたい。

しかし、これは本当に夢の夏休み計画ではない。私がキャンプの用具を買つたり、思い切つて足を伸ばせば、実現できるが、鯨の回遊は、十二月から三月まで、その期間なので、夏休みでは不可能で話にならない。

しかし、私にとつてこの「ホエールウォッチング」は、いつか必ず実現したい夢である。その時までは企画倒れにならないよう、大事にとつておこうと思つている。

警視庁第七機動隊

淵元 仁

待ちに待つた夏季休暇の季節がやって来た。四月一日に発足した五部制と週休二日制の実施等、私達機動隊員にとつて嬉しいニュースばかりが続く。

そして、まとめて休みがとれるのもこの時期だけである。最近警察官も海外旅行に出掛ける人が多くなつており、そのプランに夢をふくらませている同僚もいる。うらやましい限りだ。

私も一度は海外旅行をしてみたいと思つてはいるが、実現できないままである。さて、私の今年の夏休みの計画は、十八年間生まれ育つた故郷、岩手に帰り親孝

行をすることだ。

先日、久しぶりに実家へ電話したところ、父親から「お前のことが心配でまだのんびりできない」と言われ、頑固おやじの姿が、まぶたに浮かび、そして、小さい頃のことを思い出された。

私は、幼い頃ガキ大将で山や海を駆け回り近所の友達と集まつては探検みたいなことばかりしていた。実家近くの山には沢山の栗の木があるが、その中でも仲間内で有名なカミナリ爺さんの栗の木が一番大きい。その爺さんの目を盗んでは栗を少々わけていただき、栗の大きさと度胸を自慢し合つたものである。

また、中学に入學すると新車の自転車を買つてもらい、その行動範囲もますます広がり、山越え、谷越え、いろんな所に行くようになり、想い出の場所も数多く、今でも鮮明に憶えている。思い起こせば、目的地に行きつづいての困難、辛苦は言葉に言い尽くせないものがあり、私にとつて子供時代の最高の思い出となつている。

最近よく「若いうちに海外や国内のいろんな所に旅行するのも一つの勉強だ」と言われている。しかし、それでも私自身の心が一番休まる場所は、自分が生まれ育つた田舎であると思う。

また、今回の休暇は、親に安心してもらうために帰ることはもちろん、昨年、私の弟が警察学校を無事卒業配置となり、これで兄弟全員が自立したことになった。そこで、両親に長い間、御苦労様でしたという意味で、家族全員で温泉にでも行きたいと考えている。

警視庁第八機動隊

人見 克行

夏休みが近づくと「今年の夏はどこかに行くぞ」と意気込んで計画を立てるが、実際のところ家でゴロゴロするだけで、結局、夢で終わつてしまします。そ

んな夏休みしか送っていないので、今年
は夢でない本当の旅行にする為、私の故
郷にある、日光・鬼怒川温泉に妻と旅行
したいと思っています。

栃木県出身の私が、出身地にある場所
に旅行するなんて笑われそうですが、小
学生の時に見た日光の自然、そして新緑
の景色が、今になって懐しく、もう一度
行こうと決めたのです。

旅行の計画ですが、東京から栃木まで
は旅行した気分浸れる東武鉄道の「ス
ペーシア」を利用したい。「スペーシア」
は、東武浅草駅から鬼怒川温泉駅まで約
二時間で走るロマンスカーで、車窓から
見る田園風景が何とも言えず、心を和ま
せてくれます。

駅に着いたらレンタカーを借りて杉並
木を見ながら中禅寺湖へと向かう。中禅
寺湖へは、国道二〇〇号線から全部で四
十八のカーブが続く。「いろは坂」を登っ
て行きます。この坂は急なカーブが多い
ため、観光ではこの峠族達も多く見受け
られる所です。「私も負けない様に」と
言いたいところですが、運転に自信がな
いので慎重に明智平まで向かいます。そ
こからロープウェイに乗り、標高一二七
〇メートル地点にある展望台で中禅寺湖
華厳の滝、大谷川の渓谷、男体山を一望
したい。自然に囲まれた展望台、その中
で一服するタバコの味は、さぞかし今ま
でにない良い味、そして香りでしょう。

ゆつくりと車を走らせ、伝説で男体山
と赤城山が戦った場所として名付けられ
た「戦場ヶ原」を散歩する。ここは、一
大湿原で歩く場所は木道となっている。
ここにも展望台があるので、是非登って
みたい。

日光は、今説明した三ヶ所を見て回る
だけでも半日は足りません。それだけ
人が、自然のとりこになってしまおう所な
のです。ですから私は、きつと妻に有無
を言わず、連れまわしてしまおうと思
います。

計画としては、夕方はゆつくりと温泉
につかり、今までの警備の疲れをいやし、
そして今、当番に就いている機動隊の皆

様に「申し訳ない」と思いながら露天風
呂でキユッと一杯。

今年こそは、この計画を必ず実行し、
夏休みを楽しみにしている妻のためにも
旅行に行つて、良い思い出を作りたいと
思っています。

警視庁特科車両隊

小山 秋英

友人の親子三人と我家の親子三人計六
名でハワイ諸島オアフ島へ四泊六日の観
光旅行を計画した。

計画に当たり、以前妻から「結婚する
前友人達とハワイへ旅行し、オアフ島ワ
イキキビーチの南東にあるハナウマ湾の
丘の上から見たエメラルドグリーンの海
に感激し、海に入ると手が届く所で魚が
戯れ、日本では味わう事のできない海の
素晴らしさを感じた」という話しを思い
出した。早速書店に行き、ハワイに関す
る情報誌などを買いあさり、本を開いて
みると、あんなに小さい島でこんなにい
ろいろな事が出来るのかというくらいに
挑戦してみたいものが多種多様にある。
そこで、どうせハワイに行くなら、日本
ではあまり出来ない事、またハワイでし
か出来ない事やってみようと思う。

一つ目として、ハナウマ湾に広がるエ
メラルドグリーンの海でダイビングに挑
戦し、赤、青、黄、黒、色とりどりの魚
たちが悠々と泳いでいる世界を肌で感じ
てみたい。

二つ目として、紺碧の海にクルーザー
で線り出すトロリーングである。魚がヒ
ットして釣り上げるまでの醍醐味は、測
り知れないものがある。そんなダイナミ
ックな一日を満喫してみたい。その他
ホエール・ウォッチングなどいろいろと
挑戦してみたい事はたくさんあるが、取
りあえず、この二つは是非ともやってみ
たい。家族旅行ということでは、けれど
実行出来るかわからないが、子供達を中
心に常夏ハワイの自然を身体で感じるこ
とが出来、家族が楽しめる旅行になれば
良いと思つている。

三人の子供たちと

櫻木 三枝

(警視庁第一機動隊櫻木巡查の奥様)

結婚して六年半、現在、三人の子供
たちがいます。それぞれ生まれた時に
は、色々な事がありました。長男、倫
太郎の時、主人は機動隊に入つて一か
月。毎日、疲れはてて家に帰つて来て
いましたが、それでも夜中に倫太郎が
泣けば、すぐに起きてくれて、とても
心強く思つたものです。主人は、倫太
郎の顔を見ると「明日も頑張るぞ！」
という気持ちになるんだと言つていまし
た。今でも、主人にとって倫太郎は、
特別な存在なのです。長女、萌の時は
里帰り出産だったので、三か月間一人
暮らしをしてみたい。まるで縮
小コピーのような顔で大人しく寝てい
る萌を抱き上げ「顔も性格も俺をつく
り」とこ満悦だった主人。三か月ぶり
に帰つた我が家が私がいっぱいもき
れいになっていて、「小さな赤ちゃんか
帰ってくるのに、汚れていたら可哀相
だろう」と言う主人の言葉。主人の背
中に後光が射すのを見た私でした。そ
して二男、慎平。三人目で慣れている

?とはいえ、今か今かと誕生を待つて
いた主人は、私が入院した翌日、ふと
思いつき病院に電話をしたそうです。
「はい櫻木さんですね、少々お待ち下
さい」その後、受話器の向こうから「エ
ッ!何!生まれた?今?」との声。そ
うです、主人が電話をかけたちやうど
その瞬間に慎平が生まれたのでした。
後日、見舞いに来てくれた主人は、「き
つとパパからの電話に出ようと慌てて
飛び出したんだらうな」と笑つていま
した。子供の話をしている時が私達の
一番楽しい時です。これからも五人で
楽しくにぎやかにやってみましょう
ね。

うちの父さん

私のナンバー1、それは石ころコレ
クションです。そのコレクションとは
旅先、思い出深い土地の石ころ集めて
す。私が石ころを集めるようになった
きっかけは、小学校の修学旅行で京都
に行った際、金閣寺の境内に転がって
いた青っぽい美しい拳太の石ころを記
念にと思い、持ち帰ったのが始まりで
す。以来旅先、思い出深い土地から持
ち帰った石ころが今では寮室狭しと並
んでいます。そんな中で特に私の自慢
の石ころがあります。それは香川県高
松市の西部に位置する「五色台」とい
う名の山だけでしか採れない通称「カ



香川県警察機動隊

林 清太

ンカン石」と呼ばれている世界的にも
珍しい石であり、このカンカン石は「サ
ヌキカイト」とも呼ばれ、石を叩いた
ときの音色は神秘的で私の心を静めて
くれる石でもあります。しかし、私が
集めた石のほとんどは宝石のような輝
きも値打ちもなく、色も形も様々で他
人が見たらどこにでもある石ころばか
りです。でも私には、その一個一個を
眺めるたびに、その石があつた土地の
風景や旅先での出来事が蘇つてきて、
過ぎ去ろうとする思い出に心を包むこ
とができるのです。途方もなく長い年
月をかけて大自然が作りだした石ころ
そんな石ころに対して求めるささやか
なロマンと個人的な思い入れはたぶん
「私がナンバー1」ではないでしょう

- 残暑お見舞い
申し上げます
- 大野興業(株)
- 岡部(株)
- 光洋商事(株)
- 高周波熱錬(株)
- 東南貿易(株)
- 山陽特殊製鋼(株)
- スカイコート(株)
- 平和農産工業(株)
- 高島浩一
- 西戸榮一
- 橋本尚吾
- 明鋼材(株)
- 加納保成
- 中村欽哉
- 松田鉄鋼(株)
- 堀口海運(株)
- 内外運輸(株)
- 大川トランスティール(株)
- 金森藤平商事(株)
- 豊鋼材工業(株)
- 東北支部

読者の広場



若き機動隊の皆様へのメッセージ

中村 是一

盛夏を迎え巷では参院選も今やたけなわ、新たな選良に期待するところ大である。

この一年証券界の暴力団との黒い取引をはじめとして、それにつづく「佐川急便」問題に見られる様な不正な状況は国民の大多数の人達に不快感を与えているに違いない。

こんな状況の中で司直は暴力団新法などの立法化を背景として暴力団の経済界への介入を何とか排除すべく警察の働きに対する期待は益々高まっている。

法を守るため日夜努力を重ねている若い警察官の皆さんは政界・財界に時として現れる不正事に倫理とはなんであるかとの思いを抱き現状に矛盾を感じる時もあるでしょうが、公正でなければならぬとの立場から愚痴ももたらさず毎日身体をいじめる程のげげしい訓練、出動を繰返されている事に感謝せざるにはおられません。これからの日本を背負って立つ若者達に見知らぬ所では不正が罷り通っているのではとの疑問が起らぬことを祈り、機動隊の皆さんへの側面からのささやかな応援を今後共続けて「日本を守る」の気を養われるを望むものです。



鬼平ファン

木村 政雄

池波正太郎氏の名作「鬼平犯科帳」のテレビ放映が終了してしばらく経つが、寂しく思っている。中村吉右衛門の演じる長谷川平蔵が殊の外気に入っていて、放映時刻に家に帰っている時には欠かさずテレビをみていた。

鬼平がテレビに登場したのは白黒テレビ時代からとか、もう、二十余年も以前のことに思っている。鬼平を演じた俳優も、松本幸四郎、丹波哲郎、萬屋錦之介と、錚々たる方々であつて、歴代人気を博してこられた。なかでも最近の中村吉右衛門の鬼平は実によかつた。

長谷川平蔵のお役目であつた「火付盗賊改方」という制度は、池波正太郎氏が巻三の「あとがきにかえて」の中で解説しておられるのであるが、松平太郎著「江戸時代制度の研究」という本に述べられているところによれば、「江戸市中を巡回し、火災を予防し、盗賊を逮捕し、博徒の考察をつかさどる。」とあり、寛文五年(一六六五年)十月に初めて幕府が設けた制度で、江戸の町奉行所を補強する特別警察にして、町奉行所にはない機動性を特別に与えたもので、役目柄規則も手続きも要らず刑事にはたらく、荒っぽいお役目であつた。世の中が穏やかなときはこの役目を廃し、犯罪が増えるときも設置したりしており、江戸の町奉行所が常設の安定した役目を負わされていたのに比べれば、役目の苛酷さにひきかえ、経済的にも恵まれたものではなかつたようだ。

鬼平犯科帳がなぜ面白いかを語ると長くなってしまうが要するに勧善懲悪に徹しつつ、義理人情の機微に外れないところであろう。リーダーの人間味溢れるとりまわし、そのリーダーに従うチームの求心力、結束力、使命感、武力を含む遂行力の強さ、誠心誠意こ

とに当るいちずきにあろう。

とかく世の中が乱れてくると、行政組織や制度も平時のそればかりでは用を為さず、特別の任務と機動性を備えたタスク・フォースの活躍が不可欠であり、このタスク・フォースが期待どおり力を発揮するためには、リーダーを中心に、力強い結束力と使命感がなくてはならない。その結束力の根源にリーダーたる長官(おかしら)の情味豊かな人間の魅力や強さが必要なのである。この普遍的組織原則が生きているからこそ、鬼平チームは見事お役目を果し、お陰を以つて江戸市民は凶悪な悪党どもから生活を防衛することができ、豊かな庶民文化の花を咲かせることが出来たのである。

警視庁機動隊 野外訓練実施される

七月二十七日から八月六日にかけて、警視庁機動隊の野外訓練が群馬県東平川ダム湖畔公園予定地において実施された。昭和五十三年以降中断されていたこの野外訓練は昨年より再開され、隊員の心身の鍛練、教養知識の充実、士気高揚を目的として行われている。

参加者は警視庁機動隊の第一機動隊から特科車両隊までの隊員約四千名、車両台数約三百台。訓練は各隊ごとに一泊二日のスケジュールで行われ、妙義山での健脚訓練や無線通信訓練、小運動会などの昼の訓練に加え、夜には



力をもって世の安寧を図る使命を負う今日の機動隊のお陰をもって、平成の御世も豊かな文化の花を育くむことが出来るのであると思ひ至る次第である。



お知らせ

◎十月十四日(水)午後五時三十分より新潟グランドホテルにおいて、北陸支部総会を開催致します。
電話〇二五―二二八―六一―
皆様のご参加をお待ち申し上げます。

警護部隊 発進!!

右翼による要人テロが刃物使用から銃器使用に変わりつつある現状の情勢により、これまでの刃物対策に加え、今後は銃器テロ対策をも踏まえた警護警備実施を行う必要があり、警護警備体制そのものの質的強化が迫られている。こうした厳しい警護情勢に的確に対応するため、技量の高い警護の中核部隊の確保、育成を目的として、石川県警察、岡山県警察、香川県警察などで、「機動警護隊」を発足した。

機動警護隊の任務としては、要人の身辺警護、自動車列の通行の安全確保そして不審者や危険物の発見など、多岐に及んでいる。

ますます凶悪化していく右翼の動向に、迅速に対応していくため、機動隊は日夜努力を続けているのである。

去る五月十九日(火)石川県警察学校校体育館において、「機動警護隊」の発隊式が行われた。当日は、警察庁警護担当官および警視庁SPの講師による警護訓練も行われ、本物の短銃を使用している訓練も披露された。

この警護隊は発足以来県内の警護警護に積極的に参加し、先日の参院選でも大活躍し、これからの活動がますます期待されている。



▲機動警護隊発隊式

今月の言葉

国連平和維持活動(PKO)に協力する自衛隊施設部隊の派遣がいよいよ現実のこととなった。その法的裏付けとなるPKO協力は去る七月に行われた参議院選挙において選挙戦の争点の一つとしてその是非が問われた。投票率が五十・七パーセントと有権者の半数が棄権してしまつたので選挙の結果だけで判断するのは甘いという意見もあろうが兎も角も自民党の復調が成つたということはPKO協力法は信任されたということであろう。ふり返つてみるとこの法律の成立は誠に難産であつた。前海部内閣当時から現宮沢内閣へ引き継がれ前国会会期末には社会党等の半歩戦術や議員総辞職戦術という抵抗があつて四苦八苦の末やつと成立に漕ぎついたのである。それだけ重要な法案であつたということであらう。

平成4年度 総合防災訓練実施



▲埋没車両からの救助訓練(神奈川県警察)



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都大田区仲六郷4-32-5
 〒144
 発行人 鈴木 眞
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

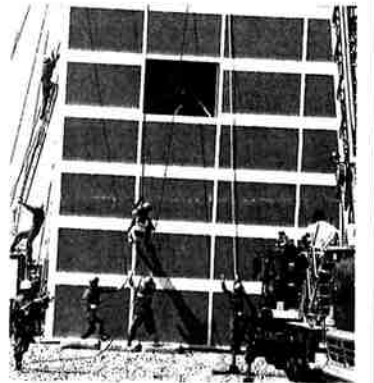
九月一日の防災の日に、全国都道府県警察において、大地震に備えての防災訓練が実施された。

この訓練は、災害時の迅速的確な警備活動を確立し、あわせて各地域住民の防災意識高揚と防災時の行動力、判断力の向上を図ることを目的として、毎年各地で行われている。なかでも、東海・南関東地区では、関東大震災や、東海沖地震など、特に地震の多い地区であるということから、毎年住民も多数参加し、地震の予知対応訓練や防災対応訓練が大規模に行われた。

それにしてもこの法律がかつての徴兵制につながる恐れがあると反対した一部の政党の考え方は頷けない。それは余りにもPKO法案の本来の主旨を歪曲して解釈し過ぎるのではなからうか。勿論、海外への自衛隊の派遣は出来れば避けたいところである。しかし、今日これだけ

PKO派遣に思う

繁栄した日本としては国際貢献を金銭のみで済ましてしまふ汗をかかぬ方ばかりというところには許されまい。そもそもわが国は戦争を放棄すると憲法で宣言しているがそれはあくまでも国際平和を希求することを前提としてのことである。即ち、憲法第九条には「日本国民は正義



▲高層ビルからの救助訓練(神奈川県警察)



▲住民の避難誘導訓練(警視庁)

訓練は、予知対応型訓練と、発災対応型訓練が行われ、予知対応型訓練では、朝六時三十分、気象庁から東海地域の地震観測データの異常をうけ、地震防災対策強化地域判定会が招集され、いち早く関東周辺の十都府県警察本部に伝達。その後、八時三十分警戒宣言が発令され、発災対応型訓練として、各地のターミナル駅、繁華街における住民の避難誘導、交通道路上のパニックの防止を図るための車両規制、高齢者・障害者等の避難誘導訓練、そして実際にエアテントを設置して、地域住民が避難するなど、さまざまな事態を想定し、実施された。

警視庁では、警戒宣言発令後の交通渋滞の対応や、鉄道機関の低速運転などの予知対応型訓練、直下型地震による

と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としてはこれを放棄する」と謳っている。PKO協力法による自衛隊の海外派遣は国際平和のためにほかならない。PKO反対というのは現実からの

十分参酌し派遣の目的があくまでも平和の維持にあるということを常に念頭においてもらいたいものである。平和といえは我々の身近な日本国内における平和の担い手が機動隊員の諸士であることを片時も忘れてはならない。自衛隊員の海外への派遣ということその危険性が騒がれてはいるが機動隊員の諸士も国内が任務といえは絶えずゲリラ・テロ等から襲撃の危険に曝されているのである。今あらためてその労苦の並々ならぬことを再認識する次第である。わが国の国際的地位が高まれば高まる程海外との人的交流が深まりそれだけ治安の維持という任務の重さが増しつづける。機動隊員の日頃の活躍に感謝するとともに、隊員諸士の安全と健康を心から祈つてやまない。(曾根 貞雄)

”講演会”を開催 大阪府警察機動隊

大阪府警察では、昨年来、「魅力ある機動隊づくり」に取り組んでおり、平成四年四月一日からの機動隊の四部制勤務試行的ほか、機動隊そのものを「第三の教養機関」と位置付け、教養訓練のより一層の充実を図っている。本年七月三十日には、隊員の一般教養推進のための、第一・第二・第三機動隊合同全隊行事として、野球評論家(元西鉄ライオンズ投手) 稲尾和久氏を招聘のうえ、本管内で、機動隊員対象の講演会を開催した。

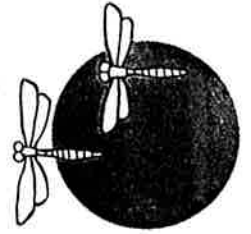
「球界うらばなし」と題した講演は、稲尾氏の軽妙な口調とよもやま話につられ、会場内は、まさに爆笑の渦となつたが、そうした中にも、

- ◆小さなことができない人に大きなこと(大成すること)はできない
- ◆一生懸命の努力の積み重ねが大切で、そのためには「バカになる」こと
- ◆同じミスを繰り返すことなく、次の教訓とすること
- ◆スタンドプレーに走らず、目標もつて一日一日を頑張ること
- ◆頭から「できない」と考えず、物事を諦めない強い精神力を培うこと
- ◆など、若い機動隊員への生きた教訓も含まれており、「鉄腕 稲尾」だからこそ、強い説得力ある有意義な講演会となつた。



▲講師 稲尾和久氏

心の旅



厳しい残暑もおわり、気持ちのよい風が吹く季節になりました。読書の秋、スポーツの秋、行楽の秋…。秋にもいろいろあるようです。今回は隊員の皆様に、心に残る旅の話の話を聞かせていただきました。

北海道警察警備隊

杉山 圭司

全身にからみつく熱く湿った空気。これが憧れのグアム島での最初の体験でした。北海道千歳空港から直行便で約四時間、常夏の島での熱風の歓迎は暑がりな私にも快く受け入れることができました。ホテルに着くと、荷物もそこそこに、一諸に行った先輩と海岸へ飛び出しました。五日間という限られた時間を大いに楽しもうと必死なのです。ビーチ沿いに建ち並ぶホテル街は、さすがに日本人だらけですが、そこから島の中心街や郊外に足を伸ばすとそこはやはりアメリカ領、現地のチヨゴロ人やアメリカ人ばかりとなり、そこで初めて海外に来たと満足してしまふ私達でした。昼間はビーチで焼けるマリンスポーツを楽しみ、夜は安くてポリウムのあるステーキハウスやメキシコ料理店等を求めて郊外へ足を運ぶ毎日でしたが、ある晩、二人で暗い

夜道を歩いていると、道路脇のタクシ一の運転手が、カタコトの日本語で、泥棒がいると言いながら、すぐ先の暗い駐車場を指さすのです。その意味を悟った私達は回り道をして無事ホテルに帰ることが出来たのですが、やはり日本の様に治安は良くなく、盗られる物も金品だけとは限らない所なので、油断は出来ないといい、楽しい思い出の中にも一つの教訓を胸に帰路について私達でした。

東北管区機動隊

土屋 仁志

私は父の仕事の関係で三歳から六歳までの三年間を、千葉県習志野市津田沼で過ごした。

この三年間は、山形県外で暮らした唯一の期間であり、言葉覚え、頭の奥に思い出として残っている一番古い時でもある。

小さいころ、「きかん坊」であった私は、数々の失敗談を残してきたが、極めつけは、兄について津田沼小学校に行つた私が、池をまたいで設置されていた滑り台から落ち、池の真ん中にダイビングしたことだろう。

その時はかなりの騒ぎになったが、小学校の先生から助け上げてもらい事無きを得た。

そんな私だから、同年齢の子供数人と近所の家の庭先を走り回り、近くの家具センターに忍び込んで迷惑をかけた回っていたそうだ。

その時の仲間「のりくん」と「かちゃん」とか名前覚えてはいるが、顔のほうは既にぼやけてしまっている。「思い出はセピア色」というが、このころのことは、セピア色を通り越して黒ずんだ思い出になりつつある。

津田沼も十五年の歳月を経て、思い出のころと比べようもない都会へと変わっただろう。山形新幹線に乗り、思い出を訪ねて

中国管区機動隊

田中 佳彦

最近は大変な海外旅行ブームである。年間の渡航者は、一千万人を超えている。

夏休みや年末の成田空港は、旅行スタイルの老若男女で大混雑である。ハワイでは、若い日本人女性のことを、「イエローキヤブ」と呼んでいるようであるが、それほど海外旅行はごく一般的なものになった。

しかし、私は海外旅行はおろか国内旅行もろくにすることがない。私が行つたことのある旅行と言え、一泊二日程度のごく平凡なもので、観光より酒宴が楽しみといった旅行である。酒は嫌いなほうではないので、そんな旅行も結構楽しかったと思う。

しかし旅行したいと思っても、民族が大移動するお盆や年末年始、それに連休の観光地などは大勢の人で大混雑するし、そんな事を考えていると、つい旅行に行くのがおっくうになってしまう。

私が、行ってみたい旅行は、仕事のことを忘れ、人込みを離れ、そしてのんびりとできる、北陸あたりがいい。温泉に入ったり、その土地のおいしい料理と酒を堪能しながら、日本海沿いをゆっくりと気ままに旅をする。こんな年寄りみたいなことを考えている私は現在三十一歳である。

四国管区機動隊

佐藤 守

私は現在警備部機動隊において勤務しているため、県外応援出勤は多数経験していますが、個人的な観光等で旅行したことは殆どありません。その数少ない旅行の中で、特に印象に残って

いるものとして、三年前に初任科時代のルームメイト三名で行つた長崎旅行が思い出されます。

寝台列車で九州に入り、その後レンタカーを借りての移動となりました。長崎市内に着いてからは地理不案内のため、地図とにらめっこしながら、「あつちだ。こつちだ。」と言いながらも何とか有名な観光地である、オランダ村、グラバー邸等を巡つたものです。

そして、この旅で特に印象に残つた観光として、日本三大夜景の一つである稲佐山に行つたことが挙げられます。若いアベックばかりの中で、男三人で美しい夜景を鑑賞するのはどこか変な気もしますが、苦楽を共にしてきた同期生と見る夜景は何とも言えないものがありました。

そしてその一年後、偶然にも私達三名は同じ機動隊員として顔を合わせ、昨年、ゴルバチョフ・ソ連大統領(当時)来日に伴う警備出動として、再びこの地を訪れた時、何か因縁めいているようで不思議に思いつつも三人で懐かしさに顔を綻ばしたものでした。

この旅行は二泊三日という短い旅でしたが多くの思い出を作ってくれた心に残る旅となりました。

新潟県警察機動隊

前山 丈裕

北アルプス北部、後立山連峰の三大難所の一つ「不帰ノ嶮」。その昔、そこを越えようとした者は二度と帰ることとはないと言われたほどの難所である。現在は鎖等が掛けられているが、依然として後立山連峰の要衝であることに変わりない。今、私はその始点である「天狗の大下り」の上に立ち、「不帰ノ嶮」の全貌を目の当たりにして背中

に冷たいものを感じていた。しかし後へは戻れない。天狗の大下りに第一歩を印した時から、以後I峰II峰III峰へと続く私の長い一日が始まっていた。日に焼けた岩肌に来るで蟬のようにへばりつく。自分の息が岩で熱せられ頬に熱く戻ってくる。仰ぎ見れば吸い込まれるような青空が広がり、少しでも私を高みへと引き上げる。上へ登ることは生へとつながる。だが、同時に足元には常に死が付きまとう。僅かなホルドを頼りに体を支える度に、身体中の筋肉は悲鳴をあげる。何故そんな苦しい思いをするのだ。山へ登るのには死に行くようなものだと人は言う。しかし私は思う。山は人が死ぬところではなく、人が生きるために最大の努力をする場所なのだ。そして今、私は最後の岩角に手をかけ、体を引き上げた。もうこれ以上高いところはない。後は下るだけだ。…今日も生き延びた…。

長かった一日が終わった。唐松岳山頂から不帰ノ嶮を振り返ると、岩峰群はすでに暮れかかった空の色を映して紅に染まっていた。その昔、そこに挑み、そして散っていった先鋭達の魂の色のように思えた。信州側からガスがたちのぼり、急峻な岩峰を越えていく日中あれほど照りつけた太陽は急速に力を失いつつ剣の鋭鋒に吸い込まれてゆく。峰を越える風は肌を冷たく感じられ、足元のコマクサは可憐な花を震わせていた。私は不帰ノ嶮に挑んだ、最も長かった一日を生涯忘れないう。

愛知県警察機動隊

山部 貴文

私の心に残る思い出の場所、それは平成二年一月新婚旅行で訪れた、アメリカのコロラド州にあるグランドキャニオンである。一口に言えば、グラントキャニオンは、ロッキー山脈に源を発



するコロラド川が、数千万年以上の歳月をかけ創りあげた大峡谷であります。水流による浸食と土地の隆起の繰り返しの繰り返して絶妙な景観が生まれたもので世界の七不思議といつてもよいのではないのでしょうか。峡谷の深さは、平均千六百メートル、幅六、二十九キロメートル、全長三百四十七キロメートルで、東京より名古屋間に匹敵する程のスケールには息をのむほどであり、思わず壮大な眺めにおおなるアメリカ西部を肌で感じてしまったような気がしました。又荒々しい岩肌は、太陽の移動で複雑な色の変化を見せ、その姿は神秘的で実に壯観でありました。たまたま私達が訪れた日は、曇った日であり、前の見えない雲の中を、セスナ機に乗ってつき進んで行くのはなんとも言えず、手に汗を握る程のスリリングな思いで、いっぱいでした。

一度は必ずこの目で、と思っていたグランドキャニオンは、外部から閉鎖的で小さくながちな現代社会に生きる人の心を、大きな心で広い視野を持つて物事を見るときは、気持ちにさせてくれる、心の洗浄機とも言えます。私もこれからの人生において、小さくなりそうになったときは、あの壮大なグランドキャニオンの景色を思い出し、機動隊員として大きな心を持ち続けるように心がけたいと思う。

和歌山県警察機動隊

森本 仁

私は、大学時代の四年間山岳部に所属し、四季折々の山へ様々なスタイルで登ってきました。

短い四年間の合宿の中で特に印象深いものは、平成元年の日本北アルプスにおける冬山合宿で、小窓尾根から剣岳を目指した時のことです。

前半は順調に進んだものの、途中吹雪に遭遇し、吹雪がいつまで続くかわからないため食糧制限をし、三日間一

睡もせずテントの雪かきに追われ、四日ついに吹雪がおさまり、何とか脱出することができました。しかし、全員手足に凍傷を負うという苦い経験をしました。

この時、体力をそこぞという時の精神力の強さと判断力が非常に大切であるということを感じさせられました。現在の私は機動隊員として歩き出したばかりですが、この合宿で得た教訓をこれからの警察人生に生かして行きたいと思えます。

そしていつの日か、ヒマラヤ八千メートル峰、ヨーロッパアルプスの大岩壁を登ってみたいと夢見ています。

広島県警察機動隊

鏡田 昭浩

今も臉を閉じると沢山の友達が「元気でやれよ、また来いよ」と、港で手を振っているのがうかがう。私の心に残る思いの土地である。

九年前のことであるが、私が大学を卒業し半年がたった夏、下宿で寝食をともにした酒好きで陽気な親友を訪ねたのです。彼の家は阿波踊りで有名な四国徳島で、私は広島島の地酒「賀茂鶴」の一升ビンを抱え、バイクで一人旅に出掛けました。

彼と彼の家族は私のために、阿波踊りのはつびまで用意してくれました。それだけではありません。「広島親友が来た」といって彼の友人がたくさん集まってくれ、大歓迎を受けました。見ると、彼らのはつびは私に用意されたものと揃いだったのです。

その日、私は今までに見た事のない盛大な祭りに大感激、踊り方のわからない私も、いつの間にか踊りに参加して身も心も酔いしたのです。

次の日の夕暮れ、船に乗った私にいつまでも手を振って見送ってくれた彼と大勢の友人・・・感動の徳島を、私は今も忘れることができません。

家族の絆

子島 正美

(警視庁第四機動隊子島小隊長の奥様) 子供の寝息が聞こえる中で、主人がビデオの内容は、五歳の長男が、今年の春に区民剣道大会で優勝した時のものでした。主人は、休みの日になると長男を連れて緑に囲まれた山の中で、剣道の素振りや打ち込みの練習を見てあげています。その後の二人の笑顔がまぶしいこと。もうすぐ四歳になる二男にも「そろそろ道場へ入門させるかな」と勝手に決めていた様子です。子供達の寝顔をながめながらおしやべりしている時に飲むコーヒースは、それはそれはおいしい事。

思えば結婚当初は、慣れない事の連続で、同居の主人の両親にずいぶん迷惑をかけました。自分勝手な思い込みや思い違いでイライラしたものです。愚痴話の合間に飲むコーヒースは、さぞにがにがしく感じたことでしょう。黙って聞いてくれるだけで満足の私に、結婚半年後、二人だけの京都旅行

に連れて行ってくださいました。恋人気分でのんびり過ごしたせいでしょうか、心身共にリフレッシュできました。それが幸いして両親にも気張らずに接する事ができるようになりました。社交ダンスが大好きで、知恵袋のおばあちゃん、情熱と真心が信条の実直な主人、甘えん坊で温和な長男、負けず嫌いで本が大好きな二男、そしておつちよこちよいの私、五人の組んだスクラムはどんな風にも負けません。今後とも何でも話し合える明るく楽しい家庭を築いていきたいと思えます。

うちの父さん

思えば結婚当初は、慣れない事の連続で、同居の主人の両親にずいぶん迷惑をかけました。自分勝手な思い込みや思い違いでイライラしたものです。愚痴話の合間に飲むコーヒースは、さぞにがにがしく感じたことでしょう。黙って聞いてくれるだけで満足の私に、結婚半年後、二人だけの京都旅行



北海道警察機動隊

大川 貞弘

午前四時、まだ暗い海岸へと車を走らせる。別にドライブが趣味な訳ではない。

私のナンバーワン、それは北海道の秋の風物詩「鮭」を釣ることだ。方法は道南地方特有の「ウキルアー」。岩場、テトラポットの上、あるいは腰まで海に立込み、沖合でジャンプしている鮭目掛けルアーをキャストする。しかし、沖には沈根があるため、根掛りさせないようにルアーから一・五メートルの位置にウキを付け、ルアーをゆつ

くりと鮭の目の前で泳がせる。この動作を繰り返すうちに「ググツ」という感じでロッドに重みがかかる。と同時に

に合わせをくれてやり、自作ルアーの針を完全にフッキングさせる。リールがさし、ラインがひき出される。それからロッドの力を利用して「寄せ」が始まり、人間と鮭の戦いがスタートする。必死に抵抗する鮭の様子が細いラインとロッドを通じて私の手に伝わってくる。そんな「寄せ」と「抵抗」を繰り返した後に鮭を大きなタモ網でラウンディング、やっと鮭との「真剣勝負」が終わる。

この時期、私と同じようなフィッシュヤーマンが函館方面の海岸のいたる所に集まる。私も今シーズンには幸運にも釣果十四本、八十二センチ、五・六キロの銀鱗に輝く大物を手中にした。こんな自慢話に、「来シーズン是非私も『ナンバーワン』に挑戦したい。」と言う同僚も増えている。

- 鍛練耐え抜く 精強機動隊
- 鈴木 實
- 青山特殊鋼(株)
- 愛知産業(株)
- 関東銑鐵(株)
- 草野産業(株)
- 高周波熱錬(株)
- 芝本 龍平
- 小川運輸(株)
- (株)上野百貨店
- 西野 公庸
- 浅田 弥三郎
- 竹之上 誠剛
- 豊田 通商(株)
- 東海レベラー鋼業(株)
- 日鐵物流(株)
- 丸橋 正彦
- 藤田 金属(株)
- 三星金属工業(株)
- 自見 産業(株)
- 北海鋼機(株)
- 東北 支部

読者の広場



父親として

村上 浩隆

待望の子供が生まれた。
平成二年九月十七日(月)午前九時三十七分、三二〇四g健夫君・次男である。

私達には、昭和六十三年五月六日に長男聖が生まれたが、その日の夜十時頃からチアノーゼが出て、翌日私は三線会というゴルフコンペに参加の途中、ハーフホールを終わった所で急ぎよ呼び出され、聖が別の病院に救急車で運ばれたと聞き急行した。

病院での医師からの説明は、心臓に欠陥があり、精密検査をしないと解らないが……という事であった。

精密検査の結果は、やはり心臓に重大な欠陥(血液を送り込むパイプが一部詰まっている)が解り、これは期待できない(うまく手術は成功しても正常に育つことはまず難しいだろう)との事であった。

それを聞いた途端、目の前が真っ暗になってその場で倒れそうになり、まるで何者かにか呪われているかの様に感じ、車を運転しても、家に帰っても、誰かに殺される様な気がする異常な精神状態に陥っていました。

その後、色々手をつくしてもらいましたが、翌年の平成元年六月十三日聖は亡くなりました。そう云う事があった上での次男の誕生は、暗いムードの家庭の中に本来の

夫婦の関係・家庭を築く上で何より勇気づけられる事でした。そして、次男の名前は、元気で育ってほしいとの願いから健康の「健」を取って名付けようと考えていましたので、健夫としました。

その健夫も今は一才十か月で元氣に家の中や、庭を走り回り、言葉も「パパ・ママ・じゃーまたね」などと話す様になりました。

結婚して六年、今年で三十一才、もう一人か二人子供が欲しいと思つていますが、長男の不幸な出来事に出会って……改めて又、初めて、当たり前であるはずの「健康」であることのすばらしさと、両親に対して健康にそして大切に育て上げてもらった感謝の気持ちを感じずにはいられませんでした。父がよく私に、「おまえにやっつてやる事は私に返す事はない。それをすべて自分の子供にやっつてやる事が、おまえの責務である。」と言いました。

子供がすくすくと育っていくのを見守り、この言葉を手本に一人の父親として努力していきたいと思つています。

イル・フォルモサ

滋岡 長平

昨年の暮から正月にかけて家族連れで台湾に旅行をした。第一日の午後小雨に煙る台北に着いて、民族色豊かな龍山寺、衛兵交替で知られる忠烈祠や中正記念堂を訪ねた。二日目は、花蓮に飛び、大理石の峽谷が二十キロも連なる大魯閣の奇観を見物した。三日目には国立故宮博物院を一日たつぷりかけて見学した他に、滞在中、本島や広東湖南等の多彩な中国料理を味わうことが出来た。

それにしても故宮は、世界の四大博物館の一つと誇示するだけあって、殷墟の甲骨文字、商・周の青銅器、五千年の歴史を物語る膨大な陶磁器、其の他玉器、書画、文具の總収蔵品七十余

万点の中で常時展示されて居る物は僅々一万二千点に過ぎないと云うには驚ろかされる。就中、遠く仰韶から初めて隋唐の三彩、宋元の青白磁、元の青花、明清各官窯の絢爛たる磁器は正に世界の焼物の母国たるにふさわしいコレクションであると云える。

この莫大な文物はかの宣統帝が退位した翌年(一九二五)紫禁城に集められ、日中の戦乱が始つた一九三〇年代に北京から南京に移され、更に重慶・昆明へと避難。一九四五年終戦後の國共紛争と共に再び南京に轉送、一九四八年に主として國府艦船に依つて台湾に輸送された。従つて今は故人となつた蔣介石總統と共に数奇な運命を辿つた遺品であるとも云えよう。

さて近世に於ける台湾の歴史は、固有の原住民や、対岸の福建等からの移住者の住む南地方に一九二四年(寛永三年)オランダ人が侵入占據した時に始まると見てよい。

その四年後の浜田彌兵衛事件を挟んで約四十年間の蘭領時代があり、中國本土を清朝が制覇した後、明朝の復辟を目指す、平戸生れの鄭成功が一六六二年オランダを駆逐して占領する。然し、成功の死後清國は一六八二年台湾を治下に収める。爾來二百年此の地は福建省所管の辺境に過ぎず、大半の地には原住民が住み、移住者は細々と農業を営んで居るに過ぎなかつた。十九世紀になって移民も漸く増加し、米、茶、砂糖、樟腦の生産も増えたが役人の可成な収奪もあつた。

明治七年(一八七四)我國の台湾出兵事件があり、更に明治二十七年(一八九四・五)日清戦役の結果、台湾は我國の有に歸した。当初は島内の制圧や来島者の利権漁り等、植民地にあり勝ちな弊害が多発したことは否めないが、其の後總督や民政官僚、教育者に人物を得て、産業の振興、治水、土木、交通等の基盤整備、教育の近代化が行われ治績に見るべきものがあつたと云われて居る。約五十年を経て一

九四五年中華民國に返還されたが、國共の内戦に敗退した國民黨の軍官は一九四九年、台湾及其の属島に移駐し、大陸反攻を唱えて、島民に対しては長らく戒厳令を布き独裁政治を行つて来た。

此の間約四十年、二・二八事件・美麗島事件等の民主化運動を抑圧して来たが、國際情勢は激変し、一九七二年には米國、日本を初め先進諸國は人民中國と国交を結び、國連ですら國府を排除するに至つた。一九七五年蔣總統が歿し、子息の蔣經國總統が一九八八年亡くなつた後、本島人の李登輝氏が總統を継承して居る。一九四七年制定の憲法はそのままであるが戒厳令は一九八七年に廃止され、一九九〇年春、中國との内戦状態の終結宣言が行われた。

現在台湾は所謂NIEESの一國として其の經濟の發展は目ざましく、一九九一年のGNPは千八百億ドル、外貨準備高は八二四億ドルに達して居る。台湾經濟の繁榮は物價の安定に支えられ、旺盛な民間の企業家精神に率いられた、優秀な技術と勤勉な労働力に依つてもたらされたものと云える。現下の國際情勢と經濟の發展段階に於て旧來の憲法、選舉制度、行政組織がふさわしくないのは自明の理である。実は私共が渡台する十日前に、憲法及制度改正の権限を有する國民大会代表の選舉が行われた。事前の予想では台湾獨立を唱える野黨民進黨が改憲阻止に必要な四分の一以上の議席を得ると噂されて居た。所が開票の結果、國民黨二五四、民進黨六六議席となつて與黨の勝利となつた。旅行中この結果について若干の人達の意見を聞く事が出来たが夫々に不満を洩らして居た。二年前に行われた地方選舉は天安門事件の半年後であつたが中國は「我國が台湾に武力干渉する時の條件は二つ。第一は台湾が獨立を宣言した時であり第二には台湾内部に動亂が発生した時である」と示唆し、夫を受けて與黨のスポ

ークスマンは、民進黨は獨立に言及するが、台湾はそんな途方もない夢よりもっと多様な問題を抱いて居ると唱えて牽制した由。元來與黨は三つのテレビ局や有力新聞を傘下に持つて居る今回もかかる暗示を傳えて有権者の不安や戸惑いを増大させた模様である。自家の政權保持の爲、曾つて本土から放逐された國民黨からしからぬ苦肉の策とも評されよう。かくして三月の國民大会は平穩裡に行われたが、主權に関する政治的問題は未解決のままである。又昨今本島と福建及香港などの經濟交流は著しく、所謂兩岸關係としてその法的處理の解決も必要になつて居る。然し今日の經濟成長や繁榮は政策もさる事ながら、有能勤勉な島民の努力の賜物であり、今や二千万の人口の九十%以上が固有の島民である。昨今の東歐やアジア各地の民主化の波の中で、彼等自身のアイデンティティを明確にして國際社会の中に新たな地位を求めるとも当然ではなからうか。その長い歴史の中で化外の民の様に屈從させられて来た島民が自由な民意の集約で國是を決定すべきであり、一方的な武力の強制で兩岸の統一を圖る事など許さるべきではないと思ふ。十六世紀の昔、ポルトガルの航海者に依つてこの島が発見された時「イル・フォルモサー麗わしき島」と嘆ぜしめたと傳えられて居るが、その讚辞の通り常に平穩で美しい島であり續けて欲しいと心から願うものである。

お知らせ

◎十月十四日(水)午後五時三十分より新潟市下大川前通、新潟グラントホテルにおいて、北陸支部總會を開催致します。

◎電話 ○二五二二二八二六一一
◎十二月八日(火)午後六時より大阪市中央区本町橋、ニューコクサイにおいて、大阪支部總會を開催致します。
◎電話 ○六一九四四一六五二五
皆様の御参加をお待ち申し上げます。